

平塚市人権に関する市民意識調査報告書



令和4年7月

平塚市

目 次

I 調査概要

- 1. 調査の目的と方法…………… 1
- 2. 調査項目一覧…………… 4
- 3. 調査結果のポイント…………… 6

II 調査結果

- 1. 人権問題について…………… 11
 - 【問 1】 基本的人権についての認知度…………… 11
 - 【問 2】 10 年前と比較した国民の人権意識…………… 14
 - 【問 3】 差別や人権侵害の存在の有無…………… 17
 - 【問 4】 人権侵害を受けた経験…………… 35
 - 【問 4-1】 人権侵害の内容…………… 38
 - 【問 5】 差別や人権が侵害された場合の対応…………… 42
 - 【問 6】 人権尊重と権利の主張による他人への迷惑…………… 46
- 2. 主な人権課題に関する意識について…………… 49
 - (1) 人権課題に関する意識について…………… 49
 - 【問 7】 関心のある人権課題…………… 49
 - (2) 女性の人権について…………… 52
 - 【問 8】 女性に関する人権上の問題点…………… 52
 - 【問 9】 女性の人権を守るために必要なこと…………… 56
 - (3) 子どもの人権について…………… 60
 - 【問 10】 子どもに関する人権上の問題点…………… 60
 - 【問 11】 子どもの人権を守るために必要なこと…………… 64
 - (4) 高齢者の人権について…………… 68
 - 【問 12】 高齢者に関する人権上の問題点…………… 68
 - 【問 13】 高齢者の人権を守るために必要なこと…………… 72
 - (5) 障がいのある人の人権について…………… 76
 - 【問 14】 障がいのある人に関する人権上の問題点…………… 76
 - 【問 15】 障がいのある人の人権を守るために必要なこと…………… 80
 - (6) 同和問題について…………… 84
 - 【問 16】 同和問題についての認知度…………… 84

【問 16-1】 同和問題に関する人権上の問題点	87
(7) 外国人の人権について	91
【問 17】 外国人に関する人権上の問題点	91
【問 18】 ヘイトスピーチについての認知度	95
【問 19】 外国人の人権を守るために必要なこと	97
(8) 疾病等にかかる人権侵害について	101
【問 20】 エイズ患者やH I V感染者、 ハンセン病患者等に関する人権上の問題点	101
【問 21】 新型コロナウイルス感染症に関する人権上の問題点	105
【問 22】 疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なこと	108
(9) インターネットによる人権侵害について	112
【問 23】 インターネットによる人権侵害に関する問題点	112
【問 24】 インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと	116
(10) セクシュアルマイノリティの人権について	120
【問 25】 セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点	120
【問 26】 セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要なこと	124
(11) 刑を終えて出所した人の人権について	127
【問 27】 刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点	127
(12) 犯罪被害者やその家族の人権について	131
【問 28】 犯罪被害者等に関する人権上の問題点	131
(13) ホームレスの人権について	135
【問 29】 ホームレスに関する人権上の問題点	135
(14) 自殺・自死遺族の人権について	139
【問 30】 自殺・自死遺族に関する人権上の問題点	139
(15) 災害発生時における人権侵害について	142
【問 31】 災害発生時における人権侵害に関する問題点	142
3. 人権課題の解決のための方策について	145
【問 32】 効果的な啓発広報活動	145
【問 33】 人権課題の解決のための方策	149
【問 34】 市民一人ひとりに求められている行動	153

資料編

平塚市人権に関する市民意識調査 調査票	157
---------------------	-----

I 調查概要

1. 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

この調査は、「平塚市人権施策推進指針」を改定するに当たり、人権侵害や差別の問題に関する市民の意識を把握するとともに、今後の人権施策のあり方を検討する上での基礎資料とするため実施しました。

(2) 調査の方法

調査地域 : 平塚市全域

調査対象 : 市内在住の18歳以上の男女

標本数 : 3,000人

抽出方法 : 住民基本台帳をもとに無作為抽出

調査方法 : 郵送配付・回収及び電子申請システムによる回答、礼状兼督促の送付

調査期間 : 令和4年4月4日～4月30日

(3) 調査の内容

- ◆人権問題について
- ◆主な人権課題に関する意識について
 - ・人権課題に関する意識について
 - ・女性の人権について
 - ・子どもの人権について
 - ・高齢者の人権について
 - ・障がいのある人の人権について
 - ・同和問題について
 - ・外国人の人権について
 - ・疾病等にかかる人権侵害について
 - ・インターネットによる人権侵害について
 - ・セクシュアルマイノリティの人権について
 - ・刑を終えて出所した人の人権について
 - ・犯罪被害者やその家族の人権について
 - ・ホームレスの人権について
 - ・自殺・自死遺族の人権について
 - ・災害発生時における人権侵害について
- ◆人権課題の解決のための方策について

(4) 回収結果

発送数	返送数※	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
(A)	(B)	(C)	(D)	(E) = C - D	(F) = E / (A - B)
3,000	9	1,311	2	1,309	43.8%

※ 返送数は、発送数 3,000 のうち宛先不明等で郵便局から返送された数

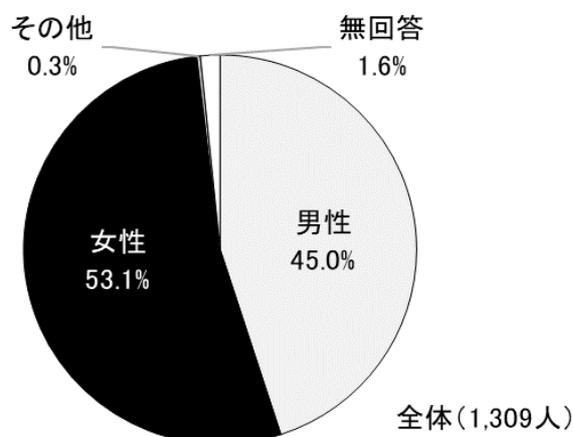
(5) 調査結果の見方

- ◆調査結果の数値は、原則として回答率 (%) で表記しています。
- ◆表では、属性ごとに、最も数値が高かった回答内容に色をつけています。(ただし、「わからない」「無回答」は除いています。)また、原則として割合 (%) (小数第一位まで) で表記してあります。
- ◆数値は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答内容が一つだけの場合で、回答内容の数値 (%) を全て合計しても、四捨五入の関係で 100%にならないことがあります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ及び表においても反映しています。
- ◆質問に対する回答内容が複数の場合、回答者数を分母として比率 (%) を計算しているため、回答内容の数値 (%) を合計すると 100%以上となる場合があります。
- ◆グラフ及び表中に「-」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- ◆回答者数が極端に少ないもの(本調査では 40 人以下)は、分析対象から外しています。ただし、調査結果には参考値として記載しています。
- ◆本文中の設問の回答内容について、長い文は簡略化している場合があります。
- ◆前回調査とは、平成 23 年度に実施した平塚市人権に関する市民意識調査を指します。
【平塚市人権に関する市民意識調査 (平成 23 年 7 月 8 日～7 月 25 日)】
 - ・平塚市在住 18 歳以上の男女 3,000 人を対象とした、郵送配付・回収による調査
 - ・有効回収数：992 人 (有効回収率：33.5%)
- ◆全国調査とは、内閣府が平成 29 年度に実施した人権擁護に関する世論調査を指します。
【人権擁護に関する世論調査 (平成 29 年 10 月 5 日～10 月 15 日)】
 - ・全国 18 歳以上の男女 3,000 人を対象とした、調査員による個別の面接聴取調査
 - ・有効回収数：1,758 人 (有効回収率：58.6%)
- ◆前回調査・全国調査との比較では、調査方法、回答内容の文言の違いから、単純比較できない場合があります。また、比較できる回答内容のみ掲載しています。
- ◆前回調査・全国調査との比較に記載されている数値は、それぞれの結果報告書から引用したものです。
- ◆比較の際、「わからない」「無回答」は分析対象から外しています。

(6) 回答者の属性

❖ 性別

有効回答者数 1,309 人のうち、男性が 45.0% (589 人)、女性が 53.1% (695 人) となっています。



❖ 年齢

29 歳以下と 30 歳代はそれぞれ 1 割未満、40 歳代、50 歳代、60 歳代はそれぞれ 2 割弱、70 歳以上は 3 割弱となっており、60 歳以上が全体の 4 割強を占めています。

単位: %

	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体(1,309人)	9.7	9.4	16.6	16.3	18.9	27.8	1.4
男性(589人)	9.5	8.7	16.6	14.9	19.4	30.9	-
女性(695人)	9.8	10.2	17.0	17.8	19.1	25.8	0.3

❖ 職業

「会社員・公務員・団体職員」が 3 割強と最も多く、次いで「仕事はしていない」が 2 割強、「契約・派遣社員・パート・アルバイト」と「家事に従事」が 2 割弱となっています。

自営業・個人事業主 学生 その他の職業 単位: %

	会社員・公務員・団体職員	契約・派遣社員・パート・アルバイト	学生	家事に従事	自営業・個人事業主	その他の職業	仕事はしていない	無回答
全体(1,309人)	30.9	17.1	6.0	17.0	3.2	1.8	22.5	1.6
男性(589人)	44.1	10.2	6.1	1.7	3.7	1.2	32.3	0.7
女性(695人)	20.4	23.6	5.9	30.4	2.7	2.2	14.7	0.1

2. 調査項目一覧

設 問	内 容
1. 人権問題について	
問 1	基本的人権についての認知度
問 2	10年前と比較した国民の人権意識
問 3	差別や人権侵害の存在の有無
問 4	人権侵害を受けた経験
問 4-1	人権侵害の内容
問 5	差別や人権が侵害された場合の対応
問 6	人権尊重と権利の主張による他人への迷惑
2. 主な人権課題に関する意識について	
(1) 人権課題に関する意識について	
問 7	関心のある人権課題
(2) 女性の人権について	
問 8	女性に関する人権上の問題点
問 9	女性の人権を守るために必要なこと
(3) 子どもの人権について	
問 10	子どもに関する人権上の問題点
問 11	子どもの人権を守るために必要なこと
(4) 高齢者の人権について	
問 12	高齢者に関する人権上の問題点
問 13	高齢者の人権を守るために必要なこと
(5) 障がいのある人の人権について	
問 14	障がいのある人に関する人権上の問題点
問 15	障がいのある人の人権を守るために必要なこと
(6) 同和問題について	
問 16	同和問題についての認知度
問 16-1	同和問題に関する人権上の問題点
(7) 外国人の人権について	
問 17	外国人に関する人権上の問題点
問 18	ヘイトスピーチについての認知度
問 19	外国人の人権を守るために必要なこと
(8) 疾病等にかかる人権侵害について	
問 20	エイズ患者やH I V感染者、ハンセン病患者等に関する人権上の問題点
問 21	新型コロナウイルス感染症に関する人権上の問題点
問 22	疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なこと

設 問	内 容
(9) インターネットによる人権侵害について	
問 23	インターネットによる人権侵害に関する問題点
問 24	インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと
(10) セクシュアルマイノリティの人権について	
問 25	セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点
問 26	セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要なこと
(11) 刑を終えて出所した人の人権について	
問 27	刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点
(12) 犯罪被害者やその家族の人権について	
問 28	犯罪被害者等に関する人権上の問題点
(13) ホームレスの人権について	
問 29	ホームレスに関する人権上の問題点
(14) 自殺・自死遺族の人権について	
問 30	自殺・自死遺族に関する人権上の問題点
(15) 災害発生時における人権侵害について	
問 31	災害発生時における人権侵害に関する問題点
3. 人権課題の解決のための方策について	
問 32	効果的な啓発広報活動
問 33	人権課題の解決のための方策
問 34	市民一人ひとりに求められている行動

3. 調査結果のポイント

1. 人権問題について

【問1】基本的人権についての認知度：基本的人権が憲法で保障されていることについて、「知っている」という人が79.8%、「知らない」という人が18.6%となっています。(11～13 ページ)

【問2】10年前と比較した国民の人権意識：国民一人ひとりの人権意識が10年前に比べて高くなっていることについて、「いちがいには言えない」(50.9%)が最も高く、「そう思う」(37.6%)、「そう思わない」(9.9%)が続きます。(14～16 ページ)

【問3】差別や人権侵害の存在の有無：「多く存在する」では『インターネットによる人権侵害』(66.0%)が他の分野に比べて16ポイント以上高くなっています。また、全ての分野において【存在する】(「多く存在する」と「ある程度存在する」を合わせたもの)が6割を超えており、特に『女性』(92.6%)、『障がいのある人』(92.6%)、『刑を終えて出所した人』(91.3%)、『インターネットによる人権侵害』(92.7%)、『ホームレス』(91.6%)では9割を超えています。一方、『アイヌの人々』『人身取引』では「存在しない」が2割を超えています。(17～34 ページ)

【問4】人権侵害を受けた経験：人権侵害を受けた経験が「ある」人は35.3%、「ない」人は61.2%となっています。(35～37 ページ)

【問4-1】人権侵害の内容：人権を侵害されたことがある人に対して、その内容を聞いたところ、「あらゆる噂、他人からの悪口、かげ口」(55.4%)が最も高く、「職場での嫌がらせ」(41.1%)、「学校でのいじめ」(31.2%)が続きます。(38～41 ページ)

【問5】差別や人権が侵害された場合の対応：「身近な人に相談する」(36.4%)が最も高く、「黙って我慢する」(14.5%)、「相手に抗議する」(13.5%)が続きます。(42～45 ページ)

【問6】人権尊重と権利の主張による他人への迷惑：「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、【そう思う】(「非常にそう思う」と「かなりそう思う」を合わせたもの)は76.9%、【そう思わない】(「あまりそうは思わない」と「全くそうは思わない」を合わせたもの)は12.1%となっています。(46～48 ページ)

2. 主な人権課題に関する意識について

人権課題に関する意識について

【問7】関心のある人権課題：「インターネットによる人権侵害」(58.9%)が最も高く、「障がいのある人」(50.0%)、「女性」(46.0%)が続きます。「インターネットによる人権侵害」「障がいのある人」に関心があるという回答が5割以上と高くなっているのに対し、「同和問題」(8.4%)、「アイヌの人々」(7.4%)は1割未満となっています。(49～51 ページ)

女性の人権について

【問8】女性に関する人権上の問題点：「職場において差別待遇(女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメント等の妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等)を受けること」(61.6%)が最も高く、「セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)」(58.9%)、「男女の固定的な役割分担意識(「家事は女性」等)に基づく差別的取扱いを受けること」(53.4%)が続きます。(52～55 ページ)

【問 9】女性の人権を守るために必要なこと：「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護等を両立できる環境を整備する」(59.9%) が特に高く、「女性のための相談・支援体制を充実する」(36.7%)、「男女平等や男女共同参画等に関する教育を充実する」(31.2%) が続きます。(56～59 ページ)

子どもの人権について

【問 10】子どもに関する人権上の問題点：「虐待を受けること」(82.6%) が最も高く、「いじめを受けること」(81.1%)、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをすること」(70.7%) が続きます。(60～63 ページ)

【問 11】子どもの人権を守るために必要なこと：「子どものための相談・支援体制を充実する」(48.2%) が最も高く、「子どもに自分も人も大切であることを教える」(36.8%)、「教師の資質や能力を高める」(36.5%) が続きます。(64～67 ページ)

高齢者の人権について

【問 12】高齢者に関する人権上の問題点：「悪徳商法・特殊詐欺の被害が多いこと」(53.7%) が最も高く、「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」(50.1%)、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(45.9%) が続きます。(68～71 ページ)

【問 13】高齢者の人権を守るために必要なこと：「地域の支援等により、高齢者の社会からの孤立を防ぎ、生活しやすい環境にする」(51.2%) が最も高く、「高齢者が就労する場や能力を発揮できる機会を確保する」(41.0%)、「在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」(36.0%) が続きます。(72～75 ページ)

障がいのある人の人権について

【問 14】障がいのある人に関する人権上の問題点：「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(66.7%) が最も高く、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(63.8%)、「差別的な言動をされること」(62.0%) が続きます。(76～79 ページ)

【問 15】障がいのある人の人権を守るために必要なこと：「障がいのある人が自立して生活しやすい環境にする」(49.1%) が最も高く、「障がいのある人のための相談・支援体制を充実する」(35.5%)、「障がいのある人の雇用を確保する」(27.3%) が続きます。(80～83 ページ)

同和問題について

【問 16】同和問題についての認知度：同和問題を「知っている」という人が 53.2%、「知らない」という人が 43.7%となっています。(84～86 ページ)

【問 16-1】同和問題に関する人権上の問題点：同和問題を知っている人に対して、人権上問題があると思われることを聞いたところ、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(65.0%) が最も高く、「差別的な言動をされること」(63.3%)、「結婚問題で周囲の反対を受けること」(62.8%) が続きます。(87～90 ページ)

外国人の人権について

【問 17】外国人に関する人権上の問題点：「就職・職場で不利な扱いを受けること」(52.2%) が最も高く、「差別的な言動をされること」(47.9%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」

(47.1%)が続きます。(91～94 ページ)

【問 18】ヘイトスピーチについての認知度：ヘイトスピーチの「言葉も意味も知っていた」という人が 51.0%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」という人が 26.3%、「知らなかった」という人が 20.3%となっています。(95～96 ページ)

【問 19】外国人の人権を守るために必要なこと：「互いが、ともに暮らす市民であることの理解を深める啓発を推進する」(44.5%)が最も高く、「外国人も、日本人と同等のサービス（医療、福祉、教育等）を受けられるようにする」(37.4%)、「外国人と日本人の相互理解と交流を進める」(34.8%)が続きます。(97～100 ページ)

疾病等にかかる人権侵害について

【問 20】エイズ患者やHIV感染者、ハンセン病患者等に関する人権上の問題点：「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(59.4%)が最も高く、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(51.9%)、「差別的な言動をされること」(51.6%)が続きます。(101～104 ページ)

【問 21】新型コロナウイルス感染症に関する人権上の問題点：「医療従事者やその家族等が差別的な言動をされること」(62.8%)が最も高く、「患者やその家族等が差別的な言動をされること」(59.4%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(53.5%)が続きます。(105～107 ページ)

【問 22】疾病等にかかる人権侵害を防ぐために必要なこと：「プライバシーに配慮した医療体制や検査体制を充実する」(52.3%)が最も高く、「疾病等に関する正しい知識についての教育を充実する」(43.9%)、「患者や感染者、その家族等を支援するため、行政・医療機関・民間団体等の連携を推進する」(31.9%)が続きます。(108～111 ページ)

インターネットによる人権侵害について

【問 23】インターネットによる人権侵害に関する問題点：「他人を誹謗中傷する表現が掲載されること」(86.2%)が特に高く、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような表現が掲載されること」(63.8%)、「SNSによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」(62.3%)が続きます。(112～115 ページ)

【問 24】インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと：「情報の提供停止や削除等に関する法的規制を強化する」(71.0%)、「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」(70.2%)が特に高く、「インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制を充実する」(44.7%)が続きます。(116～119 ページ)

セクシュアルマイノリティの人権について

【問 25】セクシュアルマイノリティに関する人権上の問題点：「差別的な言動をされること」(60.1%)が最も高く、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(59.8%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(55.2%)が続きます。(120～123 ページ)

【問 26】セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要なこと：「セクシュアルマイノリティに関する正しい知識についての教育を充実する」(52.3%)が最も高く、「セクシュアルマイノリティの人格や考えを尊重する」(37.8%)、「セクシュアルマイノリティのための相談・支援体制を充実す

る」(32.4%)が続きます。(124~126 ページ)

刑を終えて出所した人の人権について

【問 27】刑を終えて出所した人に関する人権上の問題点：「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」(67.5%)が最も高く、「就職、職場で不利な扱いを受けること」(59.3%)、「悪質な書き込みや嫌がらせをされること」(52.7%)が続きます。(127~130 ページ)

犯罪被害者やその家族の人権について

【問 28】犯罪被害者等に関する人権上の問題点：「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」(72.6%)が最も高く、「事件のことに關して、周囲に噂話をされること」(62.5%)、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」(60.9%)が続きます。(131~134 ページ)

ホームレスの人権について

【問 29】ホームレスに関する人権上の問題点：「近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること」(55.4%)が最も高く、「経済的に自立が困難なこと」(52.9%)、「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」(50.6%)が続きます。(135~138 ページ)

自殺・自死遺族の人権について

【問 30】自殺・自死遺族に関する人権上の問題点：「自殺や自殺未遂をしたことに対して、周囲に噂話をされること」(56.1%)が最も高く、「自殺者や自殺未遂者、自死遺族等が差別的な言動をされること」(53.6%)、「自殺・自死遺族に対する理解や認識が足りないこと」(49.4%)が続きます。(139~141 ページ)

災害発生時における人権侵害について

【問 31】災害発生時における人権侵害に関する問題点：「避難生活において、プライバシーが守られないこと」(67.2%)が最も高く、「デマや風評等による差別的な言動をされること」(59.2%)、「避難所において、女性や妊産婦等に対する配慮が十分でないこと」(54.8%)が続きます。(142~144 ページ)

3. 人権課題の解決のための方策について

【問 32】効果的な啓発広報活動：「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」(56.0%)が最も高く、「インターネットを利用した啓発広報」(45.9%)、「SNS(ラインやツイッター等)を利用した啓発広報」(37.8%)が続きます。(145~148 ページ)

【問 33】人権課題の解決のための方策：「学校内外の人権教育を充実する」(61.8%)が最も高く、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(51.2%)、「犯罪の取り締まりを強化する」(47.0%)が続きます。(149~152 ページ)

【問 34】市民一人ひとりに求められている行動：「人権について正しい知識を身につけること」(63.5%)が最も高く、「他人の立場や権利を尊重すること」(57.6%)、「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」(45.6%)が続きます。(153~156 ページ)

❖ 人権を守るために必要なこと ❖

多くの分野で教育や啓発、環境整備、相談や支援体制の充実が求められています。

【各分野の上位3項目】

教育や啓発に関する項目
 環境整備に関する項目
 相談・支援体制に関する項目
 単位：％

	第1位		第2位		第3位	
女性 (問9)	男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する	59.9	女性のための相談・支援体制を充実する	36.7	男女平等や男女共同参画等に関する教育を充実する	31.2
子ども (問11)	子どものための相談・支援体制を充実する	48.2	子どもに自分も人も大切であることを教える	36.8	教師の資質や能力を高める	36.5
高齢者 (問13)	地域の支援等により、高齢者の社会からの孤立を防ぎ、生活しやすい環境にする	51.2	高齢者が就労する場や能力を発揮できる機会を確保する	41.0	在宅サービスや福祉施設・病院を充実する	36.0
障がいのある人 (問15)	障がいのある人が自立して生活しやすい環境にする	49.1	障がいのある人のための相談・支援体制を充実する	35.5	障がいのある人の雇用を確保する	27.3
外国人 (問19)	互いが、ともに暮らす市民であることへの理解を深める啓発を推進する	44.5	外国人も、日本人と同等のサービス（医療、福祉、教育等）を受けられるようにする	37.4	外国人と日本人の相互理解と交流を進める	34.8
疾病等 (問22)	プライバシーに配慮した医療体制や検査体制を充実する	52.3	疾病等に関する正しい知識についての教育を充実する	43.9	患者や感染者、その家族等を支援するため、行政・医療機関・民間団体等の連携を推進する	31.9
インターネット (問24)	情報の提供停止や削除等に関する法的規制を強化する	71.0	違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する	70.2	インターネット上で人権侵害を受けた人へのための相談・支援体制を充実する	44.7
セクシュアルマイノリティ (問26)	セクシュアルマイノリティに関する正しい知識についての教育を充実する	52.3	セクシュアルマイノリティの人格や考えを尊重する	37.8	セクシュアルマイノリティのための相談・支援体制を充実する	32.4
人権課題の解決のための方策 (問33)	学校内外の人権教育を充実する	61.8	人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	51.2	犯罪の取り締まりを強化する	47.0
市民一人ひとりに求められている行動 (問34)	人権について正しい知識を身につけること	63.5	他人の立場や権利を尊重すること	57.6	因習や誤った固定観念にとらわれないこと	45.6

II 調查結果

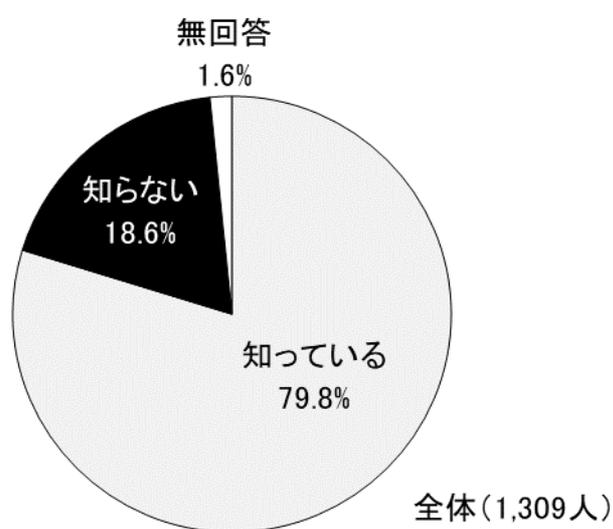
1. 人権問題について

【問1】 基本的人権についての認知度

あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法（第11条）で保障されていることを知っていますか。（○は1つ）

基本的人権が憲法で保障されていることについて、「知っている」という人が79.8%、「知らない」という人が18.6%となっています。

基本的人権についての認知度



基本的人権についての認知度【属性別】

属性		回答内容	知っている	知らない	無回答
全体(1,309人)			79.8%	18.6%	1.6%
性別	男性(589人)		85.2%	12.9%	1.9%
	女性(695人)		75.8%	23.2%	1.0%
	その他(4人)		75.0%	—	25.0%
	無回答(21人)		57.1%	33.3%	9.5%
年代別	29歳以下(127人)		81.9%	15.7%	2.4%
	30歳代(123人)		73.2%	26.8%	—
	40歳代(217人)		84.3%	15.2%	0.5%
	50歳代(213人)		77.9%	22.1%	—
	60歳代(247人)		81.8%	15.8%	2.4%
	70歳以上(364人)		79.4%	17.9%	2.7%
	無回答(18人)		55.6%	38.9%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		86.7%	12.8%	0.5%
	契約・派遣社員など(224人)		71.0%	28.1%	0.9%
	自営業等(78人)		73.1%	24.4%	2.6%
	家事に従事(222人)		78.8%	20.3%	0.9%
	学生(42人)		88.1%	7.1%	4.8%
	その他の職業(23人)		87.0%	4.3%	8.7%
	仕事はしていない(294人)		79.3%	18.4%	2.4%
	無回答(21人)		57.1%	33.3%	9.5%

性別

「知っている」では男性（85.2%）が女性（75.8%）を9ポイント上回っています。

年代別

「知っている」では40歳代（84.3%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「知っている」では《学生》（88.1%）が他の職業に比べて最も高くなっています。

❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

基本的人権の認知度について、前回調査と比較すると、前回から2ポイント下がっています。

全国調査と比較すると、平塚市が全国を1ポイント下回っています。

基本的人権についての認知度【比較】

単位：%

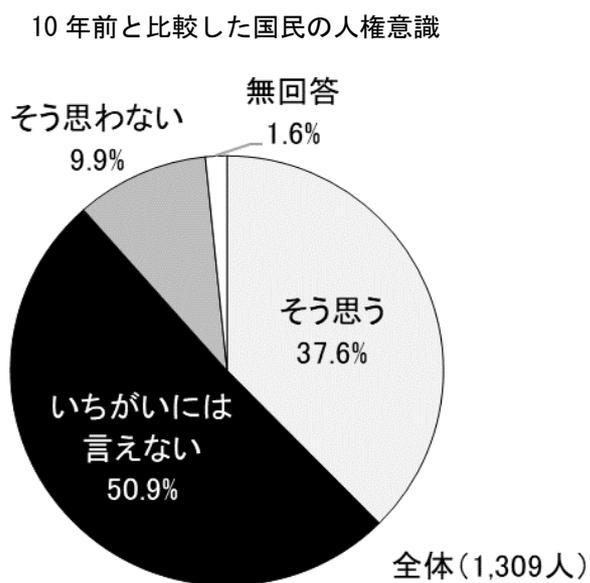
	知っている	知らない	無回答
R4平塚市(1,309人)	79.8	18.6	1.6
H23平塚市(992人)	82.6	15.3	2.1
H29全国(1,758人)	81.4	18.6	—



【問2】 10年前と比較した国民の人権意識

あなたは、国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思いますか。
(○は1つ)

国民一人ひとりの人権意識が10年前に比べて高くなっていることについて、「いちがいいには言えない」(50.9%)が最も高く、「そう思う」(37.6%)、「そう思わない」(9.9%)が続きます。



10年前と比較した国民の人権意識【属性別】

属性		回答内容	回答内容			
			そう思う	いちがいいには 言えない	そう思わない	無回答
全体(1,309人)			37.6%	50.9%	9.9%	1.6%
性別	男性(589人)		36.8%	49.4%	12.2%	1.5%
	女性(695人)		38.1%	52.5%	7.9%	1.4%
	その他(4人)		25.0%	75.0%	—	—
	無回答(21人)		42.9%	33.3%	14.3%	9.5%
年代別	29歳以下(127人)		33.9%	52.8%	11.8%	1.6%
	30歳代(123人)		46.3%	43.9%	9.8%	—
	40歳代(217人)		40.6%	48.4%	10.1%	0.9%
	50歳代(213人)		37.1%	50.7%	12.2%	—
	60歳代(247人)		36.8%	53.4%	8.1%	1.6%
	70歳以上(364人)		34.6%	53.6%	8.5%	3.3%
	無回答(18人)		44.4%	27.8%	22.2%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		45.9%	45.2%	8.6%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)		32.6%	54.9%	11.6%	0.9%
	自営業等(78人)		33.3%	48.7%	15.4%	2.6%
	家事に従事(222人)		38.3%	53.2%	7.2%	1.4%
	学生(42人)		38.1%	52.4%	7.1%	2.4%
	その他の職業(23人)		34.8%	65.2%	—	—
	仕事はしていない(294人)		31.0%	54.4%	11.2%	3.4%
	無回答(21人)		33.3%	33.3%	23.8%	9.5%

性別

「そう思わない」では男性（12.2%）が女性（7.9%）を4ポイント上回っています。

年代別

「そう思う」では30歳代（46.3%）が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

「そう思う」では《会社員・公務員・団体職員》（45.9%）が他の職業に比べて7ポイント以上高くなっています。

❖ 前回調査との比較 ❖

国民一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていることについて、「そう思う」では前回から4ポイント上がっています。

10年前と比較した国民の人権意識【比較】

	単位：%			
	そう思う	いちがいいには言えない	そう思わない	無回答
R4年平塚市(1,309人)	37.6	50.9	9.9	1.6
H23年平塚市(992人)	33.5	48.8	15.4	2.3



【問3】差別や人権侵害の存在の有無

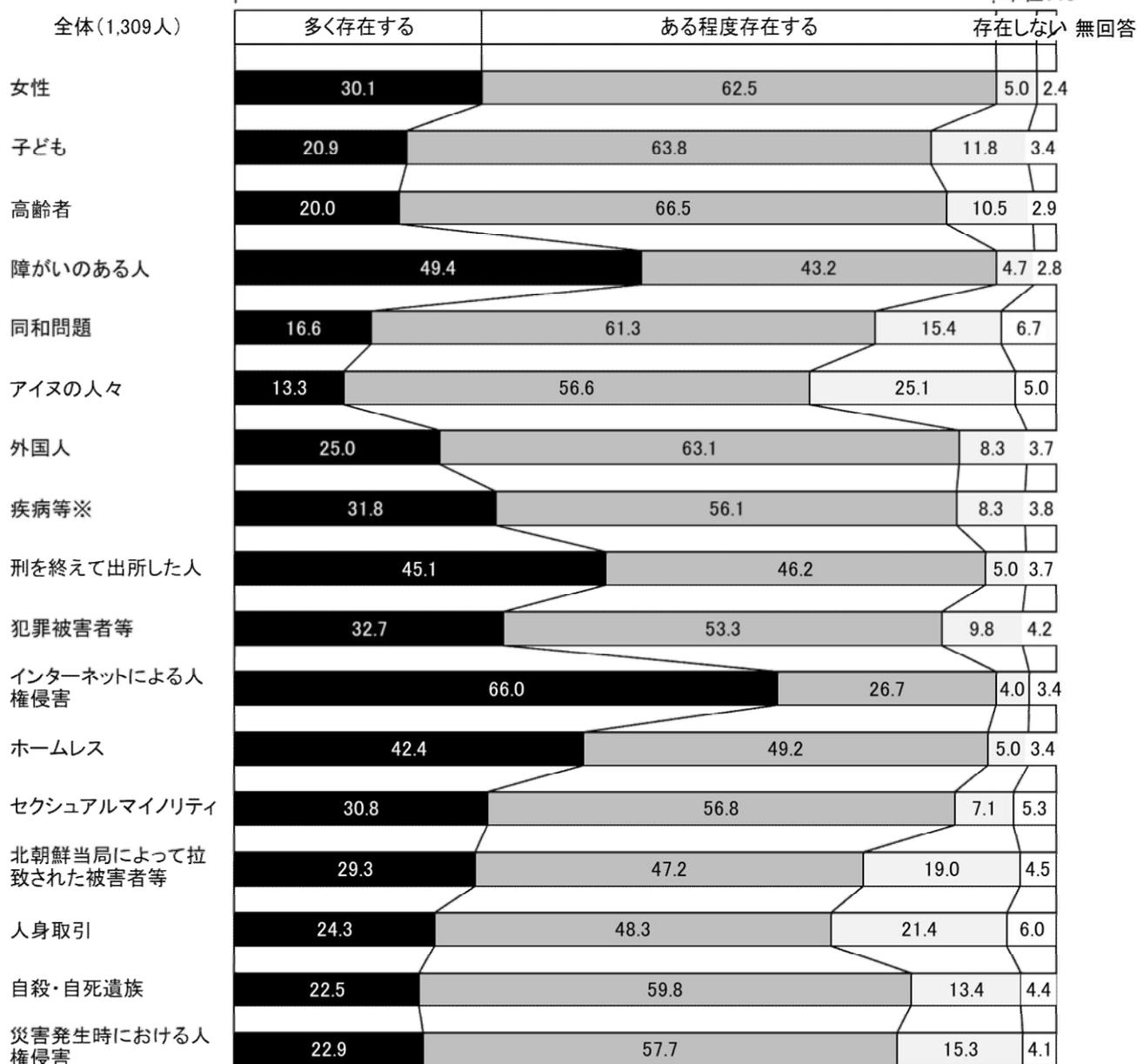
あなたは、現実の社会で、人権問題・差別による人権侵害が存在すると思いますか。(ア)～(チ)の各項目についてお答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

「多く存在する」では『インターネットによる人権侵害』(66.0%)が他の分野に比べて16ポイント以上高くなっています。また、全ての分野において【存在する】(「多く存在する」と「ある程度存在する」を合わせたもの)が6割を超えており、特に『女性』(92.6%)、『障がいのある人』(92.6%)、『刑を終えて出所した人』(91.3%)、『インターネットによる人権侵害』(92.7%)、『ホームレス』(91.6%)では9割を超えています。一方、『アイヌの人々』『人身取引』では「存在しない」が2割を超えています。

差別や人権侵害の存在の有無

【存在する】

単位：%



※疾病等：エイズ・HIV感染症、ハンセン病、新型コロナウイルス感染症の患者やその家族及び医療従事者等

差別や人権侵害の存在の有無<女性>

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			30.1%	62.5%	【92.6%】	5.0%	2.4%
性別	男性(589人)		27.0%	63.2%	【90.2%】	7.3%	2.5%
	女性(695人)		32.5%	62.4%	【95.0%】	2.7%	2.3%
	その他(4人)		75.0%	25.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)		28.6%	52.4%	【81.0%】	14.3%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		37.8%	59.8%	【97.6%】	1.6%	0.8%
	30歳代(123人)		42.3%	52.8%	【95.1%】	4.9%	—
	40歳代(217人)		29.0%	67.7%	【96.8%】	3.2%	—
	50歳代(213人)		32.4%	62.4%	【94.8%】	4.2%	0.9%
	60歳代(247人)		30.4%	64.0%	【94.3%】	3.6%	2.0%
	70歳以上(364人)		22.5%	62.9%	【85.4%】	8.0%	6.6%
	無回答(18人)		27.8%	55.6%	【83.3%】	16.7%	—
職業別	会社員・公務員など(405人)		32.1%	63.2%	【95.3%】	4.4%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)		33.5%	61.6%	【95.1%】	4.0%	0.9%
	自営業等(78人)		26.9%	60.3%	【87.2%】	9.0%	3.8%
	家事に従事(222人)		28.4%	66.2%	【94.6%】	3.2%	2.3%
	学生(42人)		45.2%	54.8%	【100.0%】	—	—
	その他の職業(23人)		43.5%	47.8%	【91.3%】	4.3%	4.3%
	仕事はしていない(294人)		24.1%	63.3%	【87.4%】	6.1%	6.5%
	無回答(21人)		23.8%	47.6%	【71.4%】	23.8%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		43.1%	53.5%	【96.5%】	1.3%	2.2%
	ない(801人)		23.1%	68.2%	【91.3%】	7.1%	1.6%
	無回答(46人)		21.7%	54.3%	【76.1%】	4.3%	19.6%

性別

「多く存在する」では女性(32.5%)が男性(27.0%)を5ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では30歳代(42.3%)が他の年代に比べて4ポイント以上高くなっています。

職業別

【存在する】では<学生>(100.0%)が他の職業に比べて4ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が<ない>(91.3%)でも9割を超えています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から7ポイント上がっています。



差別や人権侵害の存在の有無《子ども》

属性	回答内容	存在の有無		【存在する】	存在しない	無回答
		多く存在する	ある程度存在する			
全体(1,309人)		20.9%	63.8%	【84.7%】	11.8%	3.4%
性別	男性(589人)	19.2%	65.5%	【84.7%】	12.1%	3.2%
	女性(695人)	22.2%	62.6%	【84.7%】	11.7%	3.6%
	その他(4人)	50.0%	50.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)	23.8%	57.1%	【81.0%】	14.3%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)	25.2%	63.8%	【89.0%】	10.2%	0.8%
	30歳代(123人)	30.9%	55.3%	【86.2%】	13.8%	—
	40歳代(217人)	19.8%	71.0%	【90.8%】	9.2%	—
	50歳代(213人)	22.1%	66.7%	【88.7%】	10.3%	0.9%
	60歳代(247人)	20.6%	68.0%	【88.7%】	8.5%	2.8%
	70歳以上(364人)	16.2%	58.2%	【74.5%】	16.2%	9.3%
	無回答(18人)	22.2%	55.6%	【77.8%】	16.7%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	21.2%	66.7%	【87.9%】	11.9%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)	23.7%	68.8%	【92.4%】	6.7%	0.9%
	自営業等(78人)	20.5%	59.0%	【79.5%】	16.7%	3.8%
	家事に従事(222人)	21.2%	62.2%	【83.3%】	13.5%	3.2%
	学生(42人)	26.2%	61.9%	【88.1%】	11.9%	—
	その他の職業(23人)	30.4%	52.2%	【82.6%】	8.7%	8.7%
	仕事はしていない(294人)	17.3%	60.2%	【77.6%】	12.6%	9.9%
	無回答(21人)	14.3%	57.1%	【71.4%】	23.8%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	29.2%	61.3%	【90.5%】	6.9%	2.6%
	ない(801人)	16.5%	66.7%	【83.1%】	14.2%	2.6%
	無回答(46人)	15.2%	39.1%	【54.3%】	19.6%	26.1%

性別

「多く存在する」では女性(22.2%)が男性(19.2%)を3ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では30歳代(30.9%)が他の年代に比べて5ポイント以上高くなっています。

職業別

【存在する】では《契約・派遣社員・パート・アルバイト》(92.4%)が他の職業に比べて4ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》(90.5%)が《ない》(83.1%)を7ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から8ポイント上がっています。

		単位: %		
		【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)		【84.7】	11.8	3.4
H29平塚市(992人)		【75.8】	20.8	3.4

差別や人権侵害の存在の有無《高齢者》

属性	回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)		20.0%	66.5%	【86.6%】	10.5%	2.9%
性別	男性(589人)	15.6%	68.9%	【84.6%】	12.9%	2.5%
	女性(695人)	23.3%	64.9%	【88.2%】	8.5%	3.3%
	その他(4人)	50.0%	50.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)	28.6%	57.1%	【85.7%】	14.3%	—
年代別	29歳以下(127人)	20.5%	68.5%	【89.0%】	9.4%	1.6%
	30歳代(123人)	24.4%	65.0%	【89.4%】	10.6%	—
	40歳代(217人)	18.9%	71.9%	【90.8%】	8.8%	0.5%
	50歳代(213人)	19.2%	68.1%	【87.3%】	11.7%	0.9%
	60歳代(247人)	23.5%	67.2%	【90.7%】	6.9%	2.4%
	70歳以上(364人)	16.8%	62.4%	【79.1%】	13.7%	7.1%
	無回答(18人)	27.8%	55.6%	【83.3%】	11.1%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	18.5%	70.1%	【88.6%】	11.1%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)	23.7%	67.9%	【91.5%】	6.7%	1.8%
	自営業等(78人)	17.9%	67.9%	【85.9%】	11.5%	2.6%
	家事に従事(222人)	22.1%	66.2%	【88.3%】	8.6%	3.2%
	学生(42人)	23.8%	66.7%	【90.5%】	9.5%	—
	その他の職業(23人)	39.1%	52.2%	【91.3%】	4.3%	4.3%
	仕事はしていない(294人)	16.0%	61.9%	【77.9%】	14.6%	7.5%
	無回答(21人)	23.8%	61.9%	【85.7%】	9.5%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	27.9%	64.1%	【92.0%】	6.1%	1.9%
	ない(801人)	15.7%	68.8%	【84.5%】	13.2%	2.2%
	無回答(46人)	15.2%	52.2%	【67.4%】	8.7%	23.9%

性別

「多く存在する」では女性(23.3%)が男性(15.6%)を7ポイント上回っています。

年代別

【存在する】では40歳代(90.8%)、60歳代(90.7%)が9割を超えているのに対して、70歳以上(79.1%)はほぼ8割となっています。

職業別

【存在する】では《契約・派遣社員・パート・アルバイト》(91.5%)、《学生》(90.5%)が9割を超えているのに対して、《仕事はしていない》(77.9%)は8割弱となっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》(92.0%)が《ない》(84.5%)を7ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から4ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【86.6】	10.5	2.9
H29平塚市(992人)	【82.5】	14.6	2.9

単位: %

差別や人権侵害の存在の有無《障がいのある人》

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			49.4%	43.2%	【92.6%】	4.7%	2.8%
性別	男性(589人)		45.2%	46.5%	【91.7%】	5.4%	2.9%
	女性(695人)		52.8%	40.7%	【93.5%】	3.9%	2.6%
	その他(4人)		100.0%	—	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)		47.6%	38.1%	【85.7%】	9.5%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		58.3%	37.8%	【96.1%】	3.1%	0.8%
	30歳代(123人)		63.4%	34.1%	【97.6%】	2.4%	—
	40歳代(217人)		53.0%	44.2%	【97.2%】	2.3%	0.5%
	50歳代(213人)		55.4%	38.0%	【93.4%】	5.2%	1.4%
	60歳代(247人)		55.5%	39.7%	【95.1%】	2.8%	2.0%
	70歳以上(364人)		32.1%	52.7%	【84.9%】	8.0%	7.1%
	無回答(18人)		44.4%	44.4%	【88.9%】	11.1%	—
職業別	会社員・公務員など(405人)		54.1%	41.2%	【95.3%】	4.2%	0.5%
	契約・派遣社員など(224人)		52.2%	44.6%	【96.9%】	2.2%	0.9%
	自営業等(78人)		48.7%	38.5%	【87.2%】	7.7%	5.1%
	家事に従事(222人)		53.2%	39.6%	【92.8%】	5.0%	2.3%
	学生(42人)		73.8%	23.8%	【97.6%】	2.4%	—
	その他の職業(23人)		52.2%	47.8%	【100.0%】	—	—
	仕事はしていない(294人)		35.4%	50.7%	【86.1%】	6.5%	7.5%
	無回答(21人)		38.1%	47.6%	【85.7%】	9.5%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		60.2%	35.7%	【95.9%】	2.2%	1.9%
	ない(801人)		44.4%	47.6%	【92.0%】	5.9%	2.1%
	無回答(46人)		28.3%	41.3%	【69.6%】	8.7%	21.7%

性別

「多く存在する」では女性（52.8%）が男性（45.2%）を7ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では30歳代（63.4%）が他の年代に比べて5ポイント以上高くなっています。

職業別

「多く存在する」では《学生》（73.8%）が他の職業に比べて19ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ない》（92.0%）でも9割を超えています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から3ポイント上がっています。



差別や人権侵害の存在の有無<<同和問題>>

属性	回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)		16.6%	61.3%	【77.8%】	15.4%	6.7%
性別	男性(589人)	17.8%	57.9%	【75.7%】	18.8%	5.4%
	女性(695人)	14.8%	64.6%	【79.4%】	12.9%	7.6%
	その他(4人)	25.0%	75.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)	38.1%	42.9%	【81.0%】	4.8%	14.3%
年代別	29歳以下(127人)	16.5%	66.9%	【83.5%】	14.2%	2.4%
	30歳代(123人)	17.1%	65.9%	【82.9%】	15.4%	1.6%
	40歳代(217人)	16.1%	66.8%	【82.9%】	14.3%	2.8%
	50歳代(213人)	16.9%	62.4%	【79.3%】	17.4%	3.3%
	60歳代(247人)	22.3%	61.5%	【83.8%】	10.5%	5.7%
	70歳以上(364人)	11.8%	54.7%	【66.5%】	19.0%	14.6%
	無回答(18人)	33.3%	38.9%	【72.2%】	11.1%	16.7%
職業別	会社員・公務員など(405人)	16.5%	66.4%	【83.0%】	15.8%	1.2%
	契約・派遣社員など(224人)	20.1%	60.7%	【80.8%】	13.8%	5.4%
	自営業等(78人)	10.3%	64.1%	【74.4%】	15.4%	10.3%
	家事に従事(222人)	14.9%	62.6%	【77.5%】	14.0%	8.6%
	学生(42人)	26.2%	61.9%	【88.1%】	11.9%	—
	その他の職業(23人)	34.8%	47.8%	【82.6%】	13.0%	4.3%
	仕事はしていない(294人)	12.9%	54.8%	【67.7%】	18.7%	13.6%
	無回答(21人)	33.3%	47.6%	【81.0%】	4.8%	14.3%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	22.9%	59.5%	【82.5%】	11.0%	6.5%
	ない(801人)	13.0%	63.0%	【76.0%】	18.5%	5.5%
	無回答(46人)	15.2%	47.8%	【63.0%】	6.5%	30.4%

性別

「ある程度存在する」では女性(64.6%)が男性(57.9%)を6ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では60歳代(22.3%)が他の年代に比べて5ポイント以上高くなっています。

職業別

「多く存在する」では<<学生>>(26.2%)が他の職業に比べて6ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が<<ある>>(82.5%)が<<ない>>(76.0%)を6ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から7ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【77.8】	15.4	6.7
H29平塚市(992人)	【70.6】	21.5	8.0

単位: %

差別や人権侵害の存在の有無《アイヌの人々》

属性	回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)		13.3%	56.6%	【69.9%】	25.1%	5.0%
性別	男性(589人)	13.4%	53.1%	【66.6%】	29.0%	4.4%
	女性(695人)	12.7%	59.7%	【72.4%】	22.0%	5.6%
	その他(4人)	—	100.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)	33.3%	42.9%	【76.2%】	19.0%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)	16.5%	60.6%	【77.2%】	22.0%	0.8%
	30歳代(123人)	13.0%	66.7%	【79.7%】	18.7%	1.6%
	40歳代(217人)	11.1%	61.8%	【72.8%】	24.9%	2.3%
	50歳代(213人)	13.6%	60.1%	【73.7%】	23.9%	2.3%
	60歳代(247人)	16.2%	59.9%	【76.1%】	20.2%	3.6%
	70歳以上(364人)	10.7%	45.3%	【56.0%】	32.1%	11.8%
	無回答(18人)	27.8%	38.9%	【66.7%】	27.8%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	13.6%	63.5%	【77.0%】	22.7%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)	14.3%	59.4%	【73.7%】	22.3%	4.0%
	自営業等(78人)	10.3%	55.1%	【65.4%】	26.9%	7.7%
	家事に従事(222人)	13.1%	56.3%	【69.4%】	25.2%	5.4%
	学生(42人)	19.0%	54.8%	【73.8%】	26.2%	—
	その他の職業(23人)	30.4%	52.2%	【82.6%】	13.0%	4.3%
	仕事はしていない(294人)	10.2%	46.9%	【57.1%】	31.0%	11.9%
	無回答(21人)	23.8%	47.6%	【71.4%】	19.0%	9.5%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	17.7%	60.8%	【78.6%】	16.9%	4.5%
	ない(801人)	11.0%	55.2%	【66.2%】	29.8%	4.0%
	無回答(46人)	8.7%	39.1%	【47.8%】	23.9%	28.3%

性別

「存在しない」では男性（29.0%）が女性（22.0%）を7ポイント上回っています。

年代別

【存在する】では70歳以上を除く全ての年代で7割を超えているのに対して、70歳以上（56.0%）は6割弱となっています。

職業別

「多く存在する」では《学生》（19.0%）が他の職業に比べて4ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》（78.6%）が《ない》（66.2%）を12ポイント上回っています。

また、「存在しない」では人権侵害を受けた経験が《ない》（29.8%）がほぼ3割となっています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から12ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【69.9】	25.1	5.0
H29平塚市(992人)	【57.4】	35.1	7.6

単位：%

差別や人権侵害の存在の有無《外国人》

属性	回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)		25.0%	63.1%	【88.1%】	8.3%	3.7%
性別	男性(589人)	24.8%	62.6%	【87.4%】	9.5%	3.1%
	女性(695人)	25.2%	63.3%	【88.5%】	7.3%	4.2%
	その他(4人)	25.0%	75.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)	23.8%	66.7%	【90.5%】	4.8%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)	38.6%	54.3%	【92.9%】	5.5%	1.6%
	30歳代(123人)	39.8%	55.3%	【95.1%】	4.9%	—
	40歳代(217人)	31.3%	61.8%	【93.1%】	6.5%	0.5%
	50歳代(213人)	23.9%	68.1%	【92.0%】	6.6%	1.4%
	60歳代(247人)	21.1%	68.8%	【89.9%】	6.5%	3.6%
	70歳以上(364人)	15.1%	62.4%	【77.5%】	13.7%	8.8%
	無回答(18人)	16.7%	72.2%	【88.9%】	5.6%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	32.1%	60.7%	【92.8%】	6.4%	0.7%
	契約・派遣社員など(224人)	25.4%	66.5%	【92.0%】	6.3%	1.8%
	自営業等(78人)	21.8%	59.0%	【80.8%】	12.8%	6.4%
	家事に従事(222人)	23.0%	63.5%	【86.5%】	9.0%	4.5%
	学生(42人)	40.5%	54.8%	【95.2%】	4.8%	—
	その他の職業(23人)	34.8%	56.5%	【91.3%】	8.7%	—
	仕事はしていない(294人)	15.0%	65.6%	【80.6%】	10.9%	8.5%
	無回答(21人)	14.3%	71.4%	【85.7%】	9.5%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	30.5%	61.9%	【92.4%】	4.5%	3.0%
	ない(801人)	22.3%	64.8%	【87.1%】	10.2%	2.6%
	無回答(46人)	15.2%	45.7%	【60.9%】	10.9%	28.3%

性別

【存在する】では女性（88.5%）が男性（87.4%）を上回っています。

年代別

【存在する】では30歳代（95.1%）が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

「多く存在する」では《学生》（40.5%）が他の職業に比べて8ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》（92.4%）が《ない》（87.1%）を5ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から10ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【88.1】	8.3	3.7
H29平塚市(992人)	【77.9】	17.5	4.5

単位：%

別や人権侵害の存在の有無<<疾病等>>

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			31.8%	56.1%	【87.9%】	8.3%	3.8%
性別	男性(589人)		28.0%	57.7%	【85.7%】	11.2%	3.1%
	女性(695人)		34.8%	54.7%	【89.5%】	6.0%	4.5%
	その他(4人)		25.0%	75.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)		38.1%	52.4%	【90.5%】	4.8%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		40.2%	52.0%	【92.1%】	7.1%	0.8%
	30歳代(123人)		40.7%	54.5%	【95.1%】	4.9%	—
	40歳代(217人)		42.4%	48.4%	【90.8%】	8.8%	0.5%
	50歳代(213人)		32.9%	55.9%	【88.7%】	9.4%	1.9%
	60歳代(247人)		31.2%	61.1%	【92.3%】	4.5%	3.2%
	70歳以上(364人)		19.2%	59.3%	【78.6%】	11.8%	9.6%
	無回答(18人)		33.3%	55.6%	【88.9%】	5.6%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		36.8%	54.6%	【91.4%】	8.1%	0.5%
	契約・派遣社員など(224人)		34.8%	56.3%	【91.1%】	7.1%	1.8%
	自営業等(78人)		29.5%	53.8%	【83.3%】	10.3%	6.4%
	家事に従事(222人)		31.5%	56.3%	【87.8%】	7.7%	4.5%
	学生(42人)		42.9%	52.4%	【95.2%】	4.8%	—
	その他の職業(23人)		26.1%	60.9%	【87.0%】	8.7%	4.3%
	仕事はしていない(294人)		22.4%	58.5%	【81.0%】	9.9%	9.2%
	無回答(21人)		28.6%	57.1%	【85.7%】	9.5%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		39.4%	53.9%	【93.3%】	3.5%	3.2%
	ない(801人)		28.1%	58.1%	【86.1%】	11.1%	2.7%
	無回答(46人)		19.6%	43.5%	【63.0%】	8.7%	28.3%

性別

「多く存在する」では女性(34.8%)が男性(28.0%)を6ポイント上回っています。

年代別

【存在する】では30歳代(95.1%)が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「多く存在する」では<<学生>>(42.9%)が他の職業に比べて6ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が<<ある>>(93.3%)が<<ない>>(86.1%)を7ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から1ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【87.9】	8.3	3.8
H29平塚市(992人)※	【86.3】	9.3	4.4

※前回調査では、「HIV感染者・ハンセン病患者等」と表記されていた。

差別や人権侵害の存在の有無<刑を終えて出所した人>

属性	回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)		45.1%	46.2%	【91.3%】	5.0%	3.7%
性別	男性(589人)	40.7%	50.8%	【91.5%】	5.4%	3.1%
	女性(695人)	48.9%	42.7%	【91.7%】	4.2%	4.2%
	その他(4人)	75.0%	—	【75.0%】	25.0%	—
	無回答(21人)	33.3%	42.9%	【76.2%】	14.3%	9.5%
年代別	29歳以下(127人)	49.6%	40.2%	【89.8%】	9.4%	0.8%
	30歳代(123人)	55.3%	39.0%	【94.3%】	5.7%	—
	40歳代(217人)	49.8%	44.2%	【94.0%】	5.5%	0.5%
	50歳代(213人)	47.9%	48.4%	【96.2%】	2.8%	0.9%
	60歳代(247人)	45.7%	48.2%	【93.9%】	2.8%	3.2%
	70歳以上(364人)	35.7%	49.2%	【84.9%】	5.2%	9.9%
	無回答(18人)	33.3%	50.0%	【83.3%】	11.1%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	49.9%	45.2%	【95.1%】	4.7%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)	44.2%	49.1%	【93.3%】	5.4%	1.3%
	自営業等(78人)	43.6%	46.2%	【89.7%】	3.8%	6.4%
	家事に従事(222人)	45.5%	44.1%	【89.6%】	5.4%	5.0%
	学生(42人)	59.5%	33.3%	【92.9%】	7.1%	—
	その他の職業(23人)	47.8%	52.2%	【100.0%】	—	—
	仕事はしていない(294人)	37.8%	48.0%	【85.7%】	4.8%	9.5%
	無回答(21人)	33.3%	52.4%	【85.7%】	9.5%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	52.6%	40.5%	【93.1%】	3.5%	3.5%
	ない(801人)	41.1%	50.8%	【91.9%】	5.9%	2.2%
	無回答(46人)	39.1%	23.9%	【63.0%】	4.3%	32.6%

性別

「多く存在する」では女性(48.9%)が男性(40.7%)を8ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では30歳代(55.3%)が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

「多く存在する」では<学生>(59.5%)が他の職業に比べて9ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が<ない>(91.9%)でも9割を超えています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から3ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【91.3】	5.0	3.7
H29平塚市(992人)	【88.1】	7.7	4.2

単位:%

差別や人権侵害の存在の有無《犯罪被害者等》

属性	回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)		32.7%	53.3%	【86.0%】	9.8%	4.2%
性別	男性(589人)	27.3%	55.2%	【82.5%】	13.9%	3.6%
	女性(695人)	37.1%	52.2%	【89.4%】	5.9%	4.7%
	その他(4人)	25.0%	75.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)	38.1%	33.3%	【71.4%】	23.8%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)	33.1%	55.1%	【88.2%】	10.2%	1.6%
	30歳代(123人)	43.9%	48.8%	【92.7%】	7.3%	—
	40歳代(217人)	35.9%	54.8%	【90.8%】	8.3%	0.9%
	50歳代(213人)	40.4%	50.2%	【90.6%】	8.9%	0.5%
	60歳代(247人)	30.4%	57.5%	【87.9%】	8.9%	3.2%
	70歳以上(364人)	23.6%	53.3%	【76.9%】	11.8%	11.3%
	無回答(18人)	38.9%	33.3%	【72.2%】	22.2%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	32.6%	57.0%	【89.6%】	10.4%	—
	契約・派遣社員など(224人)	35.7%	53.6%	【89.3%】	7.6%	3.1%
	自営業等(78人)	35.9%	46.2%	【82.1%】	11.5%	6.4%
	家事に従事(222人)	34.2%	53.2%	【87.4%】	7.2%	5.4%
	学生(42人)	35.7%	54.8%	【90.5%】	9.5%	—
	その他の職業(23人)	30.4%	60.9%	【91.3%】	8.7%	—
	仕事はしていない(294人)	28.2%	50.3%	【78.6%】	11.6%	9.9%
	無回答(21人)	33.3%	38.1%	【71.4%】	19.0%	9.5%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	40.7%	49.1%	【89.8%】	6.5%	3.7%
	ない(801人)	28.6%	56.9%	【85.5%】	11.6%	2.9%
	無回答(46人)	23.9%	32.6%	【56.5%】	10.9%	32.6%

性別

「多く存在する」では女性(37.1%)が男性(27.3%)を9ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では30歳代(43.9%)が他の年代に比べて3ポイント以上高くなっています。

職業別

【存在する】では《学生》(90.5%)が9割を超えているのに対して、《仕事はしていない》(78.6%)は8割弱となっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》(89.8%)が《ない》(85.5%)を4ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から4ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【86.0】	9.8	4.2
H29平塚市(992人)	【81.4】	14.2	4.4

単位：%

差別や人権侵害の存在の有無〈インターネットによる人権侵害〉

属性	回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)		66.0%	26.7%	【92.7%】	4.0%	3.4%
性別	男性(589人)	64.2%	28.0%	【92.2%】	4.6%	3.2%
	女性(695人)	67.8%	25.6%	【93.4%】	3.2%	3.5%
	その他(4人)	100.0%	—	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)	52.4%	28.6%	【81.0%】	14.3%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)	72.4%	23.6%	【96.1%】	3.1%	0.8%
	30歳代(123人)	77.2%	20.3%	【97.6%】	2.4%	—
	40歳代(217人)	75.1%	22.1%	【97.2%】	2.8%	—
	50歳代(213人)	77.9%	19.2%	【97.2%】	1.9%	0.9%
	60歳代(247人)	67.6%	26.7%	【94.3%】	3.6%	2.0%
	70歳以上(364人)	47.0%	37.1%	【84.1%】	6.3%	9.6%
	無回答(18人)	55.6%	22.2%	【77.8%】	16.7%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	74.6%	22.0%	【96.5%】	3.2%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)	67.4%	27.2%	【94.6%】	4.0%	1.3%
	自営業等(78人)	61.5%	32.1%	【93.6%】	1.3%	5.1%
	家事に従事(222人)	65.3%	27.9%	【93.2%】	3.6%	3.2%
	学生(42人)	83.3%	16.7%	【100.0%】	—	—
	その他の職業(23人)	56.5%	34.8%	【91.3%】	4.3%	4.3%
	仕事はしていない(294人)	54.1%	31.3%	【85.4%】	5.4%	9.2%
	無回答(21人)	52.4%	23.8%	【76.2%】	19.0%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	75.1%	19.7%	【94.8%】	2.6%	2.6%
	ない(801人)	61.9%	31.0%	【92.9%】	4.7%	2.4%
	無回答(46人)	45.7%	21.7%	【67.4%】	4.3%	28.3%

性別

「多く存在する」では女性(67.8%)が男性(64.2%)を3ポイント上回っています。

年代別

【存在する】では70歳以上を除く全ての年代で9割を超えているのに対して、70歳以上(84.1%)は8割強となっています。

職業別

【存在する】では《学生》(100.0%)が他の職業に比べて3ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ない》(92.9%)でも9割を超えています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から4ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【92.7】	4.0	3.4
H29平塚市(992人)	【88.6】	6.7	4.7

単位：%

差別や人権侵害の存在の有無《ホームレス》

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			42.4%	49.2%	【91.6%】	5.0%	3.4%
性別	男性(589人)		39.6%	50.9%	【90.5%】	6.5%	3.1%
	女性(695人)		44.6%	48.2%	【92.8%】	3.5%	3.7%
	その他(4人)		75.0%	—	【75.0%】	25.0%	—
	無回答(21人)		42.9%	42.9%	【85.7%】	9.5%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		48.8%	41.7%	【90.6%】	8.7%	0.8%
	30歳代(123人)		47.2%	48.0%	【95.1%】	4.9%	—
	40歳代(217人)		46.5%	49.3%	【95.9%】	3.2%	0.9%
	50歳代(213人)		46.0%	48.8%	【94.8%】	3.8%	1.4%
	60歳代(247人)		44.1%	48.6%	【92.7%】	4.0%	3.2%
	70歳以上(364人)		32.4%	53.0%	【85.4%】	6.0%	8.5%
	無回答(18人)		50.0%	44.4%	【94.4%】	5.6%	—
職業別	会社員・公務員など(405人)		46.9%	47.2%	【94.1%】	4.9%	1.0%
	契約・派遣社員など(224人)		42.0%	53.1%	【95.1%】	4.5%	0.4%
	自営業等(78人)		46.2%	44.9%	【91.0%】	3.8%	5.1%
	家事に従事(222人)		45.9%	45.5%	【91.4%】	4.1%	4.5%
	学生(42人)		54.8%	35.7%	【90.5%】	9.5%	—
	その他の職業(23人)		39.1%	60.9%	【100.0%】	—	—
	仕事はしていない(294人)		32.0%	54.1%	【86.1%】	5.8%	8.2%
	無回答(21人)		33.3%	47.6%	【81.0%】	9.5%	9.5%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		49.1%	44.2%	【93.3%】	3.7%	3.0%
	ない(801人)		39.0%	53.6%	【92.5%】	5.5%	2.0%
	無回答(46人)		34.8%	23.9%	【58.7%】	8.7%	32.6%

性別

「多く存在する」では女性(44.6%)が男性(39.6%)を5ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では29歳以下(48.8%)が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

「多く存在する」では《学生》(54.8%)が他の職業に比べて7ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ない》(92.5%)でも9割を超えています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から3ポイント上がっています。

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【91.6】	5.0	3.4
H29平塚市(992人)	【88.2】	8.8	3.0

単位: %

差別や人権侵害の存在の有無《セクシュアルマイノリティ》

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			30.8%	56.8%	【87.6%】	7.1%	5.3%
性別	男性(589人)		27.3%	58.9%	【86.2%】	9.2%	4.6%
	女性(695人)		33.5%	55.4%	【88.9%】	5.2%	5.9%
	その他(4人)		75.0%	25.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)		28.6%	52.4%	【81.0%】	14.3%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		47.2%	44.1%	【91.3%】	7.9%	0.8%
	30歳代(123人)		45.5%	48.8%	【94.3%】	5.7%	—
	40歳代(217人)		33.2%	59.9%	【93.1%】	6.0%	0.9%
	50歳代(213人)		30.5%	62.0%	【92.5%】	5.2%	2.3%
	60歳代(247人)		35.6%	57.1%	【92.7%】	4.5%	2.8%
	70歳以上(364人)		15.7%	59.1%	【74.7%】	10.7%	14.6%
	無回答(18人)		27.8%	55.6%	【83.3%】	11.1%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		36.3%	56.3%	【92.6%】	7.2%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)		31.3%	60.3%	【91.5%】	4.9%	3.6%
	自営業等(78人)		26.9%	56.4%	【83.3%】	6.4%	10.3%
	家事に従事(222人)		31.1%	56.3%	【87.4%】	5.9%	6.8%
	学生(42人)		57.1%	35.7%	【92.9%】	7.1%	—
	その他の職業(23人)		34.8%	56.5%	【91.3%】	4.3%	4.3%
	仕事はしていない(294人)		20.1%	58.5%	【78.6%】	9.5%	11.9%
	無回答(21人)		23.8%	57.1%	【81.0%】	14.3%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		38.3%	53.7%	【92.0%】	3.9%	4.1%
	ない(801人)		27.1%	59.9%	【87.0%】	8.9%	4.1%
	無回答(46人)		19.6%	34.8%	【54.3%】	8.7%	37.0%

性別

「多く存在する」では女性(33.5%)が男性(27.3%)を6ポイント上回っています。

年代別

【存在する】では70歳以上を除く全ての年代で9割を超えているのに対して、70歳以上(74.7%)は7割強となっています。

職業別

「多く存在する」では《学生》(57.1%)が他の職業に比べて20ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》(92.0%)が《ない》(87.0%)を5ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回の「性的指向」「性同一性障がい者」からそれぞれ上がっています。

単位：%

	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【87.6】	7.1	5.3
H29平塚市(992人)※1	【82.2】	13.0	4.8
H29平塚市(992人)※2	【81.5】	13.7	4.8

※1 前回調査では「性的指向」となっていた。

※2 前回調査では「性同一性障がい者」となっていた。

差別や人権侵害の存在の有無<<北朝鮮当局によって拉致された被害者等>>

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			29.3%	47.2%	【76.5%】	19.0%	4.5%
性別	男性(589人)		29.7%	43.0%	【72.7%】	23.6%	3.7%
	女性(695人)		29.4%	50.4%	【79.7%】	15.1%	5.2%
	その他(4人)		—	75.0%	【75.0%】	25.0%	—
	無回答(21人)		19.0%	57.1%	【76.2%】	19.0%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		24.4%	56.7%	【81.1%】	18.1%	0.8%
	30歳代(123人)		34.1%	52.8%	【87.0%】	12.2%	0.8%
	40歳代(217人)		24.4%	56.7%	【81.1%】	17.1%	1.8%
	50歳代(213人)		27.2%	55.4%	【82.6%】	16.0%	1.4%
	60歳代(247人)		35.2%	46.2%	【81.4%】	15.8%	2.8%
	70歳以上(364人)		29.9%	31.9%	【61.8%】	26.6%	11.5%
	無回答(18人)		16.7%	55.6%	【72.2%】	22.2%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		27.4%	51.4%	【78.8%】	21.0%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)		32.6%	50.9%	【83.5%】	13.8%	2.7%
	自営業等(78人)		28.2%	47.4%	【75.6%】	16.7%	7.7%
	家事に従事(222人)		32.0%	46.8%	【78.8%】	14.4%	6.8%
	学生(42人)		28.6%	52.4%	【81.0%】	19.0%	—
	その他の職業(23人)		30.4%	60.9%	【91.3%】	8.7%	—
	仕事はしていない(294人)		28.6%	36.4%	【65.0%】	24.8%	10.2%
	無回答(21人)		14.3%	57.1%	【71.4%】	23.8%	4.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		35.7%	47.0%	【82.7%】	13.0%	4.3%
	ない(801人)		25.7%	48.9%	【74.7%】	22.5%	2.9%
	無回答(46人)		26.1%	19.6%	【45.7%】	19.6%	34.8%

性別

「存在しない」では男性(23.6%)が女性(15.1%)を8ポイント上回っています。

年代別

【存在する】では30歳代(87.0%)が他の年代に比べて4ポイント以上高くなっています。

職業別

【存在する】では<<契約・派遣社員・パート・アルバイト>>(83.5%)が他の職業に比べて最も高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が<<ある>>(82.7%)が<<ない>>(74.7%)を8ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から5ポイント上がっています。

	単位:%		
	【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)	【76.5】	19.0	4.5
H29平塚市(992人)	【71.2】	23.9	4.9

差別や人権侵害の存在の有無<<人身取引>>

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			24.3%	48.3%	【72.6%】	21.4%	6.0%
性別	男性(589人)		21.1%	49.7%	【70.8%】	24.8%	4.4%
	女性(695人)		27.1%	46.9%	【74.0%】	18.6%	7.5%
	その他(4人)		25.0%	75.0%	【100.0%】	—	—
	無回答(21人)		23.8%	47.6%	【71.4%】	23.8%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		28.3%	55.9%	【84.3%】	13.4%	2.4%
	30歳代(123人)		30.1%	52.8%	【82.9%】	14.6%	2.4%
	40歳代(217人)		24.9%	47.9%	【72.8%】	23.5%	3.7%
	50歳代(213人)		24.4%	58.7%	【83.1%】	14.1%	2.8%
	60歳代(247人)		27.9%	50.2%	【78.1%】	17.8%	4.0%
	70歳以上(364人)		18.1%	37.1%	【55.2%】	31.6%	13.2%
	無回答(18人)		22.2%	44.4%	【66.7%】	27.8%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		25.7%	51.9%	【77.5%】	21.7%	0.7%
	契約・派遣社員など(224人)		26.3%	53.1%	【79.5%】	14.7%	5.8%
	自営業等(78人)		29.5%	46.2%	【75.6%】	17.9%	6.4%
	家事に従事(222人)		25.7%	45.9%	【71.6%】	20.7%	7.7%
	学生(42人)		28.6%	59.5%	【88.1%】	9.5%	2.4%
	その他の職業(23人)		26.1%	56.5%	【82.6%】	17.4%	—
	仕事はしていない(294人)		18.0%	39.8%	【57.8%】	29.3%	12.9%
	無回答(21人)		19.0%	47.6%	【66.7%】	23.8%	9.5%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		30.1%	50.0%	【80.1%】	14.3%	5.6%
	ない(801人)		21.3%	48.3%	【69.7%】	25.8%	4.5%
	無回答(46人)		17.4%	30.4%	【47.8%】	15.2%	37.0%

性別

「多く存在する」では女性(27.1%)が男性(21.1%)を6ポイント上回っています。

年代別

【存在する】では70歳以上を除く全ての年代で7割を超えているのに対して、70歳以上(55.2%)は6割弱となっています。

職業別

【存在する】では<<学生>>(88.1%)が他の職業に比べて8ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が<<ある>>(80.1%)が<<ない>>(69.7%)を10ポイント上回っています。

❖ 前回調査との比較 ❖

【存在する】では前回から5ポイント下がっています。

		単位: %		
		【存在する】	存在しない	無回答
R4平塚市(1,309人)		【72.6】	21.4	6.0
H29平塚市(992人)		【77.7】	16.3	5.9

差別や人権侵害の存在の有無《自殺・自死遺族》

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			22.5%	59.8%	【82.3%】	13.4%	4.4%
性別	男性(589人)		20.5%	59.3%	【79.8%】	16.6%	3.6%
	女性(695人)		24.2%	60.1%	【84.3%】	10.6%	5.0%
	その他(4人)		—	75.0%	【75.0%】	25.0%	—
	無回答(21人)		23.8%	61.9%	【85.7%】	9.5%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		31.5%	59.1%	【90.6%】	8.7%	0.8%
	30歳代(123人)		28.5%	61.0%	【89.4%】	8.9%	1.6%
	40歳代(217人)		24.9%	60.8%	【85.7%】	12.0%	2.3%
	50歳代(213人)		24.9%	61.0%	【85.9%】	12.7%	1.4%
	60歳代(247人)		25.1%	60.7%	【85.8%】	11.3%	2.8%
	70歳以上(364人)		12.9%	57.4%	【70.3%】	19.2%	10.4%
	無回答(18人)		16.7%	66.7%	【83.3%】	11.1%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		24.2%	61.0%	【85.2%】	13.3%	1.5%
	契約・派遣社員など(224人)		24.6%	63.4%	【87.9%】	9.8%	2.2%
	自営業等(78人)		23.1%	61.5%	【84.6%】	10.3%	5.1%
	家事に従事(222人)		22.1%	61.3%	【83.3%】	11.7%	5.0%
	学生(42人)		31.0%	59.5%	【90.5%】	9.5%	—
	その他の職業(23人)		21.7%	69.6%	【91.3%】	8.7%	—
	仕事はしていない(294人)		18.0%	52.7%	【70.7%】	19.4%	9.9%
	無回答(21人)		14.3%	66.7%	【81.0%】	9.5%	9.5%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		28.8%	59.1%	【87.9%】	8.0%	4.1%
	ない(801人)		19.1%	61.3%	【80.4%】	16.7%	2.9%
	無回答(46人)		17.4%	41.3%	【58.7%】	8.7%	32.6%

性別

「存在しない」では男性（16.6%）が女性（10.6%）を6ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では29歳以下（31.5%）が他の年代に比べて3ポイント以上高くなっています。

職業別

「多く存在する」では《学生》（31.0%）が他の職業に比べて6ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》（87.9%）が《ない》（80.4%）を7ポイント上回っています。

※ 前回調査では《自殺・自死遺族》についての設問がなかったため、前回調査との比較はない。

差別や人権侵害の存在の有無《災害発生時における人権侵害》

属性		回答内容	多く存在する	ある程度存在する	【存在する】	存在しない	無回答
全体(1,309人)			22.9%	57.7%	【80.6%】	15.3%	4.1%
性別	男性(589人)		21.6%	56.4%	【77.9%】	18.5%	3.6%
	女性(695人)		24.0%	59.0%	【83.0%】	12.4%	4.6%
	その他(4人)		50.0%	25.0%	【75.0%】	25.0%	—
	無回答(21人)		19.0%	57.1%	【76.2%】	19.0%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)		26.8%	59.1%	【85.8%】	13.4%	0.8%
	30歳代(123人)		30.9%	56.1%	【87.0%】	11.4%	1.6%
	40歳代(217人)		29.5%	55.3%	【84.8%】	13.4%	1.8%
	50歳代(213人)		26.8%	60.6%	【87.3%】	10.8%	1.9%
	60歳代(247人)		25.9%	62.3%	【88.3%】	8.9%	2.8%
	70歳以上(364人)		11.0%	54.4%	【65.4%】	25.0%	9.6%
	無回答(18人)		16.7%	55.6%	【72.2%】	22.2%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)		25.4%	61.2%	【86.7%】	12.3%	1.0%
	契約・派遣社員など(224人)		29.0%	58.5%	【87.5%】	9.4%	3.1%
	自営業等(78人)		26.9%	51.3%	【78.2%】	16.7%	5.1%
	家事に従事(222人)		21.2%	60.4%	【81.5%】	14.0%	4.5%
	学生(42人)		35.7%	45.2%	【81.0%】	19.0%	—
	その他の職業(23人)		21.7%	60.9%	【82.6%】	17.4%	—
	仕事はしていない(294人)		13.9%	53.4%	【67.3%】	23.5%	9.2%
	無回答(21人)		14.3%	57.1%	【71.4%】	19.0%	9.5%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)		31.2%	56.9%	【88.1%】	8.0%	3.9%
	ない(801人)		19.0%	59.2%	【78.2%】	19.1%	2.7%
	無回答(46人)		8.7%	39.1%	【47.8%】	21.7%	30.4%

性別

「存在しない」では男性（18.5%）が女性（12.4%）を6ポイント上回っています。

年代別

「多く存在する」では30歳代（30.9%）が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

「多く存在する」では《学生》（35.7%）が他の職業に比べて6ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

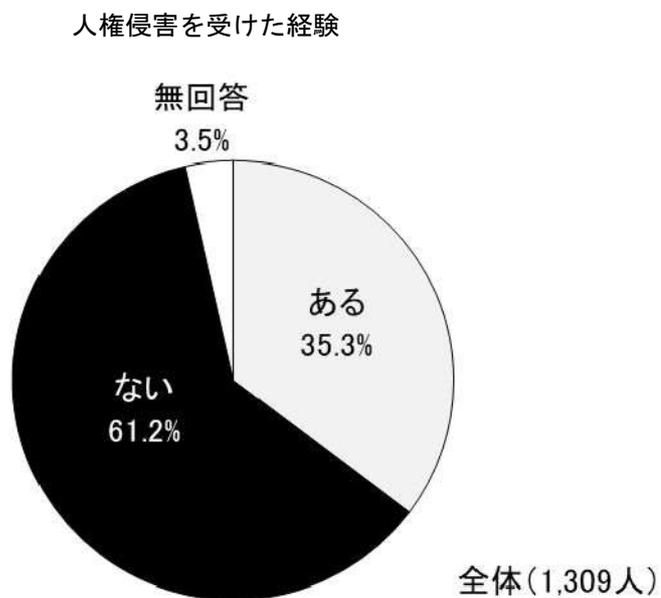
【存在する】では人権侵害を受けた経験が《ある》（88.1%）が《ない》（78.2%）を9ポイント上回っています。

※ 前回調査では《災害発生時における人権侵害》についての設問がなかったため、前回調査との比較はない。

【問4】人権侵害を受けた経験

あなたは、今までにご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つ)

人権侵害を受けた経験が「ある」という人が 35.3%、「ない」という人が 61.2%となっています。



人権侵害を受けた経験【属性別】

属性		回答内容		
		ある	ない	無回答
全体(1,309人)		35.3%	61.2%	3.5%
性別	男性(589人)	25.0%	71.5%	3.6%
	女性(695人)	43.6%	52.9%	3.5%
	その他(4人)	100.0%	—	—
	無回答(21人)	38.1%	57.1%	4.8%
年代別	29歳以下(127人)	27.6%	70.1%	2.4%
	30歳代(123人)	38.2%	59.3%	2.4%
	40歳代(217人)	41.5%	56.7%	1.8%
	50歳代(213人)	45.5%	54.0%	0.5%
	60歳代(247人)	36.0%	61.1%	2.8%
	70歳以上(364人)	26.9%	65.7%	7.4%
	無回答(18人)	33.3%	61.1%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	36.0%	63.5%	0.5%
	契約・派遣社員など(224人)	40.6%	57.6%	1.8%
	自営業等(78人)	32.1%	61.5%	6.4%
	家事に従事(222人)	41.0%	55.9%	3.2%
	学生(42人)	19.0%	78.6%	2.4%
	その他の職業(23人)	52.2%	47.8%	—
	仕事はしていない(294人)	28.6%	62.9%	8.5%
	無回答(21人)	23.8%	66.7%	9.5%

性別

「ある」では女性（43.6%）が男性（25.0%）を18ポイント上回っています。

年代別

「ある」では50歳代（45.5%）が他の年代に比べて4ポイント以上高くなっています。

職業別

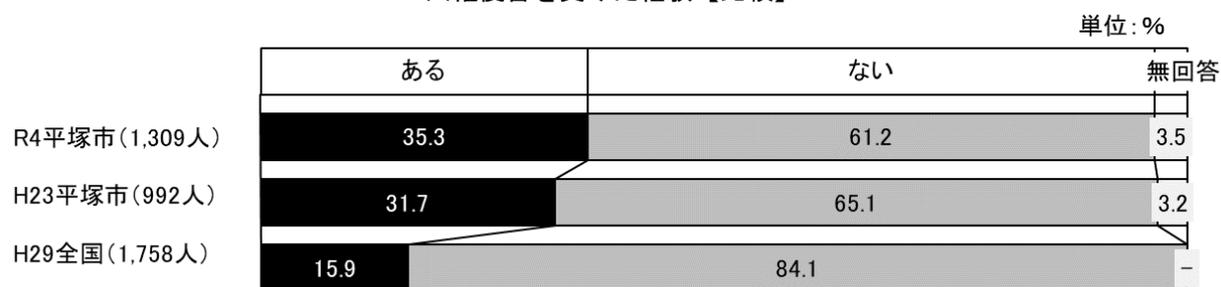
「ない」では《学生》（78.6%）が他の職業に比べて15ポイント以上高くなっています。

❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

人権侵害を受けた経験について、前回調査と比較すると、「ある」では前回から3ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「ある」では平塚市が全国を19ポイント上回っています。

人権侵害を受けた経験【比較】

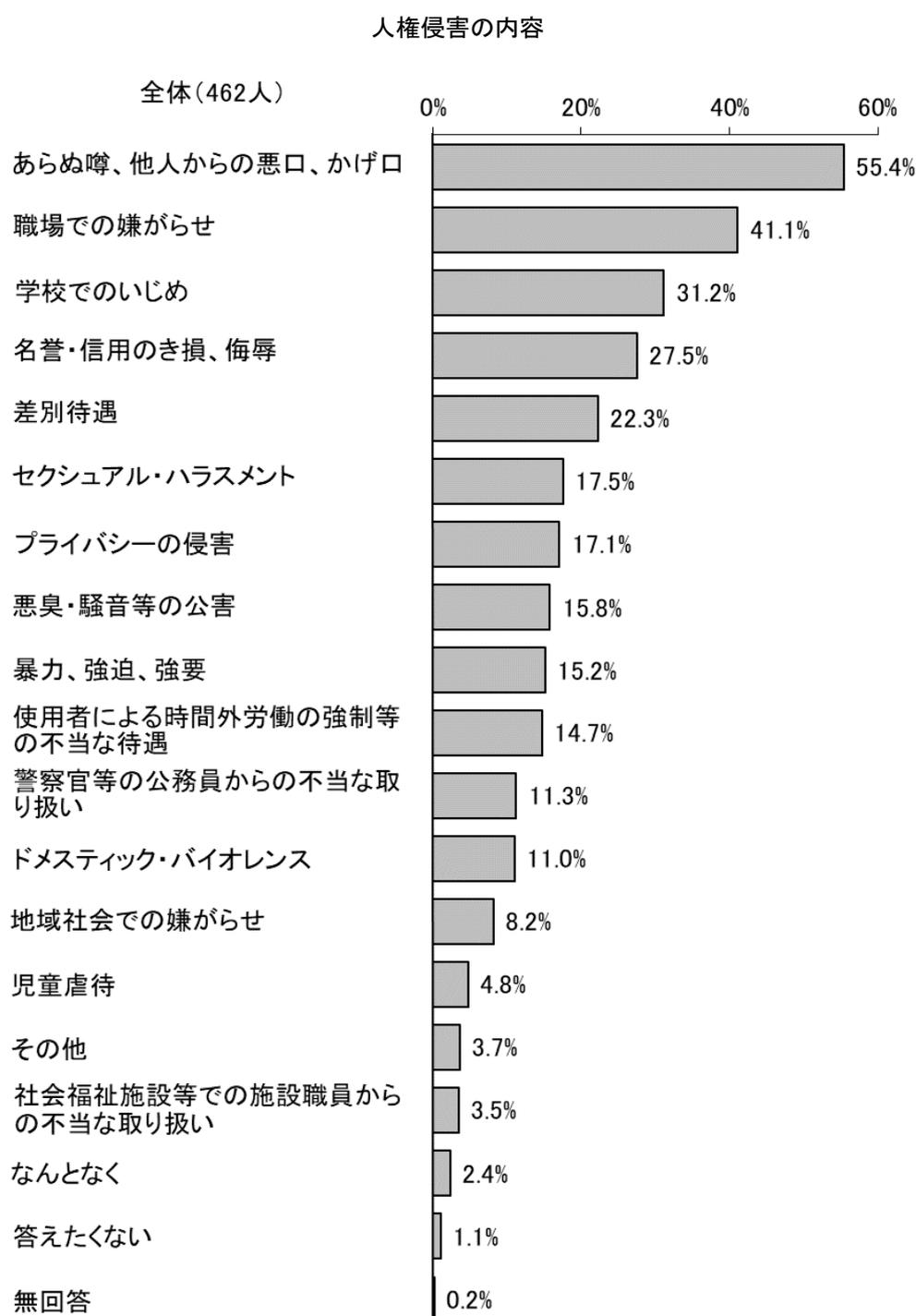


【問4-1】人権侵害の内容

問4で「1. ある」と回答した方のみにかがいます。それはどのような内容ですか。
(あてはまるものすべてに○)

人権を侵害されたことがある人に対して、その内容を聞いたところ、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」(55.4%)が最も高く、「職場での嫌がらせ」(41.1%)、「学校でのいじめ」(31.2%)が続きます。

「その他」としては、「モラル・ハラスメント」などの回答がありました。



人権侵害の内容【属性別】

回答内容		あらゆる噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	警察官等の公務員からの不当な取扱い	暴力、強迫、強要	悪臭・騒音等の公害	差別待遇	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラスメント	ドメスティック・バイオレンス	児童虐待	その他	なんとなく	答えたくない	無回答
全体(462人)		55.4%	27.5%	11.3%	15.2%	15.8%	22.3%	8.2%	31.2%	41.1%	14.7%	3.5%	17.1%	17.5%	11.0%	4.8%	3.7%	2.4%	1.1%	0.2%
性別	男性(147人)	60.5%	32.0%	15.6%	19.7%	18.4%	16.3%	6.1%	33.3%	41.5%	16.3%	1.4%	19.0%	3.4%	4.1%	4.1%	0.7%	—	—	—
	女性(303人)	53.1%	25.1%	9.2%	12.9%	14.2%	25.1%	9.6%	29.4%	41.3%	13.9%	4.3%	15.2%	24.1%	13.9%	4.3%	5.3%	3.3%	1.3%	0.3%
	その他(4人)	100.0%	50.0%	—	50.0%	50.0%	50.0%	—	100.0%	25.0%	—	25.0%	75.0%	50.0%	50.0%	50.0%	—	—	—	—
	無回答(8人)	25.0%	25.0%	12.5%	—	12.5%	12.5%	—	25.0%	37.5%	25.0%	—	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	—	12.5%	12.5%	—
年代別	29歳以下(35人)	65.7%	17.1%	5.7%	20.0%	20.0%	25.7%	11.4%	45.7%	22.9%	14.3%	5.7%	22.9%	28.6%	8.6%	11.4%	2.9%	—	—	—
	30歳代(47人)	51.1%	29.8%	6.4%	23.4%	14.9%	42.6%	4.3%	38.3%	53.2%	25.5%	4.3%	29.8%	31.9%	12.8%	8.5%	6.4%	—	—	—
	40歳代(90人)	64.4%	31.1%	11.1%	16.7%	12.2%	17.8%	8.9%	42.2%	45.6%	20.0%	4.4%	16.7%	26.7%	11.1%	2.2%	4.4%	2.2%	—	—
	50歳代(97人)	57.7%	32.0%	12.4%	15.5%	21.6%	24.7%	10.3%	34.0%	47.4%	13.4%	5.2%	13.4%	20.6%	12.4%	3.1%	3.1%	3.1%	—	—
	60歳代(89人)	51.7%	29.2%	11.2%	13.5%	13.5%	16.9%	3.4%	20.2%	29.2%	11.2%	1.1%	13.5%	4.5%	12.4%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	1.1%
	70歳以上(98人)	46.9%	21.4%	15.3%	10.2%	14.3%	18.4%	11.2%	20.4%	41.8%	8.2%	2.0%	16.3%	7.1%	8.2%	6.1%	4.1%	3.1%	3.1%	—
	無回答(6人)	50.0%	16.7%	—	—	16.7%	16.7%	—	16.7%	50.0%	33.3%	—	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	—	16.7%	—	—
職業別	会社員・公務員など(146人)	60.3%	31.5%	11.0%	19.2%	13.7%	20.5%	5.5%	38.4%	43.8%	22.6%	4.1%	15.1%	19.2%	7.5%	3.4%	2.7%	1.4%	—	—
	契約・派遣社員など(91人)	56.0%	26.4%	11.0%	14.3%	18.7%	22.0%	7.7%	36.3%	39.6%	12.1%	4.4%	15.4%	19.8%	14.3%	3.3%	3.3%	3.3%	—	—
	自営業等(25人)	60.0%	36.0%	16.0%	4.0%	8.0%	44.0%	8.0%	16.0%	24.0%	8.0%	4.0%	16.0%	16.0%	8.0%	—	—	4.0%	4.0%	—
	家事に従事(91人)	54.9%	24.2%	9.9%	8.8%	13.2%	18.7%	11.0%	25.3%	39.6%	7.7%	3.3%	11.0%	20.9%	14.3%	4.4%	4.4%	1.1%	1.1%	1.1%
	学生(8人)	75.0%	12.5%	—	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	—	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	—	—	—	—
	その他の職業(12人)	50.0%	41.7%	25.0%	41.7%	16.7%	41.7%	16.7%	33.3%	58.3%	25.0%	16.7%	41.7%	25.0%	25.0%	8.3%	16.7%	—	—	—
	仕事はしていない(84人)	45.2%	22.6%	11.9%	16.7%	19.0%	20.2%	9.5%	25.0%	44.0%	9.5%	—	26.2%	7.1%	8.3%	8.3%	4.8%	3.6%	3.6%	—
	無回答(5人)	40.0%	20.0%	—	—	20.0%	20.0%	—	20.0%	40.0%	40.0%	—	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	—	20.0%	—	—

性別

9つの回答内容で男性が女性を上回っています。

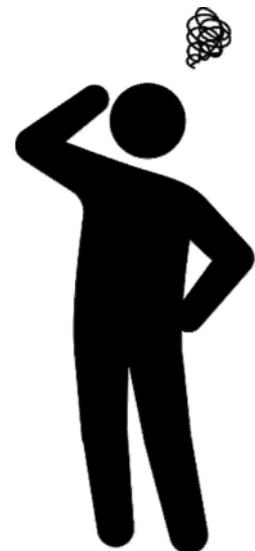
また、「セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)」では女性(24.1%)が男性(3.4%)を20ポイント上回っています。

年代別

8つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっており、特に「差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた)」では他の年代に比べて17ポイント以上高くなっています。

職業別

7つの回答内容で「仕事はしていない」が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「プライバシーの侵害」では他の職業に比べて10ポイント以上高くなっています。

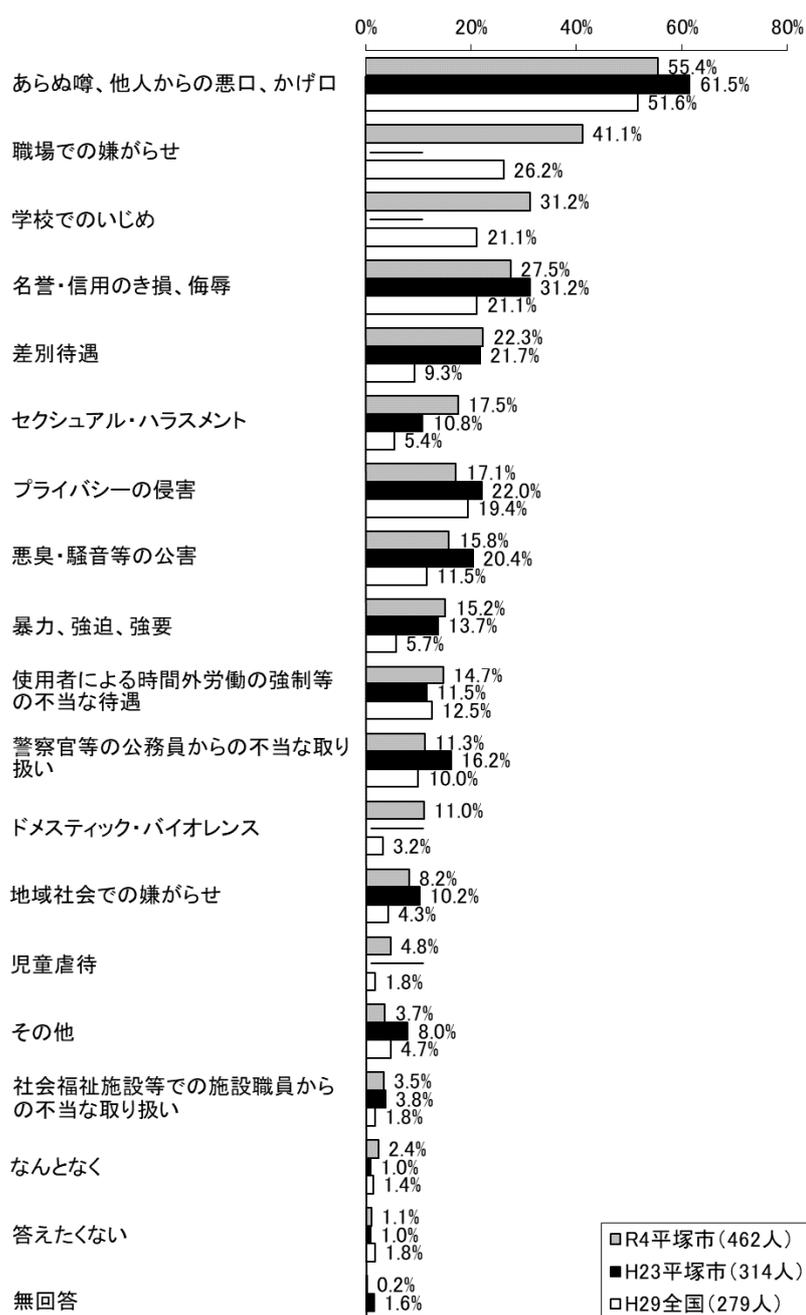


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

人権侵害の内容について、前回調査と比較すると、8つの回答内容で前回から下がっており、特に「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」では前回から6ポイント下がっています。

全国調査と比較すると、「プライバシーの侵害」「その他」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「職場での嫌がらせ」では平塚市が全国を14ポイント上回っています。

人権侵害の内容【比較】



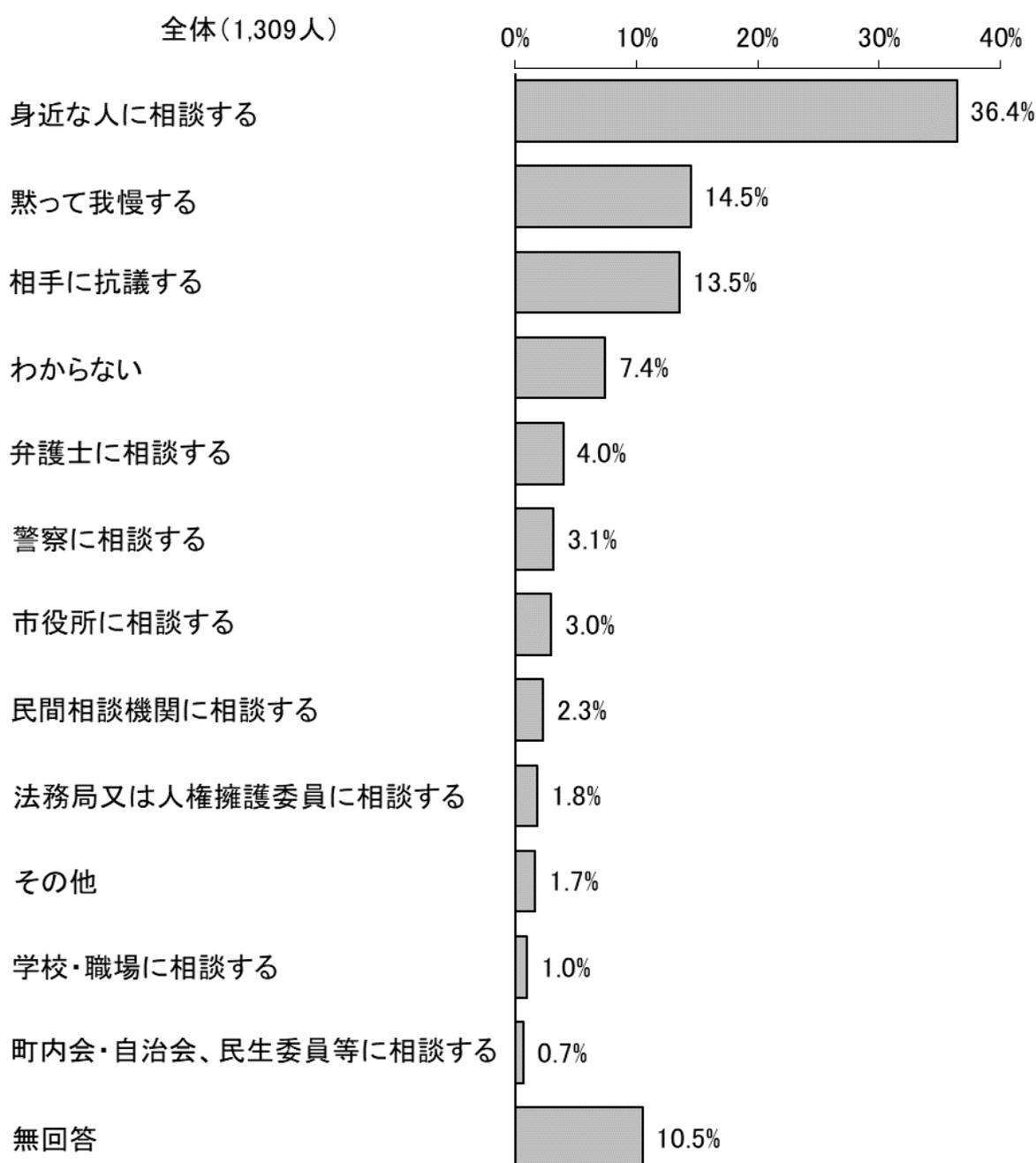
【問5】差別や人権が侵害された場合の対応

もし、あなたが差別をされたり人権を侵害されたりした場合、まずどのような対応をとりますか。(〇は1つ)

「身近な人に相談する」(36.4%)が最も高く、「黙って我慢する」(14.5%)、「相手に抗議する」(13.5%)が続きます。

「その他」としては、「無視する」「WEB検索して手段を考える」などの回答がありました。

差別や人権が侵害された場合の対応



差別や人権が侵害された場合の対応【属性別】

属性		回答内容												
		黙って我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	市役所に相談する	学校・職場に相談する	町内会・自治会、民生委員等に相談する	法務局又は人権擁護委員に相談する	民間相談機関に相談する	警察に相談する	その他	わからない	無回答
全体(1,309人)		14.5%	13.5%	36.4%	4.0%	3.0%	1.0%	0.7%	1.8%	2.3%	3.1%	1.7%	7.4%	10.5%
性別	男性(589人)	12.6%	20.4%	27.7%	5.1%	3.7%	1.2%	1.0%	3.1%	2.5%	3.9%	1.9%	8.3%	8.7%
	女性(695人)	16.1%	7.8%	44.2%	3.0%	2.0%	0.9%	0.4%	0.9%	2.2%	2.6%	1.6%	6.6%	11.8%
	その他(4人)	25.0%	50.0%	25.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無回答(21人)	14.3%	4.8%	28.6%	4.8%	14.3%	—	—	—	—	—	—	9.5%	23.8%
年代別	29歳以下(127人)	22.0%	12.6%	42.5%	3.1%	—	3.9%	—	—	2.4%	—	1.6%	6.3%	5.5%
	30歳代(123人)	15.4%	13.8%	52.0%	2.4%	0.8%	—	—	—	3.3%	0.8%	0.8%	2.4%	8.1%
	40歳代(217人)	17.5%	14.3%	41.9%	2.8%	1.4%	1.4%	0.5%	0.9%	—	2.8%	1.4%	6.9%	8.3%
	50歳代(213人)	13.6%	14.6%	38.0%	3.3%	1.4%	1.9%	—	2.8%	0.9%	3.3%	2.8%	8.5%	8.9%
	60歳代(247人)	12.1%	14.2%	34.0%	4.0%	2.4%	0.4%	1.2%	2.0%	2.8%	4.5%	0.8%	8.5%	13.0%
	70歳以上(364人)	12.1%	12.6%	26.9%	5.8%	6.6%	—	1.4%	3.0%	3.8%	4.4%	2.2%	8.2%	12.9%
	無回答(18人)	11.1%	5.6%	27.8%	5.6%	11.1%	—	—	—	—	—	—	11.1%	27.8%
職業別	会社員・公務員など(405人)	17.0%	18.5%	37.0%	3.7%	1.5%	1.5%	0.2%	1.7%	1.7%	2.0%	1.5%	6.4%	7.2%
	契約・派遣社員など(224人)	15.2%	8.9%	41.5%	3.1%	2.7%	2.2%	0.4%	0.9%	0.4%	3.1%	1.3%	7.1%	12.9%
	自営業等(78人)	7.7%	17.9%	30.8%	10.3%	5.1%	—	—	—	3.8%	5.1%	2.6%	6.4%	10.3%
	家事に従事(222人)	16.2%	6.8%	44.1%	1.4%	3.2%	—	1.8%	2.3%	3.2%	4.5%	1.8%	5.4%	9.5%
	学生(42人)	26.2%	9.5%	45.2%	4.8%	—	2.4%	—	—	—	—	—	4.8%	7.1%
	その他の職業(23人)	4.3%	17.4%	30.4%	4.3%	4.3%	—	—	—	8.7%	4.3%	4.3%	8.7%	13.0%
	仕事はしていない(294人)	10.5%	15.0%	26.5%	5.1%	4.4%	0.3%	1.0%	3.4%	3.4%	3.7%	2.0%	10.9%	13.6%
	無回答(21人)	9.5%	4.8%	38.1%	4.8%	9.5%	—	—	—	—	—	—	9.5%	23.8%
問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別	ある(462人)	22.3%	11.7%	31.4%	1.9%	1.1%	1.3%	0.4%	0.4%	1.3%	2.2%	2.2%	4.8%	19.0%
	ない(801人)	10.9%	15.1%	40.4%	4.9%	4.1%	0.9%	0.9%	2.7%	3.0%	3.9%	1.5%	8.5%	3.2%
	無回答(46人)	—	4.3%	17.4%	8.7%	2.2%	—	—	—	—	—	—	15.2%	52.2%

性別

「黙って我慢する」「身近な人に相談する」を除く全ての回答内容で男性が女性を上回っています。

また、「身近な人に相談する」では女性（44.2%）が男性（27.7%）を16ポイント上回っています。

年代別

5つの回答内容で70歳以上が他の年代に比べて最も高くなっています。

また、「身近な人に相談する」では全ての年代で最も高くなっており、「黙って我慢する」では29歳以下が、「相手に抗議する」では50歳代が高くなっています。

職業別

5つの回答内容で《自営業・個人事業主》が他の職業に比べて最も高くなっています。

また、「黙って我慢する」では《学生》（26.2%）が他の職業に比べて9ポイント以上高くなっています。

問4「人権侵害を受けた経験」の回答内容別

8つの回答内容で人権侵害を受けた経験が《ない》が《ある》を上回っています。

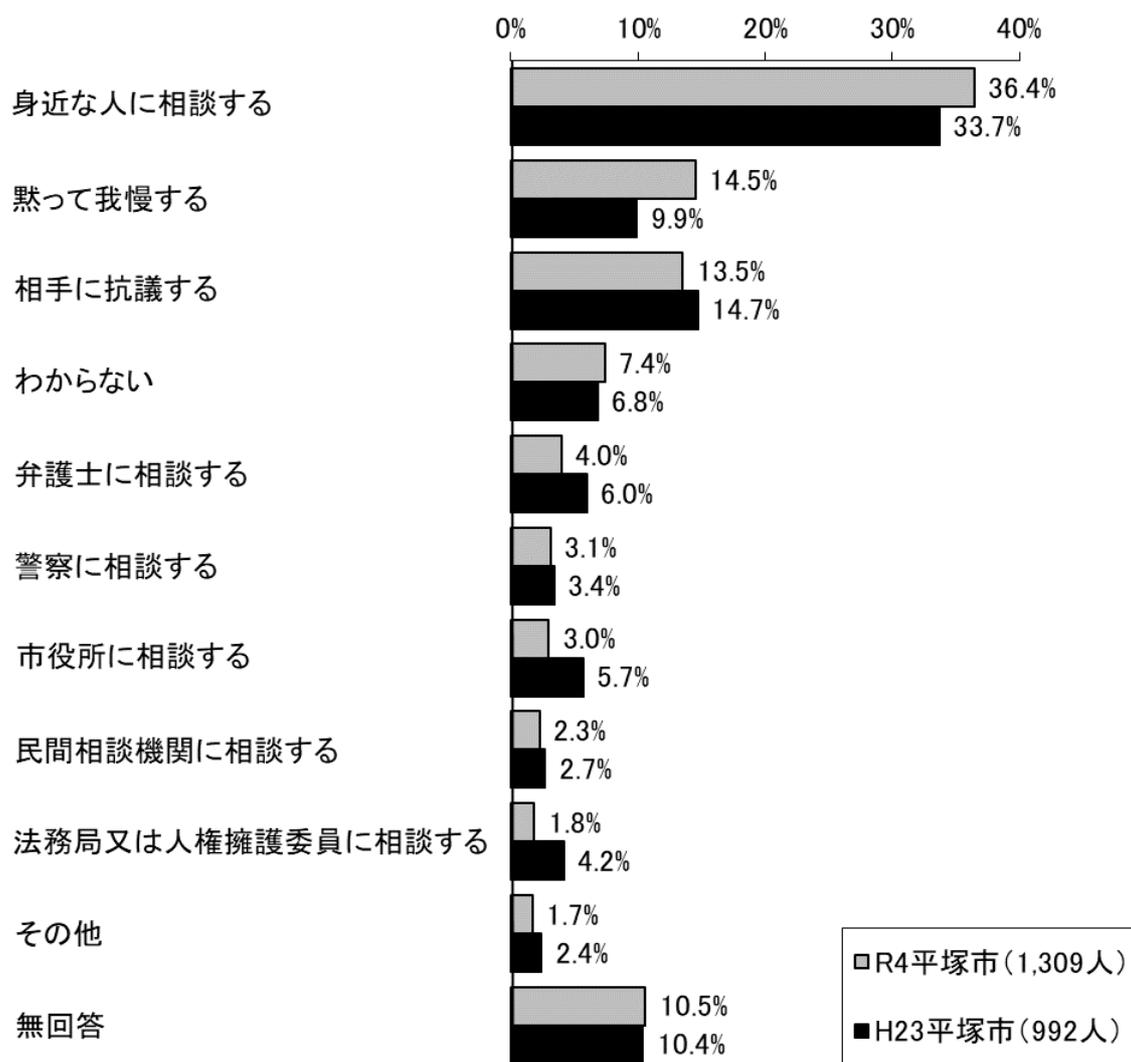
また、「黙って我慢する」では人権侵害を受けた経験が《ある》（22.3%）が《ない》（10.9%）を11ポイント上回っています。



❖ 前回調査との比較 ❖

差別や人権が侵害された場合の対応について、「身近な人に相談する」「黙って我慢する」を除く全ての回答内容で前回から下がっています。

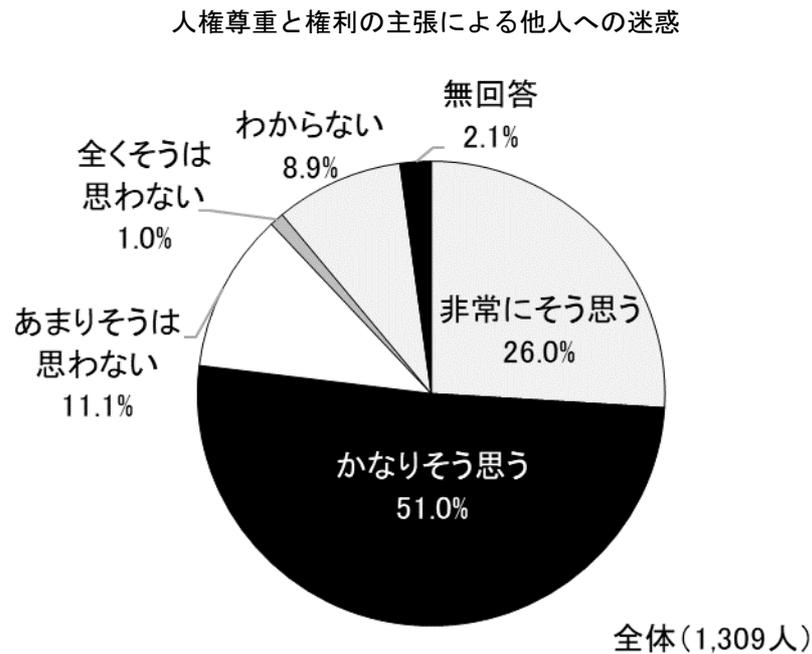
差別や人権が侵害された場合の対応【比較】



【問6】 人権尊重と権利の主張による他人への迷惑

「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

「非常にそう思う」という人が26.0%、「かなりそう思う」という人が51.0%、「あまりそうは思わない」という人が11.1%、「全くそうは思わない」という人が1.0%となっています。



人権尊重と権利の主張による他人への迷惑【属性別】

属性		回答内容							
		非常に そう思う	かなり そう思う	【 そう思う 】	あまり そう は 思 わ な い	全 く そ う は 思 わ な い	【 そ う 思 わ な い 】	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,309人)		26.0%	51.0%	【76.9%】	11.1%	1.0%	【12.1%】	8.9%	2.1%
性別	男性(589人)	26.5%	52.8%	【79.3%】	11.7%	1.4%	【13.1%】	5.6%	2.0%
	女性(695人)	25.6%	49.6%	【75.3%】	10.6%	0.7%	【11.4%】	11.4%	2.0%
	その他(4人)	25.0%	50.0%	【75.0%】	25.0%	—	【25.0%】	—	—
	無回答(21人)	23.8%	42.9%	【66.7%】	4.8%	—	【4.8%】	19.0%	9.5%
年代別	29歳以下(127人)	22.8%	47.2%	【70.1%】	12.6%	—	【12.6%】	15.7%	1.6%
	30歳代(123人)	33.3%	39.8%	【73.2%】	16.3%	1.6%	【17.9%】	8.1%	0.8%
	40歳代(217人)	30.0%	49.3%	【79.3%】	9.7%	1.4%	【11.1%】	9.7%	—
	50歳代(213人)	26.3%	58.7%	【85.0%】	8.5%	0.9%	【9.4%】	5.6%	—
	60歳代(247人)	27.1%	51.8%	【78.9%】	10.9%	—	【10.9%】	8.1%	2.0%
	70歳以上(364人)	21.4%	51.6%	【73.1%】	11.8%	1.6%	【13.5%】	8.5%	4.9%
	無回答(18人)	22.2%	55.6%	【77.8%】	—	—	【0.0%】	11.1%	11.1%
職業別	会社員・公務員など(405人)	26.4%	51.6%	【78.0%】	14.3%	1.0%	【15.3%】	6.7%	—
	契約・派遣社員など(224人)	25.0%	56.3%	【81.3%】	7.1%	0.4%	【7.6%】	9.8%	1.3%
	自営業等(78人)	23.1%	57.7%	【80.8%】	9.0%	2.6%	【11.5%】	6.4%	1.3%
	家事に従事(222人)	26.6%	48.6%	【75.2%】	9.5%	0.9%	【10.4%】	12.6%	1.8%
	学生(42人)	28.6%	47.6%	【76.2%】	9.5%	—	【9.5%】	14.3%	—
	その他の職業(23人)	30.4%	34.8%	【65.2%】	13.0%	4.3%	【17.4%】	13.0%	4.3%
	仕事はしていない(294人)	25.9%	47.6%	【73.5%】	11.9%	1.0%	【12.9%】	8.2%	5.4%
	無回答(21人)	23.8%	52.4%	【76.2%】	4.8%	—	【4.8%】	4.8%	14.3%

性別

【**そう思う**】(「非常に**そう思う**」と「かなり**そう思う**」を合わせたもの)では男性(79.3%)が女性(75.3%)を4ポイント上回っています。

年代別

「かなり**そう思う**」では50歳代(58.7%)が他の年代に比べて6ポイント以上高くなっています。

職業別

【**そう思う**】では《**契約・派遣社員・パート・アルバイト**》(81.3%)が他の職業に比べて最も高くなっています。

❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

『人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた』という意見について、前回調査と比較すると、【そう思う】では前回から5ポイント下がっています。

全国調査と比較すると、【そう思う】では平塚市が全国を4ポイント上回っています。

人権尊重と権利の主張による他人への迷惑【比較】



2. 主な人権課題に関する意識について

(1) 人権課題に関する意識について

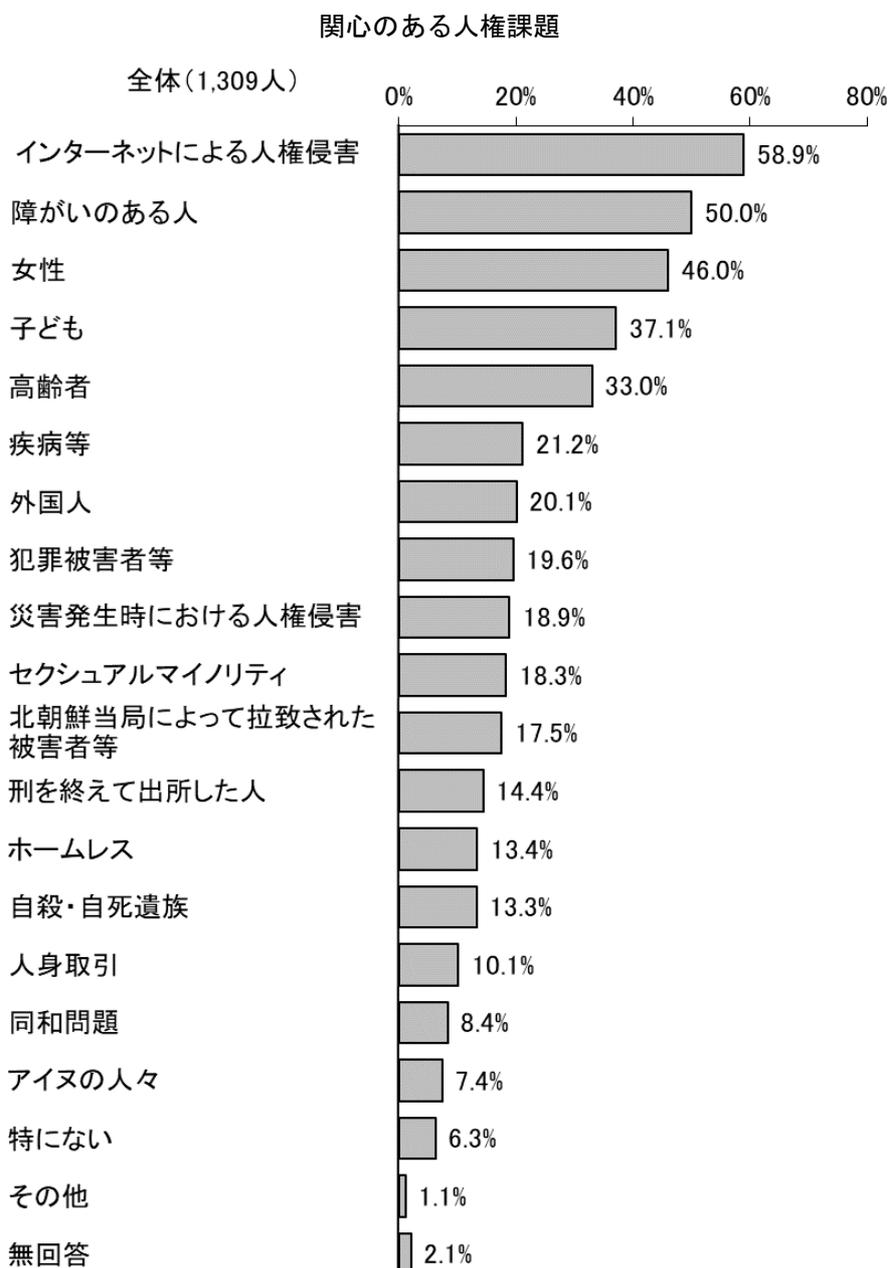
【問7】 関心のある人権課題

日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「インターネットによる人権侵害」(58.9%)が最も高く、「障がいのある人」(50.0%)、「女性」(46.0%)が続きます。

「インターネットによる人権侵害」「障がいのある人」に関心があるという回答が5割以上と高くなっているのに対し、「同和問題」(8.4%)、「アイヌの人々」(7.4%)は1割未満となっています。

「その他」としては、「男性」「不当な待遇の労働者」などの回答がありました。



関心のある人権課題【属性別】

属性		回答内容																			
		女性	子ども	高齢者	障がいのある人	同和問題	アイヌの人々	外国人	疾病等	刑を終えて出所した人	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	ホームレス	セクシュアルマイノリティ	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	人身取引	自殺・自死遺族	災害発生時における人権侵害	その他	特になし	無回答
全体(1,309人)		46.0%	37.1%	33.0%	50.0%	8.4%	7.4%	20.1%	21.2%	14.4%	19.6%	58.9%	13.4%	18.3%	17.5%	10.1%	13.3%	18.9%	1.1%	6.3%	2.1%
性別	男性(589人)	37.7%	33.8%	28.0%	48.2%	9.8%	8.3%	22.4%	17.7%	16.5%	19.4%	60.1%	14.3%	15.3%	18.2%	11.2%	11.9%	18.3%	1.4%	5.6%	2.2%
	女性(695人)	54.0%	40.0%	37.4%	51.9%	7.1%	6.5%	18.4%	24.0%	12.5%	19.9%	58.0%	12.4%	21.0%	17.1%	9.1%	14.2%	19.6%	1.0%	6.5%	1.7%
	その他(4人)	75.0%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	25.0%	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	100.0%	50.0%	75.0%	—	25.0%	50.0%	25.0%	—	—	—
	無回答(21人)	9.5%	28.6%	28.6%	33.3%	9.5%	9.5%	4.8%	14.3%	14.3%	14.3%	47.6%	14.3%	4.8%	14.3%	9.5%	14.3%	9.5%	—	19.0%	9.5%
年代別	29歳以下(127人)	54.3%	29.9%	19.7%	48.8%	3.9%	7.1%	32.3%	14.2%	14.2%	21.3%	50.4%	11.8%	29.9%	6.3%	6.3%	14.2%	12.6%	1.6%	9.4%	1.6%
	30歳代(123人)	62.6%	48.8%	18.7%	43.1%	6.5%	6.5%	22.0%	21.1%	6.5%	16.3%	59.3%	6.5%	35.0%	5.7%	8.9%	15.4%	15.4%	3.3%	7.3%	—
	40歳代(217人)	51.2%	47.0%	30.0%	48.4%	6.5%	3.7%	18.9%	20.3%	12.9%	19.8%	63.1%	11.1%	20.7%	11.5%	7.4%	12.4%	21.2%	0.9%	6.9%	—
	50歳代(213人)	50.7%	34.7%	36.2%	47.9%	5.6%	6.6%	16.9%	20.2%	9.9%	16.9%	72.8%	9.4%	18.3%	14.1%	8.9%	11.3%	21.1%	0.9%	5.6%	1.9%
	60歳代(247人)	45.3%	34.0%	39.7%	57.5%	15.0%	10.5%	25.5%	25.5%	17.8%	24.7%	59.5%	17.4%	16.2%	21.1%	15.4%	16.2%	19.4%	0.8%	3.6%	1.6%
	70歳以上(364人)	33.5%	33.2%	37.9%	50.5%	8.8%	8.2%	14.8%	22.0%	18.4%	17.9%	51.1%	17.3%	9.3%	28.6%	10.7%	12.4%	19.2%	0.8%	5.8%	4.4%
	無回答(18人)	16.7%	33.3%	33.3%	38.9%	11.1%	11.1%	5.6%	16.7%	16.7%	22.2%	50.0%	11.1%	5.6%	16.7%	5.6%	5.6%	16.7%	—	22.2%	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	47.7%	38.3%	27.2%	44.4%	6.7%	5.4%	23.5%	18.3%	11.6%	17.8%	64.2%	10.6%	21.2%	11.9%	6.9%	12.6%	16.5%	1.5%	6.4%	—
	契約・派遣社員など(224人)	54.5%	35.7%	36.6%	56.7%	8.9%	4.5%	17.0%	23.2%	15.6%	19.2%	63.4%	12.1%	18.3%	15.2%	11.2%	12.1%	16.1%	0.9%	4.9%	1.3%
	自営業等(78人)	39.7%	35.9%	34.6%	56.4%	5.1%	10.3%	19.2%	23.1%	14.1%	23.1%	57.7%	19.2%	12.8%	17.9%	21.8%	17.9%	19.2%	2.6%	5.1%	2.6%
	家事に従事(222人)	48.2%	45.9%	37.8%	50.0%	8.1%	6.8%	17.1%	21.6%	8.6%	17.6%	56.8%	12.6%	16.2%	23.4%	8.1%	12.6%	24.3%	—	6.3%	0.9%
	学生(42人)	73.8%	23.8%	23.8%	54.8%	9.5%	16.7%	42.9%	11.9%	21.4%	26.2%	59.5%	19.0%	38.1%	11.9%	9.5%	19.0%	21.4%	2.4%	2.4%	2.4%
	その他の職業(23人)	43.5%	30.4%	43.5%	65.2%	17.4%	13.0%	26.1%	34.8%	26.1%	26.1%	60.9%	21.7%	30.4%	26.1%	13.0%	26.1%	30.4%	8.7%	8.7%	—
	仕事はしていない(294人)	35.4%	33.0%	34.7%	50.3%	10.2%	10.2%	17.0%	23.8%	20.1%	21.8%	51.0%	15.6%	14.6%	22.4%	12.2%	13.3%	19.0%	0.7%	7.1%	5.8%
	無回答(21人)	19.0%	28.6%	33.3%	33.3%	14.3%	9.5%	14.3%	9.5%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	4.8%	19.0%	4.8%	4.8%	14.3%	—	14.3%	9.5%

性別

「女性」では女性（54.0%）が男性（37.7%）を16ポイント上回っています。

年代別

9つの回答内容で60歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

また、30歳代以下は「女性」、40歳代以上は「インターネットによる人権侵害」が、それぞれ最も高くなっています。

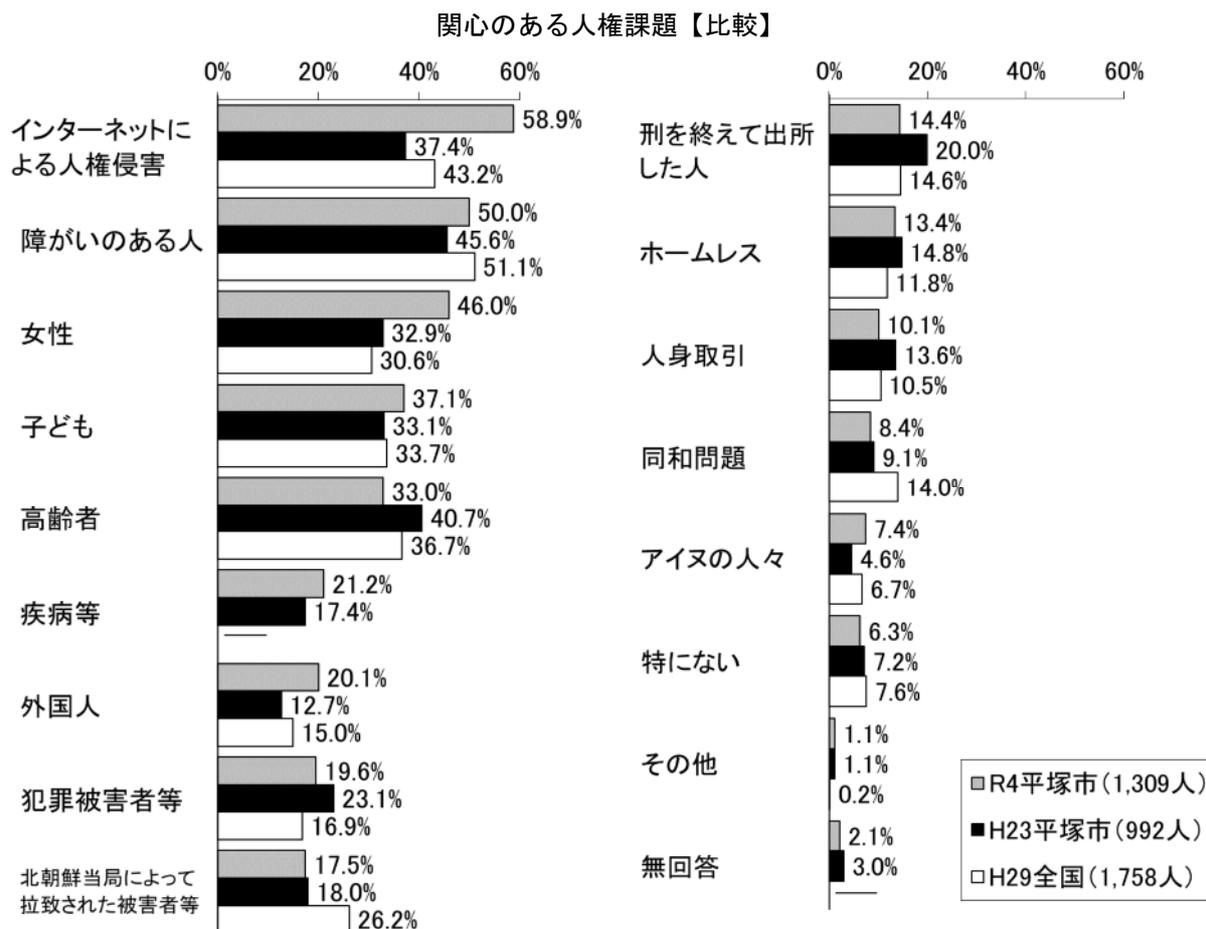
職業別

7つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「女性」「外国人」では他の職業に比べてそれぞれ19ポイント以上高くなっています。

❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

関心のある人権課題について、前回調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」では前回から 21 ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」「女性」では、平塚市が全国を 15 ポイント上回っています。



※平塚市の「障害のある人」は、全国調査では「障害者」と表記されていた。

※平塚市の「同和問題」は、全国調査では、「部落差別等の同和問題」と表記されていた。

※「疾病等」は平塚市独自の項目（全国調査では「エイズ患者・HIV感染者やその家族」「ハンセン病患者・回復者やその家族」）となっている。また、前回調査の「HIV感染者・ハンセン病患者等」から表記を変更した。

※「セクシュアルマイノリティ」「自殺・自死遺族」「災害発生時における人権侵害」については、比較対象が前回調査・全国調査に存在しない、比較が困難等の理由から、比較していない。

(2) 女性の人権について

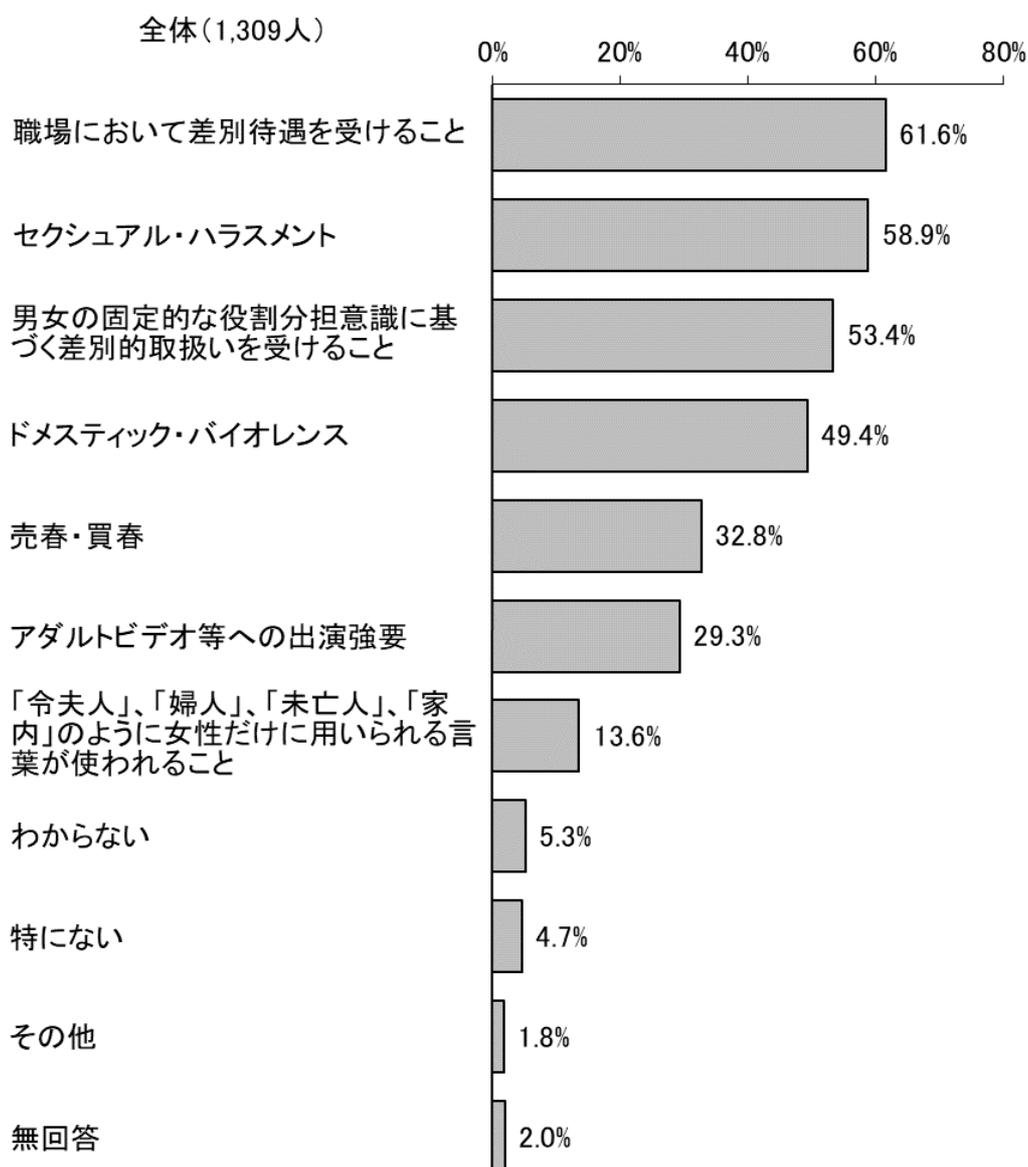
【問8】女性に関する人権上の問題点

女性に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「職場において差別待遇（女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメント等の妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等）を受けること」(61.6%)が最も高く、「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」(58.9%)、「男女の固定的な役割分担意識（「家事は女性」等）に基づく差別的取扱いを受けること」(53.4%)が続きます。

「その他」としては、「女性とスカートの連想意識」「性犯罪（痴漢）」などの回答がありました。

女性に関する人権上の問題点



女性に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること	職場において差別待遇を受けること	セクシュアル・ハラ	ドメスティック・バ	イオレンス	売春・買春	性被害に用いられる言葉が使われること	「令夫人」、「婦人」、「家内」のように「未亡人」に用いられる言葉が使われること	アダルトビデオ等への出演強要	その他	特にない	わからない	無回答
全体 (1,309人)			53.4%	61.6%	58.9%	49.4%	32.8%	13.6%	29.3%	1.8%	4.7%	5.3%	2.0%		
性別	男性 (589人)		46.3%	58.2%	60.4%	45.0%	31.2%	11.0%	28.9%	1.4%	4.8%	5.1%	2.7%		
	女性 (695人)		59.6%	64.6%	58.1%	53.4%	34.0%	16.0%	29.6%	2.3%	4.6%	5.0%	1.2%		
	その他 (4人)		100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	50.0%	25.0%	50.0%	—	—	—	—		
	無回答 (21人)		38.1%	47.6%	38.1%	33.3%	33.3%	4.8%	28.6%	—	4.8%	19.0%	9.5%		
年代別	29歳以下 (127人)		59.8%	69.3%	70.1%	49.6%	26.0%	18.1%	29.9%	2.4%	2.4%	7.1%	0.8%		
	30歳代 (123人)		71.5%	80.5%	69.1%	49.6%	30.9%	23.6%	36.6%	2.4%	0.8%	2.4%	—		
	40歳代 (217人)		57.6%	63.1%	61.3%	53.0%	34.1%	12.9%	33.2%	2.8%	4.6%	4.6%	—		
	50歳代 (213人)		52.1%	65.3%	67.1%	56.3%	30.5%	14.1%	32.4%	—	3.8%	2.8%	1.4%		
	60歳代 (247人)		54.3%	58.3%	57.1%	52.2%	36.8%	11.3%	24.7%	2.0%	3.2%	4.5%	2.0%		
	70歳以上 (364人)		43.4%	52.2%	47.5%	41.2%	33.2%	10.7%	25.8%	1.9%	8.0%	7.4%	4.4%		
	無回答 (18人)		38.9%	50.0%	38.9%	44.4%	38.9%	5.6%	27.8%	—	11.1%	16.7%	5.6%		
職業別	会社員・公務員など (405人)		57.0%	63.2%	63.5%	48.9%	30.6%	15.8%	28.6%	1.7%	3.5%	4.2%	0.2%		
	契約・派遣社員など (224人)		50.4%	63.4%	62.9%	57.6%	35.7%	13.4%	27.7%	2.7%	3.1%	4.9%	1.3%		
	自営業等 (78人)		61.5%	60.3%	60.3%	48.7%	29.5%	14.1%	35.9%	1.3%	6.4%	2.6%	2.6%		
	家事に従事 (222人)		59.0%	60.8%	53.2%	49.1%	32.9%	10.4%	31.1%	1.4%	6.3%	5.0%	1.4%		
	学生 (42人)		71.4%	83.3%	76.2%	54.8%	33.3%	21.4%	35.7%	2.4%	—	—	—		
	その他の職業 (23人)		69.6%	69.6%	65.2%	69.6%	34.8%	30.4%	52.2%	4.3%	—	8.7%	—		
	仕事はしていない (294人)		41.2%	56.5%	52.7%	42.9%	34.4%	10.9%	26.5%	1.4%	6.8%	7.5%	5.1%		
無回答 (21人)		42.9%	42.9%	28.6%	33.3%	28.6%	9.5%	19.0%	4.8%	4.8%	19.0%	9.5%			
問3(ア:女性)「差別や人権侵害の有無」の回答内容別	多く存在する (394人)		72.8%	78.7%	69.5%	60.2%	42.1%	23.1%	37.1%	3.6%	0.3%	2.0%	1.0%		
	ある程度存在する (818人)		48.0%	58.4%	57.9%	47.6%	29.2%	9.9%	27.4%	0.9%	4.6%	5.6%	1.1%		
	存在しない (65人)		20.0%	18.5%	29.2%	21.5%	27.7%	4.6%	16.9%	3.1%	27.7%	10.8%	7.7%		
	無回答 (32人)		18.8%	18.8%	12.5%	18.8%	18.8%	9.4%	9.4%	3.1%	12.5%	25.0%	25.0%		

性別

「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「男女の固定的な役割分担意識（「家事は女性」等）に基づく差別的取扱いを受けること」では女性（59.6%）が男性（46.3%）を13ポイント上回っています。

年代別

4つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっており、特に「男女の固定的な役割分担意識（「家事は女性」等）に基づく差別的取扱いを受けること」「職場において差別待遇（女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメント等の妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等）を受けること」では他の年代に比べてそれぞれ11ポイント以上高くなっています。

職業別

4つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて高くなっており、特に「職場において差別待遇（女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメント等の妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等）を受けること」では他の職業に比べて19ポイント以上高くなっています。

問3（ア：女性）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「職場において差別待遇（女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメント等の妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等）を受けること」では人権侵害が《多く存在する》（78.7%）が《存在しない》（18.5%）を60ポイント上回っています。

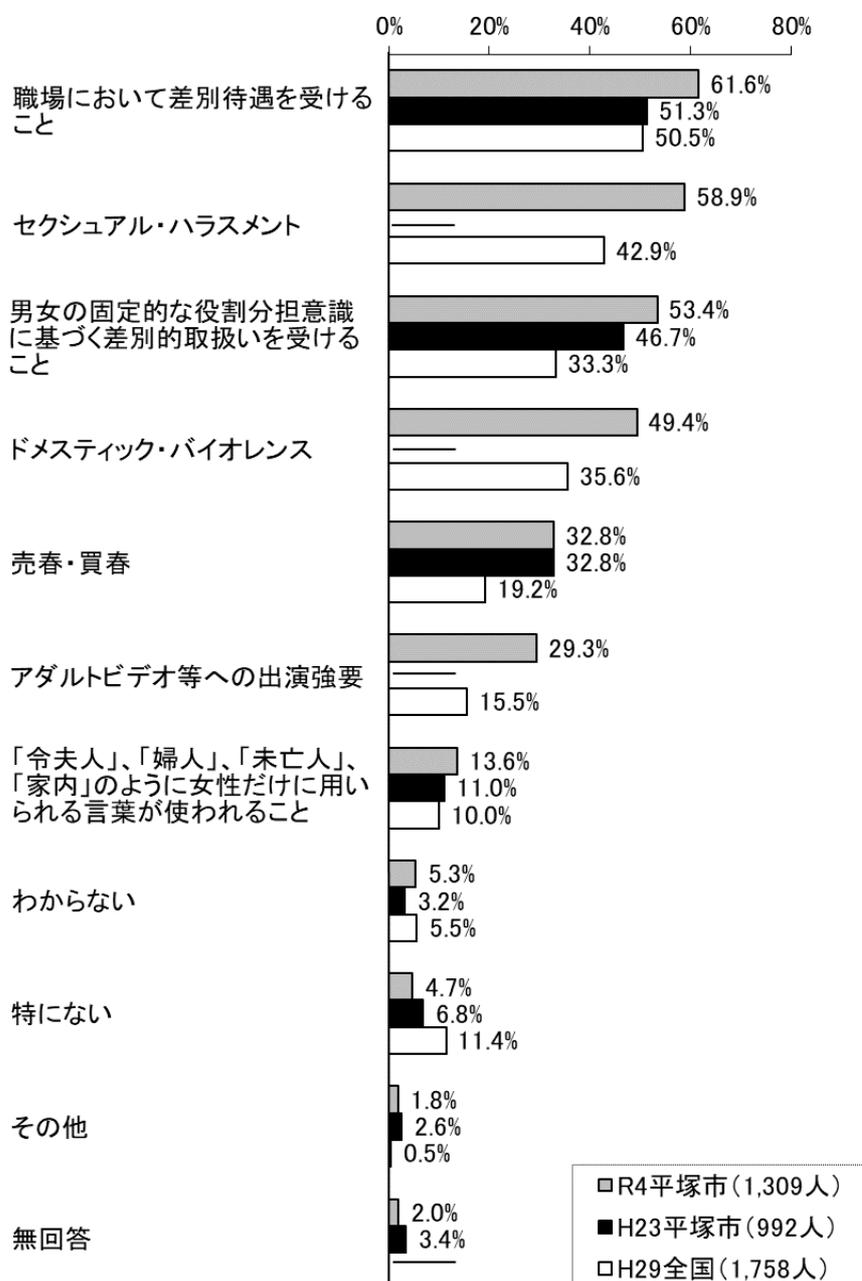


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

女性に関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、3つの回答内容で前回から上がっており、特に「職場において差別待遇（女性が管理職になりにくい、マタニティ・ハラスメント等の妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等）を受けること」では前回から10ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、8つの回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」では平塚市が全国を20ポイント上回っています。

女性に関する人権上の問題点【比較】



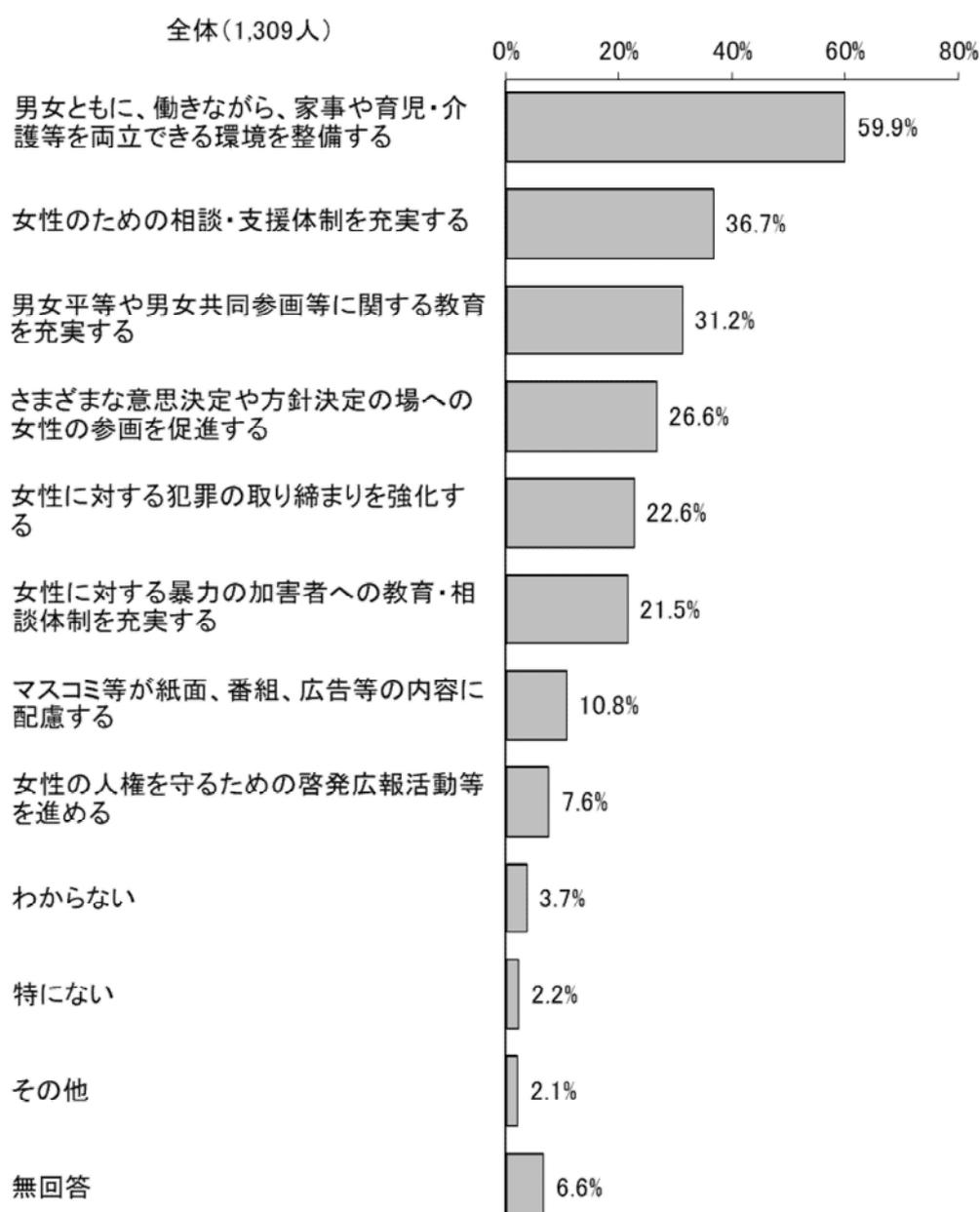
【問9】 女性の人権を守るために必要なこと

女性の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護等を両立できる環境を整備する」(59.9%)が特に高く、「女性のための相談・支援体制を充実する」(36.7%)、「男女平等や男女共同参画等に関する教育を充実する」(31.2%)が続きます。

「その他」としては、「意識改革につながるメディアからの発信」「ひとりひとりの意識改善」などの回答がありました。

女性の人権を守るために必要なこと



女性の人権を守るために必要なこと【属性別】

属性		回答内容													
		女性のための相談・支援体制を充実する	男女ともに、働きながら、家事や育児・介護等を両立できる環境を整備する	画針決定の場への女性の参加を促進する	さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参加を促進する	啓発の広報活動等を進める	女性の人権を守るための啓発の広報活動等を進める	男女平等や男女共同参画に関する教育を充実する	組、広告等の内容に配慮する	マ、スコミ等が紙面、番組、広告等の内容に配慮する	縮まりを強化する	女性に対する犯罪の取り締まりを強化する	女性に対する暴力の加害者への教育・相談体制を充実する	その他	特にない
全体(1,309人)		36.7%	59.9%	26.6%	7.6%	31.2%	10.8%	22.6%	21.5%	2.1%	2.2%	3.7%	6.6%		
性別	男性(589人)	36.5%	54.8%	28.4%	9.0%	32.6%	10.0%	23.4%	20.9%	2.5%	2.9%	3.6%	5.6%		
	女性(695人)	37.1%	65.2%	25.2%	6.2%	30.6%	11.7%	22.2%	22.4%	1.7%	1.3%	3.9%	7.1%		
	その他(4人)	50.0%	75.0%	75.0%	—	50.0%	25.0%	25.0%	—	—	—	—	—		
	無回答(21人)	28.6%	23.8%	14.3%	14.3%	4.8%	—	14.3%	14.3%	4.8%	14.3%	—	23.8%		
年代別	29歳以下(127人)	35.4%	66.9%	25.2%	3.1%	28.3%	10.2%	16.5%	22.0%	0.8%	2.4%	7.1%	8.7%		
	30歳代(123人)	27.6%	76.4%	29.3%	2.4%	28.5%	13.0%	33.3%	26.0%	4.1%	1.6%	2.4%	1.6%		
	40歳代(217人)	31.8%	71.9%	26.3%	6.0%	29.5%	10.6%	24.4%	18.9%	4.1%	1.8%	3.2%	3.7%		
	50歳代(213人)	38.0%	58.7%	20.2%	7.0%	31.0%	9.9%	24.4%	23.0%	2.8%	1.4%	2.8%	7.0%		
	60歳代(247人)	40.5%	53.8%	30.0%	10.1%	35.2%	10.5%	19.0%	20.6%	0.8%	2.4%	4.0%	6.5%		
	70歳以上(364人)	40.1%	51.1%	28.3%	10.2%	32.4%	11.5%	22.3%	21.4%	1.1%	2.5%	3.6%	8.2%		
	無回答(18人)	33.3%	27.8%	16.7%	11.1%	11.1%	—	5.6%	16.7%	5.6%	11.1%	—	27.8%		
職業別	会社員・公務員など(405人)	31.1%	64.9%	28.1%	6.2%	28.4%	10.6%	24.2%	23.2%	3.5%	2.5%	3.5%	3.7%		
	契約・派遣社員など(224人)	38.8%	66.5%	22.8%	8.0%	30.4%	11.6%	23.2%	23.7%	1.3%	2.2%	3.6%	4.0%		
	自営業等(78人)	25.6%	44.9%	30.8%	5.1%	29.5%	11.5%	23.1%	21.8%	5.1%	—	3.8%	12.8%		
	家事に従事(222人)	45.5%	64.4%	26.1%	7.7%	33.8%	9.0%	23.4%	22.1%	0.9%	1.4%	2.3%	5.9%		
	学生(42人)	33.3%	69.0%	23.8%	7.1%	47.6%	16.7%	16.7%	14.3%	2.4%	—	2.4%	9.5%		
	その他の職業(23人)	47.8%	52.2%	17.4%	4.3%	39.1%	13.0%	30.4%	17.4%	—	—	—	21.7%		
	仕事はしていない(294人)	39.5%	49.7%	28.2%	9.9%	32.7%	10.9%	20.7%	18.7%	1.0%	3.1%	5.8%	8.8%		
無回答(21人)	28.6%	33.3%	19.0%	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	19.0%	4.8%	9.5%	—	23.8%			
問3(ア:女性)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(394人)	39.3%	64.2%	34.3%	9.9%	34.3%	13.5%	26.6%	18.5%	1.5%	0.8%	3.3%	5.6%		
	ある程度存在する(818人)	36.7%	60.5%	24.6%	6.7%	31.2%	10.6%	21.3%	23.1%	2.1%	2.6%	3.2%	6.4%		
	存在しない(65人)	24.6%	46.2%	13.8%	6.2%	18.5%	1.5%	20.0%	24.6%	7.7%	6.2%	3.1%	7.7%		
	無回答(32人)	31.3%	18.8%	9.4%	3.1%	18.8%	—	12.5%	12.5%	—	3.1%	21.9%	25.0%		

性別

6つの回答内容で男性が女性を上回っています。

また、「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」では女性（65.2%）が男性（54.8%）を10ポイント上回っています。

年代別

4つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっており、特に「女性に対する犯罪の取り締まりを強化する」では他の年代に比べて8ポイント以上高くなっています。

また、「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」では30歳代（76.4%）が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

3つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「男女平等や男女共同参画等に関する教育を充実する」では他の職業に比べて13ポイント以上高くなっています。

問3（ア：女性）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する」では人権侵害が《多く存在する》（34.3%）が《存在しない》（13.8%）を20ポイント上回っています。

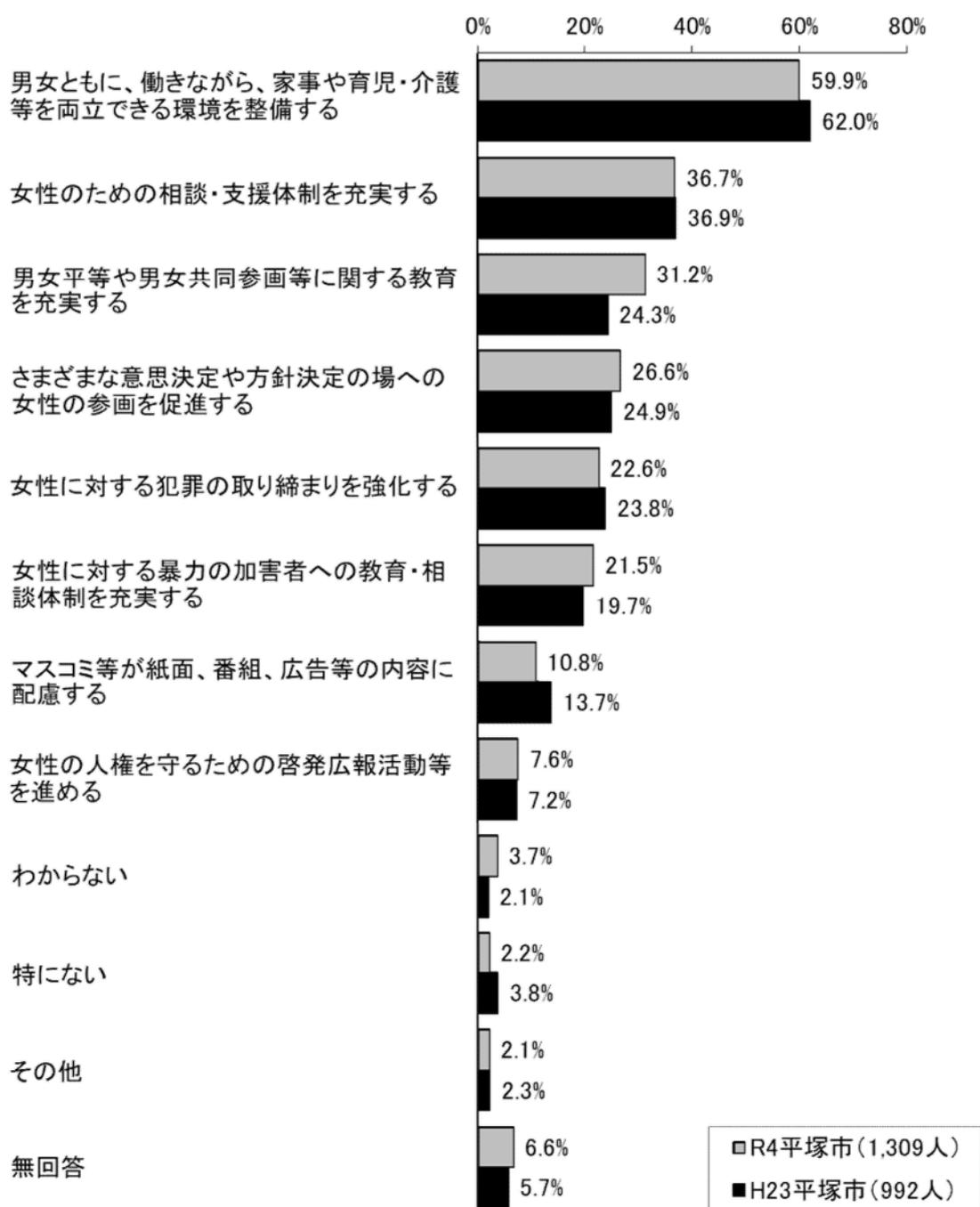
また、「男女ともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する」では人権侵害が《存在しない》（46.2%）でも4割を超えています。



❖ 前回調査との比較 ❖

女性の人権を守るために必要なことについて、6つの回答内容で前回から下がっています。また、「男女平等や男女共同参画等に関する教育を充実する」では、前回から6ポイント上がっています。

女性の人権を守るために必要なこと【比較】



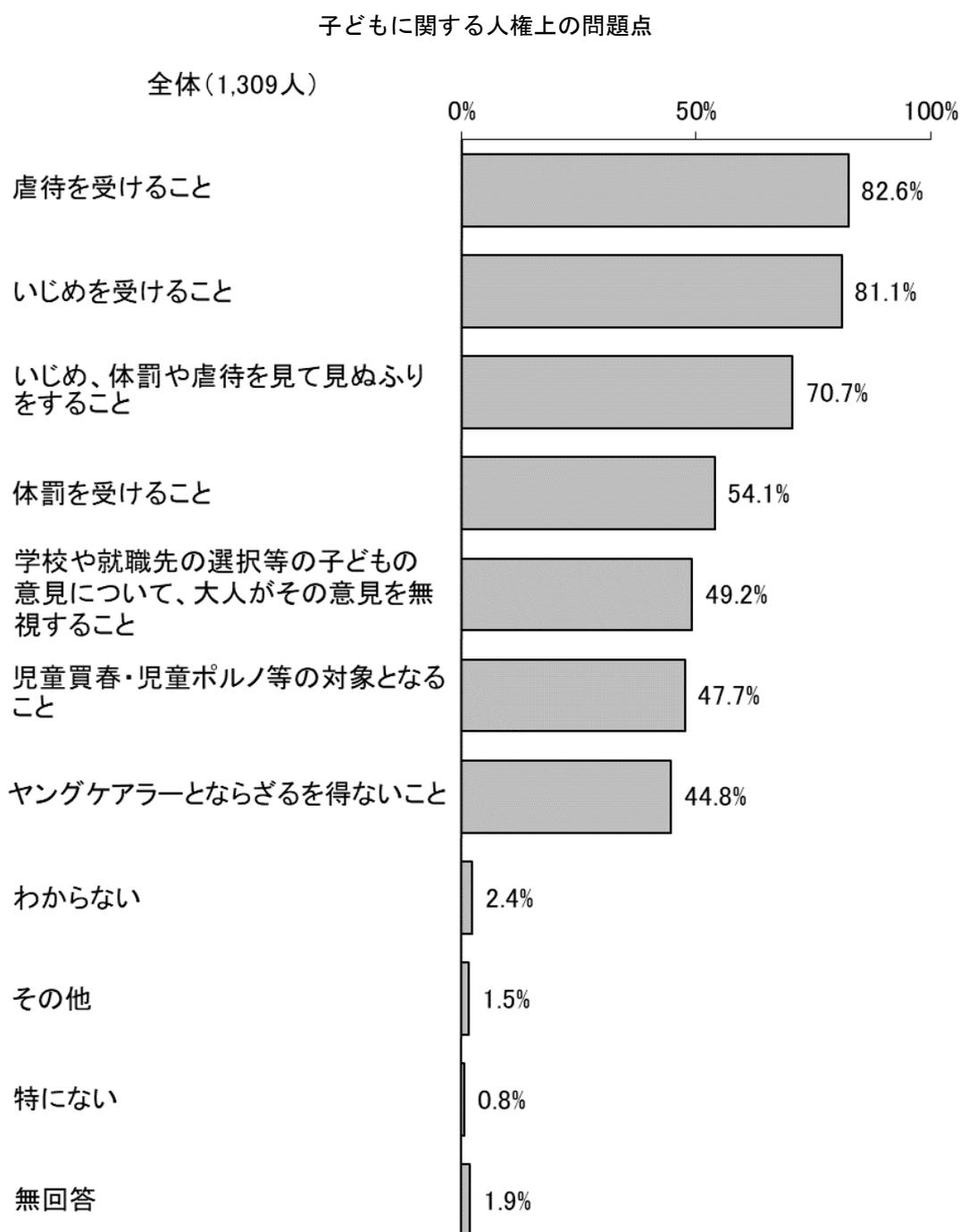
(3) 子どもの人権について

【問 10】子どもに関する人権上の問題点

子どもに関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「虐待を受けること」(82.6%)が最も高く、「いじめを受けること」(81.1%)、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」(70.7%)が続きます。

「その他」としては、「子どもがターゲットになる犯罪、子どもが被害者となる少年犯罪」「不必要な校則」などの回答がありました。



子どもに関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	子どもに関する人権上の問題点【属性別】										
			こと はじめを受ける	と 体罰を受けるこ	と 虐待を受けるこ	る こと を見 て見 ぬふ りを す	い じめ 、体 罰や 虐待	る こと 大人 がそ の意 見を 無視 す	学 校や 就職 先の 選択 等の 子ど もに 対し ての 意見 を無 視す	と ノ 等 の 対 象 と な る こ と	ら ヤ ン グ ケ ア ラ ー と な る こ と	そ の 他	特 に な い
全体(1,309人)			81.1%	54.1%	82.6%	70.7%	49.2%	47.7%	44.8%	1.5%	0.8%	2.4%	1.9%
性別	男性(589人)		82.2%	53.0%	81.0%	68.3%	46.0%	44.3%	36.0%	1.0%	1.4%	1.5%	2.0%
	女性(695人)		80.7%	55.3%	84.6%	73.5%	52.2%	50.8%	52.7%	1.9%	0.3%	3.0%	1.3%
	その他(4人)		100.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	100.0%	75.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)		61.9%	42.9%	61.9%	42.9%	33.3%	28.6%	23.8%	4.8%	—	4.8%	19.0%
年代別	29歳以下(127人)		83.5%	55.1%	81.1%	74.0%	64.6%	44.9%	39.4%	0.8%	1.6%	4.7%	1.6%
	30歳代(123人)		90.2%	64.2%	88.6%	74.8%	69.9%	59.3%	54.5%	2.4%	—	—	—
	40歳代(217人)		81.1%	57.6%	85.7%	69.1%	46.5%	53.9%	50.2%	1.8%	0.5%	1.8%	—
	50歳代(213人)		79.8%	58.2%	89.2%	70.0%	49.8%	48.8%	46.5%	0.9%	0.5%	2.3%	0.9%
	60歳代(247人)		83.8%	51.8%	81.8%	72.1%	41.7%	42.9%	42.1%	1.6%	0.8%	2.8%	1.2%
	70歳以上(364人)		76.9%	47.3%	76.4%	69.5%	43.7%	44.0%	41.5%	1.4%	1.1%	2.2%	4.1%
	無回答(18人)		66.7%	55.6%	72.2%	50.0%	38.9%	38.9%	33.3%	5.6%	—	5.6%	16.7%
職業別	会社員・公務員など(405人)		86.2%	55.3%	84.7%	70.1%	52.8%	48.1%	45.4%	1.5%	1.0%	2.0%	0.2%
	契約・派遣社員など(224人)		83.0%	56.7%	87.1%	74.6%	46.4%	48.7%	45.5%	1.3%	0.4%	1.8%	0.4%
	自営業等(78人)		70.5%	48.7%	80.8%	71.8%	46.2%	51.3%	39.7%	2.6%	—	2.6%	2.6%
	家事に従事(222人)		83.3%	56.3%	84.2%	70.7%	51.4%	51.4%	51.8%	0.9%	0.9%	2.3%	0.5%
	学生(42人)		78.6%	66.7%	85.7%	81.0%	69.0%	52.4%	35.7%	—	—	—	2.4%
	その他の職業(23人)		73.9%	73.9%	91.3%	78.3%	47.8%	56.5%	52.2%	4.3%	—	—	8.7%
	仕事はしていない(294人)		76.2%	47.3%	75.9%	68.0%	44.2%	42.2%	41.5%	1.4%	1.0%	3.4%	4.4%
	無回答(21人)		61.9%	47.6%	61.9%	42.9%	28.6%	33.3%	23.8%	9.5%	—	9.5%	19.0%
問3(イ:子ども)「差別や人権侵害の有無」の回答内容別	多く存在する(274人)		85.0%	65.3%	86.1%	78.1%	61.7%	57.7%	54.4%	3.6%	0.4%	1.5%	1.8%
	ある程度存在する(835人)		83.2%	54.7%	85.6%	71.4%	47.5%	47.3%	44.6%	0.8%	0.2%	1.7%	0.8%
	存在しない(155人)		72.3%	39.4%	69.7%	60.0%	40.6%	38.7%	36.8%	1.9%	3.2%	4.5%	1.9%
	無回答(45人)		48.9%	24.4%	48.9%	48.9%	33.3%	24.4%	17.8%	—	4.4%	13.3%	22.2%

性別

「いじめを受けること」「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「ヤングケアラーとならざるを得ないこと」では女性（52.7%）が男性（36.0%）を16ポイント上回っています。

年代別

「虐待を受けること」「特にない」を除く全ての回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっており、特に「いじめを受けること」「体罰を受けること」では他の年代に比べてそれぞれ6ポイント以上高くなっていきます。

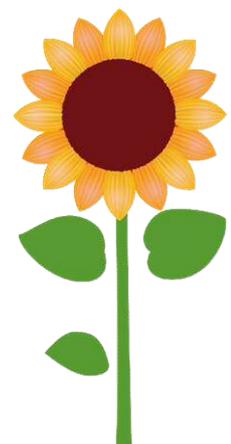
職業別

4つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「学校や就職先の選択等の子どもの意見について、大人がその意見を無視すること」では他の職業に比べて16ポイント以上高くなっていきます。

問3（イ：子ども）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「体罰を受けること」では人権侵害が《多く存在する》（65.3%）が《存在しない》（39.4%）を25ポイント上回っています。

また、「いじめを受けること」では人権侵害が《存在しない》（72.3%）でも7割を超えています。

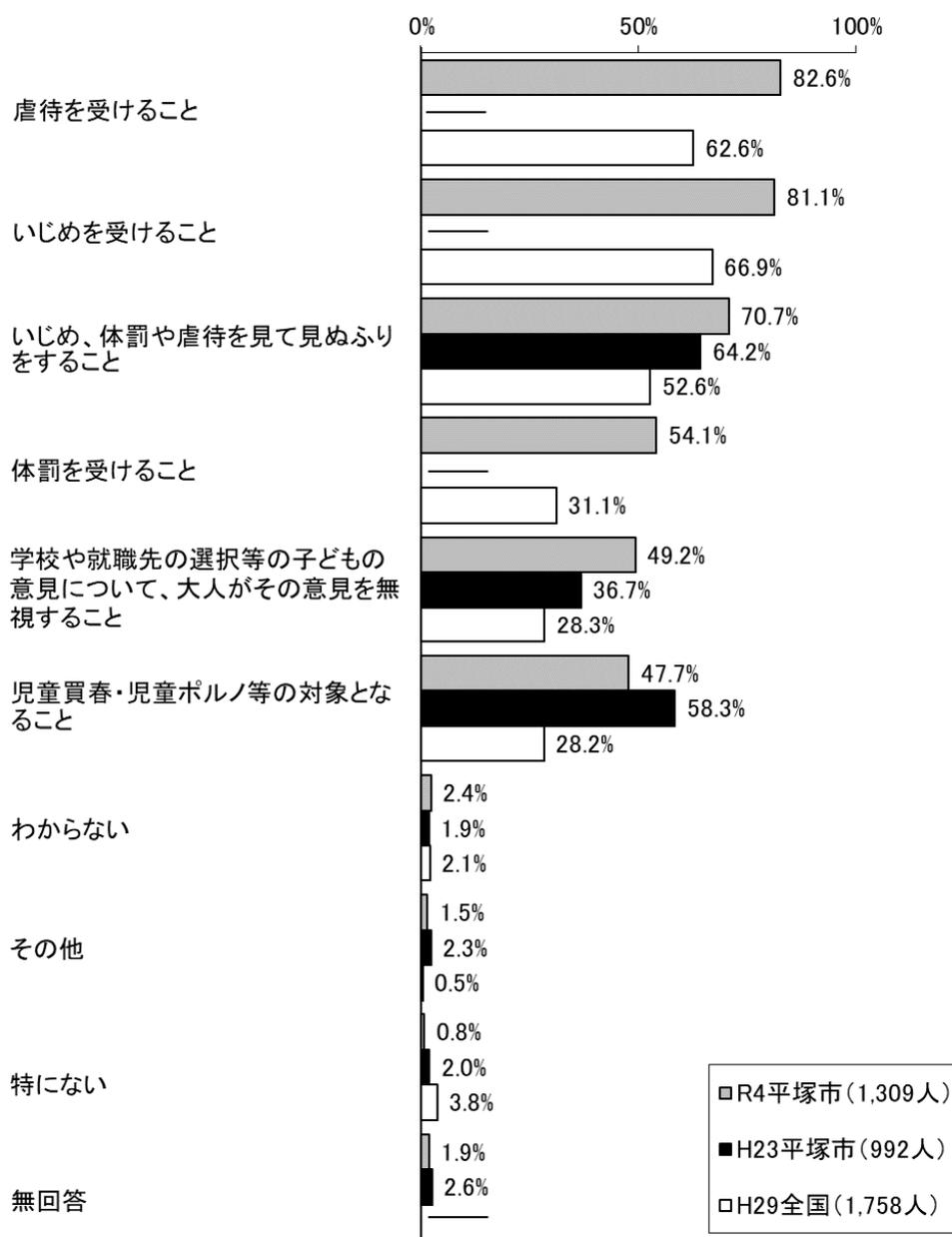


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

子どもに関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、3つの回答内容で前回から下がっており、特に「児童買春・児童ポルノ等の対象となること」では前回から10ポイント下がっています。

全国調査と比較すると、「特にない」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「体罰を受けること」では平塚市が全国を23ポイント上回っています。

子どもに関する人権上の問題点【比較】

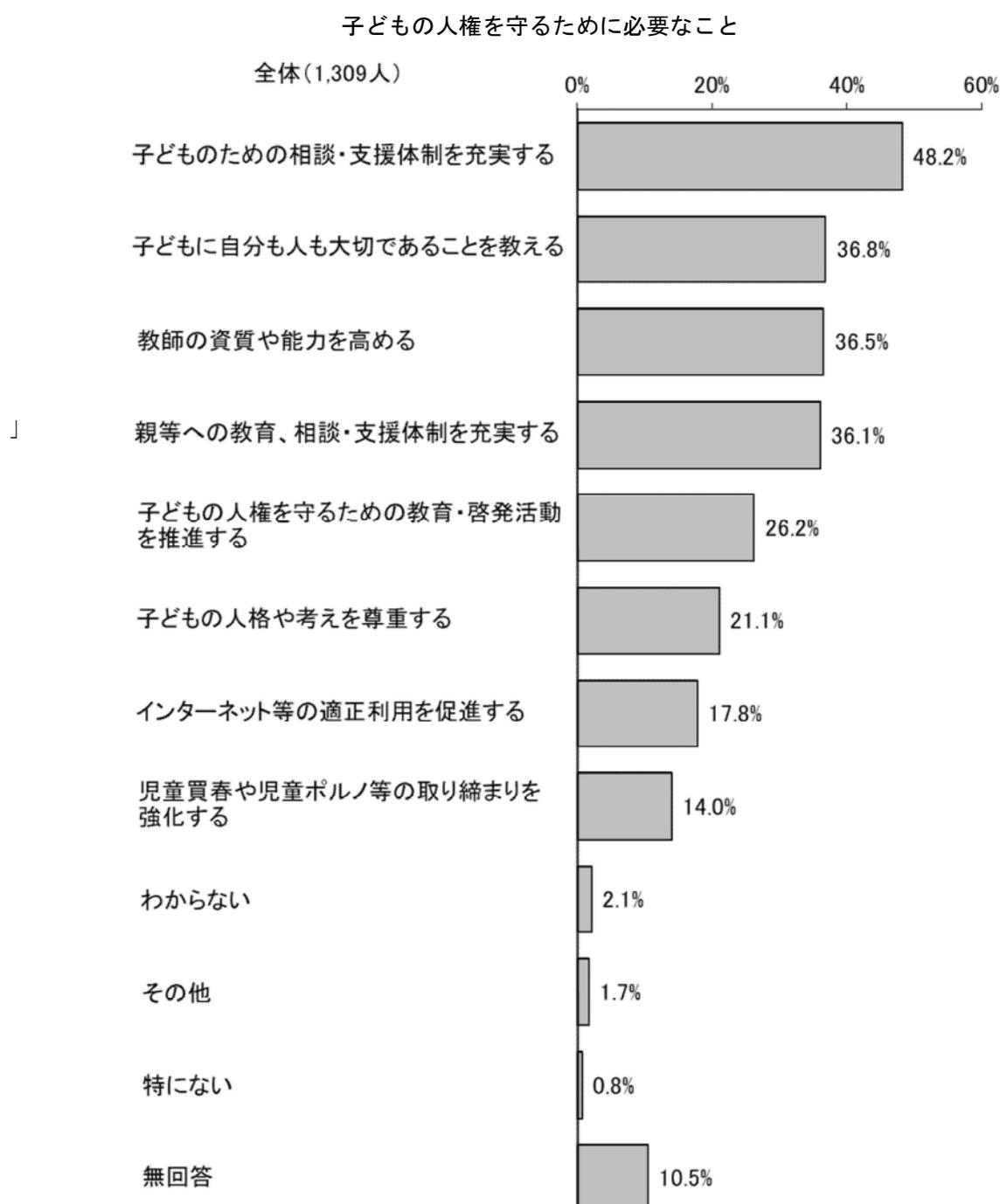


【問 11】子どもの人権を守るために必要なこと

子どもの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「子どものための相談・支援体制を充実する」(48.2%)が最も高く、「子どもに自分も人も大切であることを教える」(36.8%)、「教師の資質や能力を高める」(36.5%)が続きます。

「その他」としては、「児童相談所を強化し警察と協力すること」「いじめの被害者ではなく、加害者の家庭環境を含めた調査やカウンセリングを実施する」などの回答がありました。



子どもの人権を守るために必要なこと【属性別】

属性		回答内容	支援体制を充実する	子どもの教育・啓発活動を推進する	子どもの人権を守るため	教師の資質や能力を高める	親等への教育、相談・支援体制を充実する	子どもに自分も人も大切であることを教える	子どもにも自分も人も大切であることを教える	子どもの人格や考えを尊重する	児童買春や児童ポルノ等の取り締まりを強化する	児童買春や児童ポルノ等の取り締まりを強化する	インターネット等の適正利用を促進する	その他	特になし	わからない	無回答
			48.2%	26.2%	36.5%	36.1%	36.8%	21.1%	14.0%	17.8%	1.7%	0.8%	2.1%	10.5%			
全体(1,309人)			48.2%	26.2%	36.5%	36.1%	36.8%	21.1%	14.0%	17.8%	1.7%	0.8%	2.1%	10.5%			
性別	男性(589人)		49.4%	29.2%	39.6%	37.9%	30.7%	21.7%	14.1%	14.8%	1.9%	1.0%	1.7%	9.5%			
	女性(695人)		47.8%	23.7%	34.7%	34.5%	42.3%	20.6%	14.1%	20.6%	1.6%	0.6%	2.6%	10.5%			
	その他(4人)		50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	—	—	—	—			
	無回答(21人)		28.6%	19.0%	14.3%	33.3%	28.6%	14.3%	4.8%	9.5%	—	—	—	38.1%			
年代別	29歳以下(127人)		39.4%	17.3%	39.4%	36.2%	29.1%	30.7%	10.2%	22.0%	0.8%	1.6%	5.5%	11.0%			
	30歳代(123人)		44.7%	27.6%	30.1%	36.6%	41.5%	33.3%	15.4%	24.4%	4.9%	—	0.8%	8.1%			
	40歳代(217人)		47.9%	24.4%	35.9%	41.5%	42.4%	24.9%	12.9%	16.6%	1.4%	0.5%	2.3%	7.4%			
	50歳代(213人)		48.4%	19.7%	33.8%	39.4%	33.3%	18.3%	16.9%	22.1%	2.3%	0.9%	1.4%	10.3%			
	60歳代(247人)		54.7%	34.4%	34.8%	38.1%	32.8%	19.0%	13.8%	15.8%	0.8%	1.2%	2.8%	7.7%			
	70歳以上(364人)		48.4%	28.0%	42.0%	29.4%	39.6%	14.8%	14.3%	14.3%	1.4%	0.5%	1.4%	13.7%			
	無回答(18人)		44.4%	27.8%	11.1%	33.3%	33.3%	11.1%	5.6%	5.6%	—	—	—	33.3%			
職業別	会社員・公務員など(405人)		45.4%	26.2%	33.8%	38.8%	36.3%	25.9%	14.1%	18.8%	3.0%	1.0%	2.2%	8.6%			
	契約・派遣社員など(224人)		50.0%	24.1%	30.8%	38.8%	40.6%	18.3%	12.5%	19.6%	2.2%	0.4%	2.2%	11.2%			
	自営業等(78人)		50.0%	20.5%	50.0%	38.5%	37.2%	16.7%	17.9%	11.5%	—	—	2.6%	10.3%			
	家事に従事(222人)		52.7%	23.4%	40.1%	35.6%	46.4%	19.8%	14.4%	19.4%	0.9%	1.4%	—	8.1%			
	学生(42人)		33.3%	23.8%	50.0%	38.1%	23.8%	33.3%	7.1%	23.8%	—	—	2.4%	9.5%			
	その他の職業(23人)		43.5%	30.4%	30.4%	43.5%	39.1%	17.4%	13.0%	17.4%	—	—	—	17.4%			
	仕事はしていない(294人)		50.0%	32.0%	38.8%	29.9%	29.6%	18.0%	15.6%	15.3%	1.0%	0.7%	3.7%	11.6%			
	無回答(21人)		38.1%	19.0%	9.5%	23.8%	28.6%	9.5%	—	9.5%	—	—	—	42.9%			
問3(イ:子ども)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(274人)		47.8%	27.7%	35.8%	39.8%	38.3%	24.8%	15.7%	18.6%	2.6%	0.4%	1.5%	9.1%			
	ある程度存在する(835人)		50.2%	27.1%	36.5%	36.9%	36.0%	21.8%	13.9%	19.6%	1.4%	0.5%	1.7%	9.3%			
	存在しない(155人)		44.5%	22.6%	42.6%	28.4%	41.3%	14.8%	11.0%	11.0%	1.9%	1.9%	2.6%	12.9%			
	無回答(45人)		26.7%	13.3%	20.0%	24.4%	26.7%	6.7%	15.6%	2.2%	—	4.4%	13.3%	31.1%			

性別

7つの回答内容で男性が女性を回っています。

また、「子どもに自分も人も大切であることを教える」では女性（42.3%）が男性（30.7%）を11ポイント上回っています。

年齢別

3つの回答内容で30歳代が他の職業に比べて最も高くなっています。

また、「子どものための相談・支援体制を充実する」では年代が上がるとともに増加しており、60歳代（54.7%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「子どもの人格や考えを尊重する」では《学生》（33.3%）が他の職業に比べて7ポイント以上高くなっています。

問3（イ：子ども）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

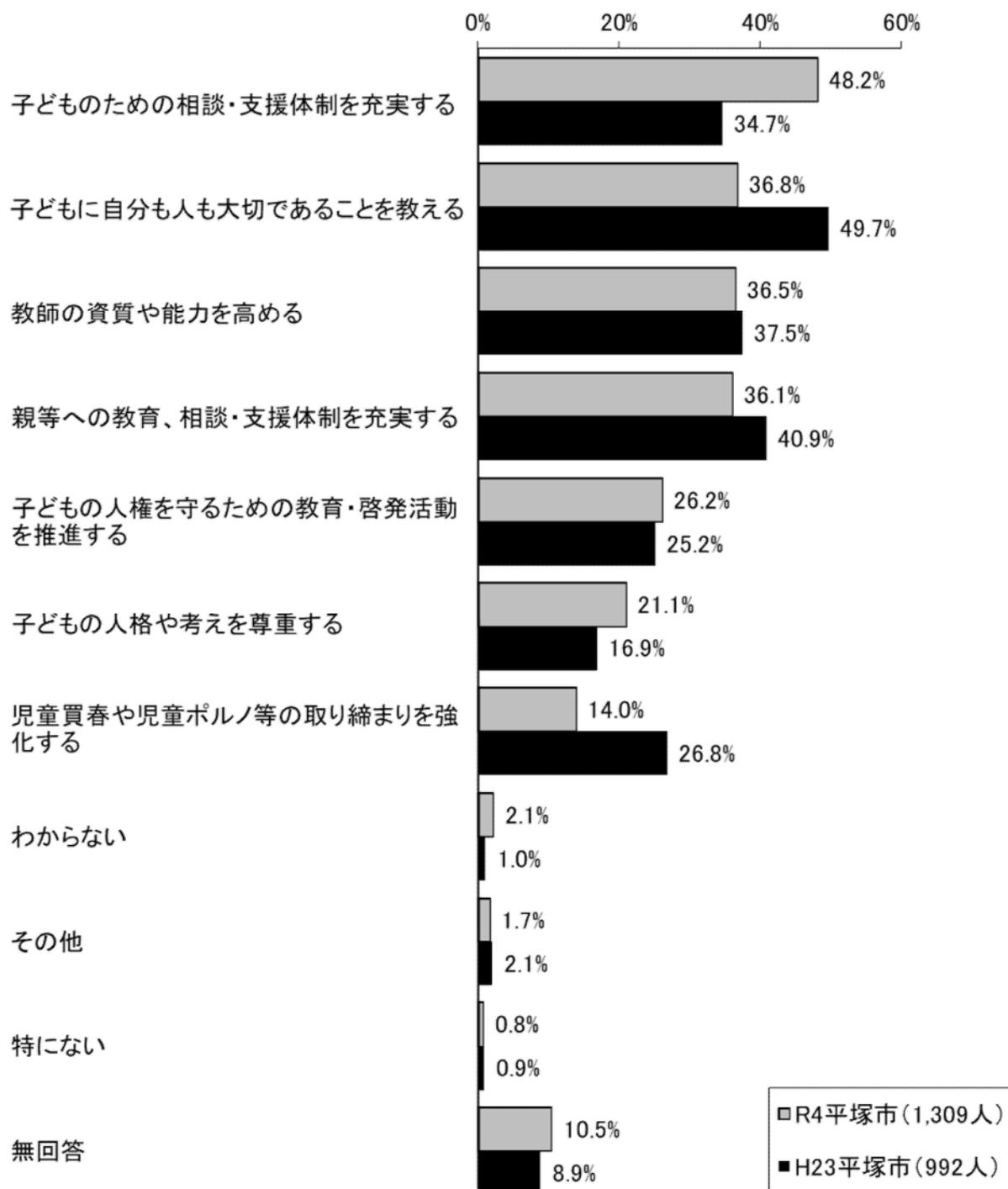
「教師の資質や能力を高める」「子どもに自分も人も大切であることを教える」では人権侵害が《存在しない》の割合が最も高くなっています。



❖ 前回調査との比較 ❖

子どもの人権を守るために必要なことについて、6つの回答内容で前回から下がっています。また、「子どものための相談・支援体制を充実する」では前回から13ポイント上がっています。

子どもの人権を守るために必要なこと【比較】



(4) 高齢者の人権について

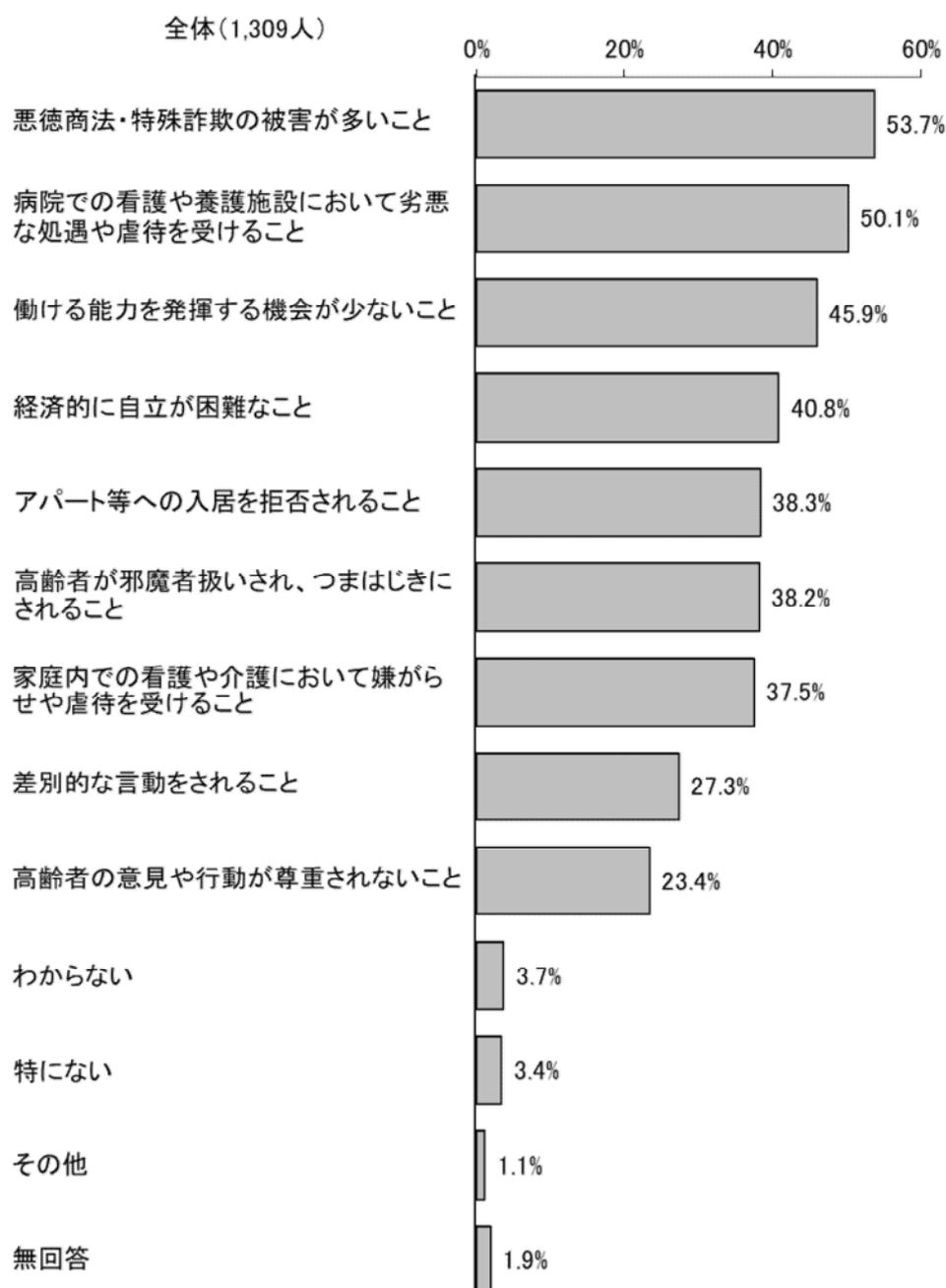
【問 12】 高齢者に関する人権上の問題点

高齢者に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「悪徳商法・特殊詐欺の被害が多いこと」(53.7%)が最も高く、「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」(50.1%)、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(45.9%)が続きます。

「その他」としては、「仕事内容が同じでも、高齢者だと給料が減額されるなど待遇が悪い」「年金受給額が減額されていくこと」などの回答がありました。

高齢者に関する人権上の問題点



高齢者に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	働く機会が少くないこと	差別的な言動をされること	悪徳商法・特殊詐欺の被害が多いこと	アパート等への入居を拒否されること	アパート等への入居を拒否されること	家庭内での看護や介護にいて嫌がらせや虐待を受けること	病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	経済的に自立が困難なこと	その他	特になし	わからない	無回答
全体(1,309人)			45.9%	27.3%	53.7%	38.3%	37.5%	50.1%	38.2%	23.4%	40.8%	1.1%	3.4%	3.7%	1.9%	
性別	男性(589人)		46.0%	26.3%	49.1%	34.3%	29.9%	41.3%	36.8%	20.5%	37.7%	0.7%	5.3%	3.6%	1.7%	
	女性(695人)		45.6%	28.2%	58.3%	41.7%	43.5%	57.6%	39.6%	25.9%	43.9%	1.6%	1.7%	3.7%	1.7%	
	その他(4人)		50.0%	—	100.0%	50.0%	75.0%	75.0%	—	25.0%	—	—	—	—	—	
	無回答(21人)		52.4%	33.3%	23.8%	38.1%	47.6%	47.6%	38.1%	19.0%	33.3%	—	4.8%	4.8%	14.3%	
年代別	29歳以下(127人)		38.6%	35.4%	48.0%	33.9%	45.7%	52.0%	36.2%	22.8%	34.6%	1.6%	2.4%	7.1%	1.6%	
	30歳代(123人)		45.5%	29.3%	52.0%	41.5%	52.0%	56.1%	42.3%	25.2%	35.0%	2.4%	1.6%	4.9%	2.4%	
	40歳代(217人)		55.8%	24.9%	58.1%	38.7%	39.2%	51.6%	35.5%	13.8%	37.3%	2.3%	3.2%	3.7%	—	
	50歳代(213人)		49.8%	25.8%	56.3%	45.5%	39.0%	57.7%	39.4%	20.7%	44.6%	0.9%	1.4%	2.8%	1.9%	
	60歳代(247人)		42.9%	25.5%	53.8%	38.1%	34.0%	49.4%	39.7%	24.7%	44.9%	0.8%	2.8%	4.9%	1.6%	
	70歳以上(364人)		42.0%	26.9%	52.7%	34.9%	29.9%	42.3%	37.4%	29.1%	42.0%	0.3%	5.8%	1.6%	2.7%	
	無回答(18人)		55.6%	38.9%	38.9%	33.3%	44.4%	55.6%	38.9%	27.8%	38.9%	—	5.6%	5.6%	11.1%	
職業別	会社員・公務員など(405人)		44.2%	26.4%	54.3%	35.8%	39.8%	50.1%	39.5%	18.3%	41.0%	2.2%	3.0%	4.0%	1.2%	
	契約・派遣社員など(224人)		56.3%	28.1%	54.9%	46.4%	40.2%	54.5%	44.2%	23.7%	43.8%	1.8%	1.8%	4.0%	0.9%	
	自営業等(78人)		47.4%	26.9%	48.7%	41.0%	37.2%	53.8%	41.0%	23.1%	39.7%	—	2.6%	3.8%	3.8%	
	家事に従事(222人)		41.0%	26.6%	59.9%	39.2%	38.7%	55.4%	36.5%	23.9%	40.1%	—	4.1%	0.9%	0.9%	
	学生(42人)		54.8%	52.4%	47.6%	45.2%	59.5%	54.8%	45.2%	33.3%	35.7%	—	—	—	—	
	その他の職業(23人)		52.2%	26.1%	69.6%	43.5%	52.2%	47.8%	43.5%	39.1%	47.8%	4.3%	—	—	8.7%	
	仕事はしていない(294人)		41.8%	24.8%	50.3%	34.0%	26.9%	41.5%	31.6%	27.6%	39.8%	—	5.1%	5.8%	2.7%	
	無回答(21人)		47.6%	33.3%	23.8%	23.8%	42.9%	47.6%	28.6%	19.0%	33.3%	4.8%	9.5%	4.8%	14.3%	
問3(ウ:高齢者)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(262人)		55.7%	38.2%	56.9%	44.3%	48.1%	57.3%	54.6%	33.6%	48.9%	1.5%	1.5%	3.1%	0.8%	
	ある程度存在する(871人)		45.5%	26.4%	54.0%	39.0%	35.7%	51.3%	35.8%	20.7%	39.6%	1.0%	2.6%	3.1%	1.7%	
	存在しない(138人)		37.0%	18.1%	50.0%	29.0%	36.2%	39.1%	27.5%	21.7%	34.1%	1.4%	11.6%	4.3%	0.7%	
	無回答(38人)		21.1%	7.9%	39.5%	15.8%	10.5%	13.2%	18.4%	21.1%	36.8%	—	2.6%	18.4%	18.4%	

性別

「働ける能力を發揮する機会が少ないこと」「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」では女性（57.6%）が男性（41.3%）を16ポイント上回っています。

年代別

3つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

また、「高齢者の意見や行動が尊重されないこと」では70歳以上（29.1%）が他の年代に比べて最も高くなっているほか、「特にない」においても、70歳以上（5.8%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

4つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「差別的な言動をされること」では他の職業に比べて24ポイント以上高くなっています。

問3（ウ：高齢者）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること」では人権侵害が《多く存在する》（54.6%）が《存在しない》（27.5%）を27ポイント上回っています。

また、「悪徳商法・特殊詐欺の被害が多いこと」では人権侵害が《存在しない》（50.0%）でも5割となっています。

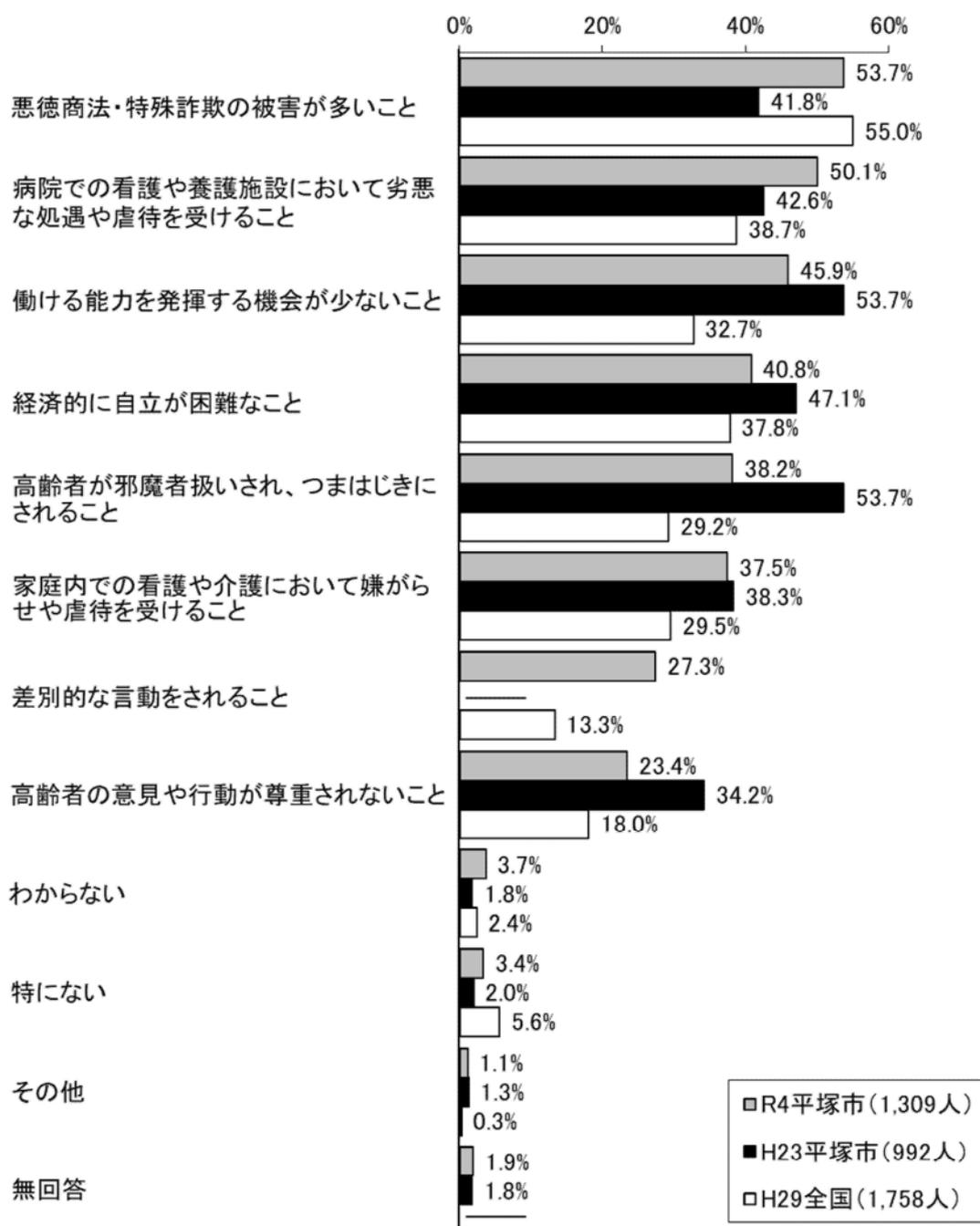


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

高齢者に関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、6つの回答内容で前回から下がっており、特に「高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること」では前回から15ポイント下がっています。

全国調査と比較すると、「悪徳商法・特殊詐欺の被害が多いこと」「その他」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「差別的な言動をされること」では平塚市が全国を14ポイント上回っています。

高齢者に関する人権上の問題点【比較】



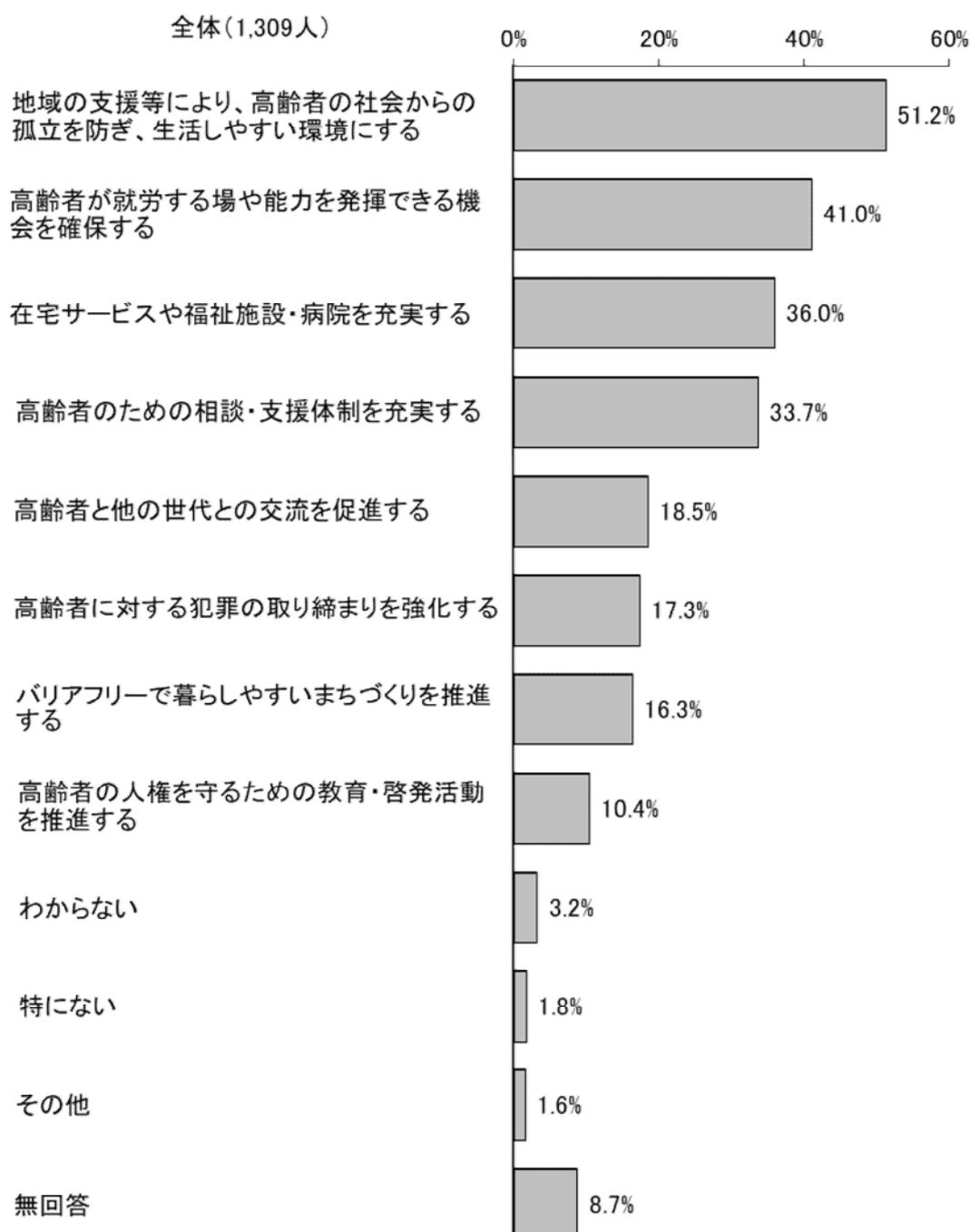
【問 13】 高齢者の人権を守るために必要なこと

高齢者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「地域の支援等により、高齢者の社会からの孤立を防ぎ、生活しやすい環境にする」(51.2%)が最も高く、「高齢者が就労する場や能力を発揮できる機会を確保する」(41.0%)、「在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」(36.0%)が続きます。

「その他」としては、「高齢者でも入居できる物件を増やすべき」「誰もが高齢者になるということを理解する」などの回答がありました。

高齢者の人権を守るために必要なこと



高齢者の人権を守るために必要なこと【属性別】

属性		回答内容											
		高齢者が就労する場や能力を 発揮できる機会を確保する	高齢者のための相談・支援 体制を充実する	高齢者の人権を守るための 教育・啓発活動を推進する	活しやすい環境にする	地域の支援等により、高齢者 の社会からの孤立を防ぎ、生 活しやすい環境にする	高齢者に対する犯罪の取り 締まりを強化する	高齢者との世代との交流 を促進する	在宅サービスや福祉施設・ 病院を充実する	バリアフリーで暮らしやす いまちづくりを推進する	その他	特にな い	わから ない
全体(1,309人)		41.0%	33.7%	10.4%	51.2%	17.3%	18.5%	36.0%	16.3%	1.6%	1.8%	3.2%	8.7%
性別	男性(589人)	42.4%	34.5%	11.4%	48.6%	16.8%	18.0%	32.9%	15.3%	1.5%	2.9%	3.1%	8.0%
	女性(695人)	40.7%	33.2%	9.8%	53.8%	18.1%	18.8%	39.1%	17.3%	1.6%	0.7%	3.3%	8.6%
	その他(4人)	—	25.0%	—	100.0%	25.0%	50.0%	50.0%	50.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	19.0%	28.6%	4.8%	28.6%	4.8%	14.3%	14.3%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	33.3%
年代別	29歳以下(127人)	34.6%	22.0%	10.2%	55.9%	17.3%	18.1%	29.9%	22.0%	4.7%	1.6%	6.3%	7.9%
	30歳代(123人)	37.4%	18.7%	8.9%	51.2%	18.7%	21.1%	41.5%	26.0%	3.3%	2.4%	4.1%	5.7%
	40歳代(217人)	52.1%	32.7%	9.7%	53.0%	16.6%	23.5%	32.7%	15.7%	1.8%	1.4%	2.8%	3.7%
	50歳代(213人)	46.0%	32.4%	9.4%	44.1%	21.1%	17.4%	36.2%	12.2%	0.9%	0.5%	3.3%	10.8%
	60歳代(247人)	40.1%	38.1%	9.7%	51.8%	17.8%	14.6%	38.9%	13.4%	0.8%	2.8%	4.5%	9.7%
	70歳以上(364人)	36.3%	41.2%	12.4%	53.8%	15.4%	18.1%	37.4%	16.8%	0.5%	1.6%	1.1%	9.9%
	無回答(18人)	27.8%	33.3%	11.1%	16.7%	5.6%	16.7%	11.1%	—	5.6%	5.6%	5.6%	33.3%
職業別	会社員・公務員など(405人)	41.5%	27.2%	7.4%	49.4%	17.0%	21.7%	34.3%	19.3%	2.2%	2.5%	3.5%	8.6%
	契約・派遣社員など(224人)	54.9%	36.6%	11.6%	54.0%	16.5%	16.1%	33.0%	13.4%	1.8%	1.3%	3.6%	5.8%
	自営業等(78人)	35.9%	32.1%	16.7%	48.7%	17.9%	24.4%	30.8%	11.5%	1.3%	—	3.8%	14.1%
	家事に従事(222人)	36.0%	39.2%	10.4%	53.2%	19.8%	19.8%	45.0%	17.6%	1.4%	1.4%	0.9%	6.3%
	学生(42人)	40.5%	16.7%	19.0%	52.4%	16.7%	14.3%	35.7%	31.0%	4.8%	—	2.4%	7.1%
	その他の職業(23人)	39.1%	39.1%	8.7%	52.2%	13.0%	17.4%	30.4%	13.0%	—	—	—	21.7%
	仕事はしていない(294人)	36.1%	39.5%	11.2%	52.7%	17.7%	14.3%	37.8%	13.9%	0.3%	2.0%	4.4%	8.5%
	無回答(21人)	28.6%	23.8%	4.8%	19.0%	4.8%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	38.1%
問3(ウ:高 齢者)「差 別や人権 侵害の有 無」の回 答内容 別	多く存在する(262人)	46.6%	32.8%	12.2%	56.5%	14.1%	20.6%	34.4%	19.8%	1.5%	0.8%	4.2%	7.6%
	ある程度存在する(871人)	41.6%	34.6%	10.7%	51.7%	18.1%	18.5%	37.7%	16.2%	1.4%	1.3%	2.4%	8.2%
	存在しない(138人)	34.8%	31.9%	6.5%	43.5%	20.3%	15.9%	33.3%	13.8%	2.9%	6.5%	3.6%	8.0%
	無回答(38人)	13.2%	26.3%	5.3%	31.6%	10.5%	13.2%	18.4%	5.3%	2.6%	2.6%	13.2%	31.6%

性別

7つの回答内容で女性が男性を上回っており、特に「在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」では女性（39.1%）が男性（32.9%）を6ポイント上回っています。

年代別

「地域の支援等により、高齢者の社会からの孤立を防ぎ、生活しやすい環境にする」では50歳代を除く全ての年代で5割を超えています。

職業別

3つの回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっています。

また、「高齢者が就労する場や能力を発揮できる機会を確保する」では《契約・派遣社員・パート・アルバイト》（54.9%）が他の職業に比べて13ポイント以上高くなっています。

問3（ウ：高齢者）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

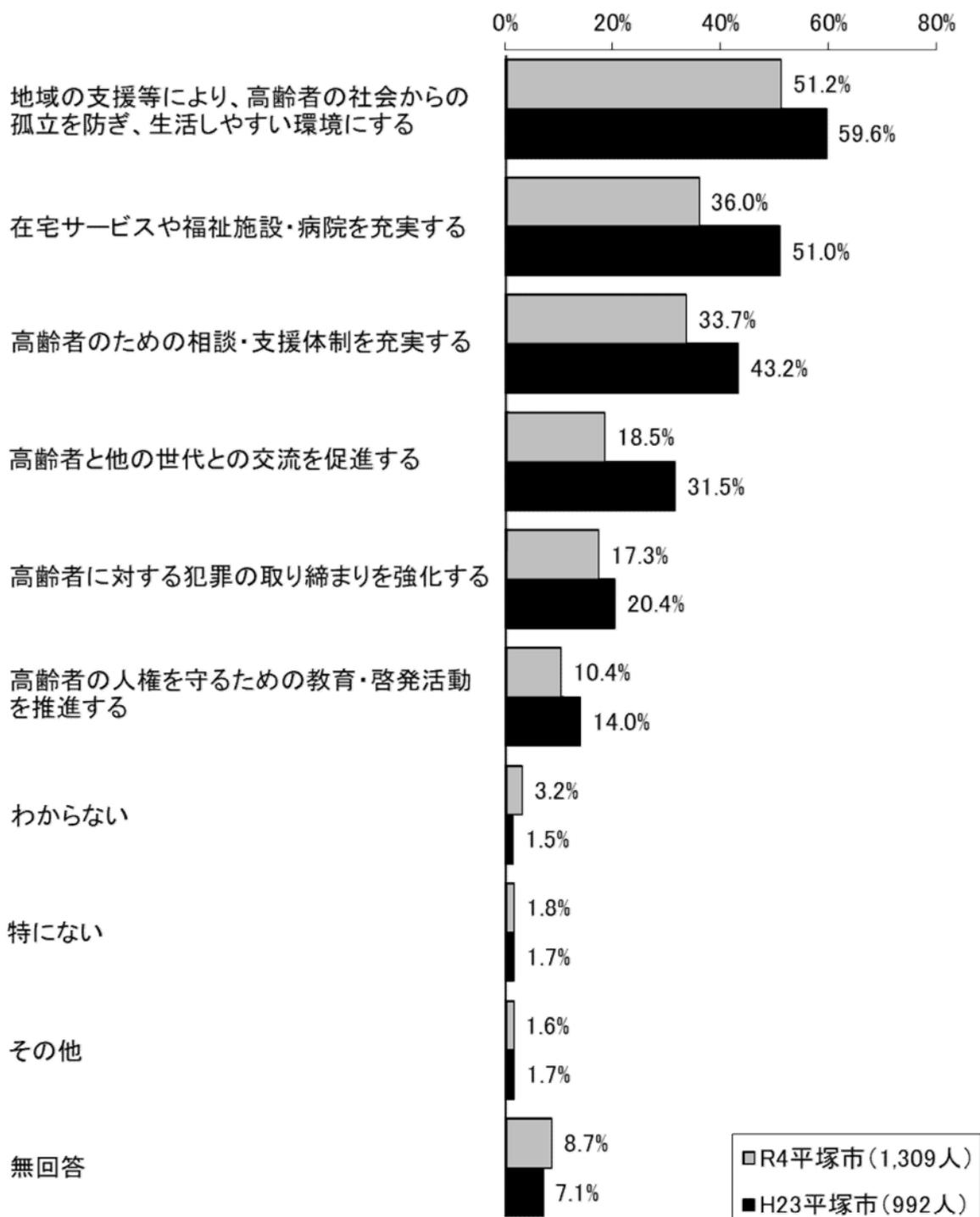
「地域の支援等により、高齢者の社会からの孤立を防ぎ、生活しやすい環境にする」では人権侵害が《多く存在する》（56.5%）が《存在しない》（43.5%）を13ポイント上回っています。



❖ 前回調査との比較 ❖

高齢者の人権を守るために必要なことについて、「特にない」を除く全ての回答内容で前回から下がっており、特に「在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」では前回から15ポイント下がっています。

高齢者の人権を守るために必要なこと【比較】



(5) 障がいのある人の人権について

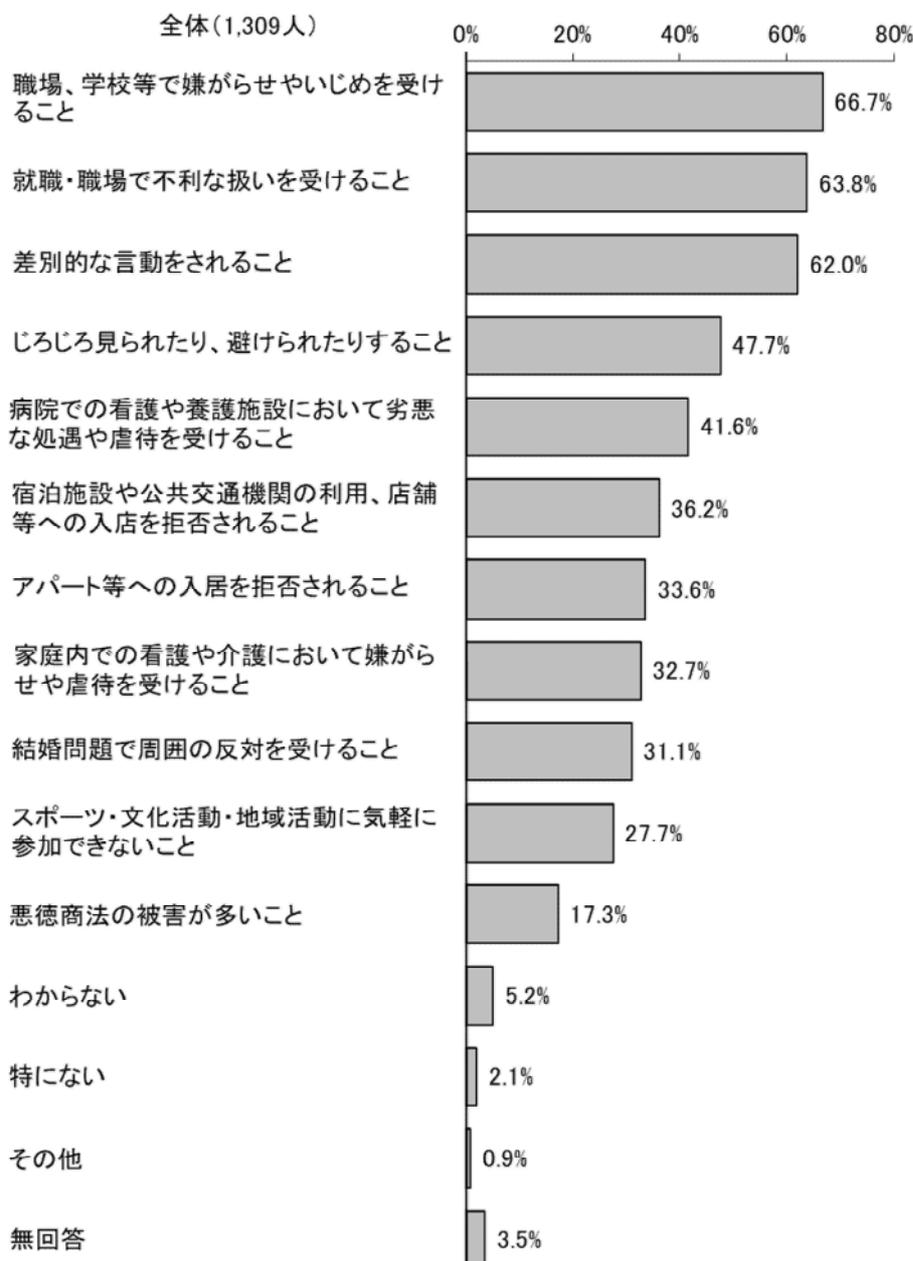
【問 14】 障がいのある人に関する人権上の問題点

障がいのある人に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(66.7%)が最も高く、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(63.8%)、「差別的な言動をされること」(62.0%)が続きます。

「その他」としては、「外見だけではわからない障がいのある人もいるということ」「基礎疾患の場合、幼少期から関わるのが少なく、理解が難しい」などの回答がありました。

障がいのある人に関する人権上の問題点



障がいのある人に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容														
		職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	悪徳商法の被害が多いこと	アパート等への入居を拒否されること	家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること	病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	じろじろ見られたり、避けられたりするこ	その他	特にな	わからない	無回答
全体(1,309人)		66.7%	31.1%	63.8%	62.0%	17.3%	33.6%	32.7%	41.6%	36.2%	27.7%	47.7%	0.9%	2.1%	5.2%	3.5%
性別	男性(589人)	64.2%	27.7%	61.5%	59.4%	15.1%	29.5%	27.7%	36.2%	31.7%	25.8%	43.3%	0.5%	2.4%	4.9%	3.7%
	女性(695人)	68.9%	34.1%	66.3%	64.7%	19.0%	37.1%	37.3%	46.5%	40.4%	29.2%	51.8%	1.3%	1.9%	5.6%	2.7%
	その他(4人)	100.0%	75.0%	75.0%	100.0%	75.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	75.0%	75.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	57.1%	19.0%	42.9%	38.1%	14.3%	28.6%	19.0%	33.3%	19.0%	19.0%	28.6%	—	—	—	23.8%
年代別	29歳以下(127人)	74.8%	37.0%	65.4%	75.6%	19.7%	36.2%	42.5%	47.2%	40.2%	35.4%	48.8%	0.8%	1.6%	4.7%	1.6%
	30歳代(123人)	75.6%	44.7%	66.7%	74.0%	26.0%	35.0%	43.9%	47.2%	39.0%	28.5%	52.0%	2.4%	1.6%	2.4%	1.6%
	40歳代(217人)	71.4%	34.6%	64.1%	65.4%	20.3%	28.6%	36.4%	41.5%	35.9%	25.3%	50.7%	1.4%	1.4%	6.5%	0.9%
	50歳代(213人)	71.4%	27.2%	63.4%	62.4%	20.2%	37.6%	33.3%	43.2%	39.9%	26.8%	50.7%	0.9%	0.5%	3.8%	1.9%
	60歳代(247人)	65.6%	29.1%	63.6%	59.1%	13.0%	30.8%	29.1%	40.9%	35.2%	27.5%	50.2%	0.4%	2.8%	5.3%	2.4%
	70歳以上(364人)	56.6%	26.1%	62.9%	53.8%	13.2%	34.6%	25.8%	37.6%	33.0%	26.9%	41.2%	0.5%	3.3%	6.3%	7.1%
	無回答(18人)	55.6%	27.8%	55.6%	44.4%	16.7%	38.9%	22.2%	38.9%	27.8%	22.2%	33.3%	—	—	5.6%	22.2%
職業別	会社員・公務員など(405人)	69.9%	34.6%	64.0%	65.2%	20.2%	30.4%	35.1%	42.0%	33.8%	28.1%	46.4%	1.2%	2.5%	4.9%	1.0%
	契約・派遣社員など(224人)	70.1%	31.7%	63.4%	66.1%	15.6%	36.2%	34.4%	41.1%	39.7%	25.0%	54.0%	1.3%	0.9%	5.8%	0.9%
	自営業等(78人)	60.3%	21.8%	64.1%	55.1%	16.7%	28.2%	28.2%	51.3%	26.9%	25.6%	46.2%	1.3%	1.3%	6.4%	7.7%
	家事に従事(222人)	71.2%	30.6%	66.2%	64.4%	17.1%	36.0%	34.7%	44.1%	42.3%	30.6%	54.1%	0.9%	2.7%	2.7%	2.7%
	学生(42人)	83.3%	45.2%	69.0%	88.1%	26.2%	45.2%	54.8%	59.5%	47.6%	45.2%	61.9%	—	—	—	—
	その他の職業(23人)	73.9%	21.7%	78.3%	65.2%	26.1%	26.1%	52.2%	52.2%	43.5%	30.4%	52.2%	—	—	—	8.7%
	仕事はしていない(294人)	55.8%	27.9%	60.9%	52.0%	13.6%	34.7%	24.5%	34.4%	33.7%	25.2%	39.1%	—	2.7%	8.2%	7.1%
	無回答(21人)	57.1%	23.8%	52.4%	42.9%	9.5%	33.3%	14.3%	33.3%	19.0%	19.0%	28.6%	4.8%	—	—	23.8%
問3(「障がいのある人」 「差別や人権侵害の存在の有無」 の回答内容別)	多く存在する(647人)	73.7%	36.2%	71.4%	71.3%	21.2%	37.1%	38.5%	47.0%	41.7%	31.5%	55.0%	0.8%	0.9%	2.2%	2.8%
	ある程度存在する(565人)	62.8%	27.4%	58.9%	55.9%	14.0%	30.6%	28.3%	37.5%	31.9%	25.1%	41.4%	1.1%	2.3%	7.3%	2.3%
	存在しない(61人)	45.9%	24.6%	50.8%	45.9%	14.8%	36.1%	24.6%	36.1%	31.1%	18.0%	41.0%	1.6%	9.8%	8.2%	8.2%
	無回答(36人)	36.1%	8.3%	25.0%	19.4%	5.6%	13.9%	11.1%	19.4%	13.9%	13.9%	25.0%	—	5.6%	22.2%	27.8%

性別

「特にない」を除く全ての回答内容で女性が男性を上回っており、特に「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」では女性（46.5%）が男性（36.2%）を10ポイント上回っています。

年代別

8つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

また、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること」では30歳代が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

「その他」「特にない」を除く全ての回答内容で《学生》が他の職業に比べて最も高くなっており、特に「差別的な言動をされること」では他の職業に比べて22ポイント以上高くなっています。

問3（エ：障がいのある人）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では人権侵害が《多く存在する》（73.7%）が《存在しない》（45.9%）を27ポイント上回っています。

また、「就職・職場で不利な扱いを受けること」では人権侵害が《存在しない》（50.8%）でも5割を超えています。

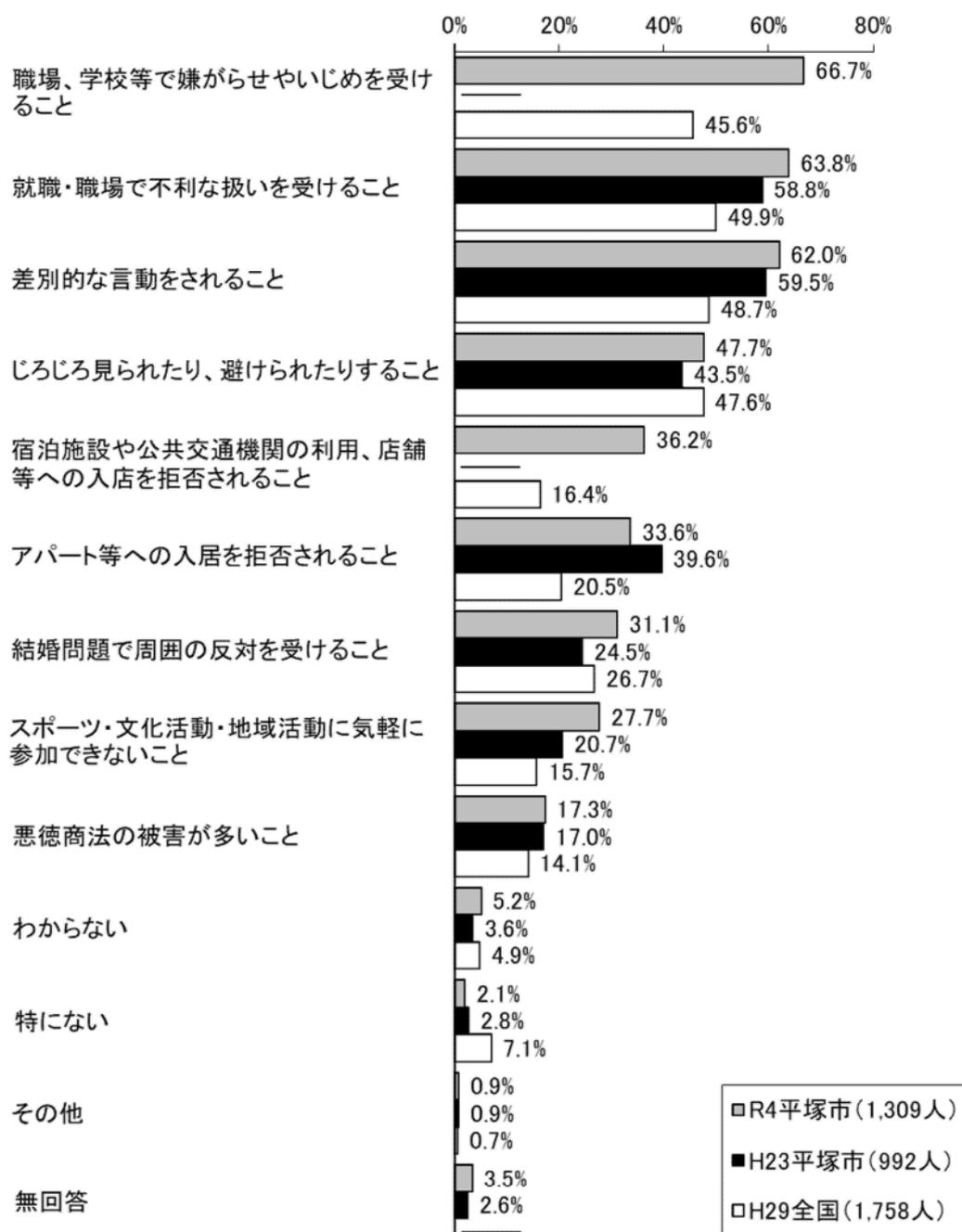


❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

障がいのある人に関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、6つの回答内容で前回から上がっており、特に「スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと」では前回から7ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「特にない」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では平塚市が全国を21ポイント上回っています。

障がいのある人に関する人権上の問題点【比較】

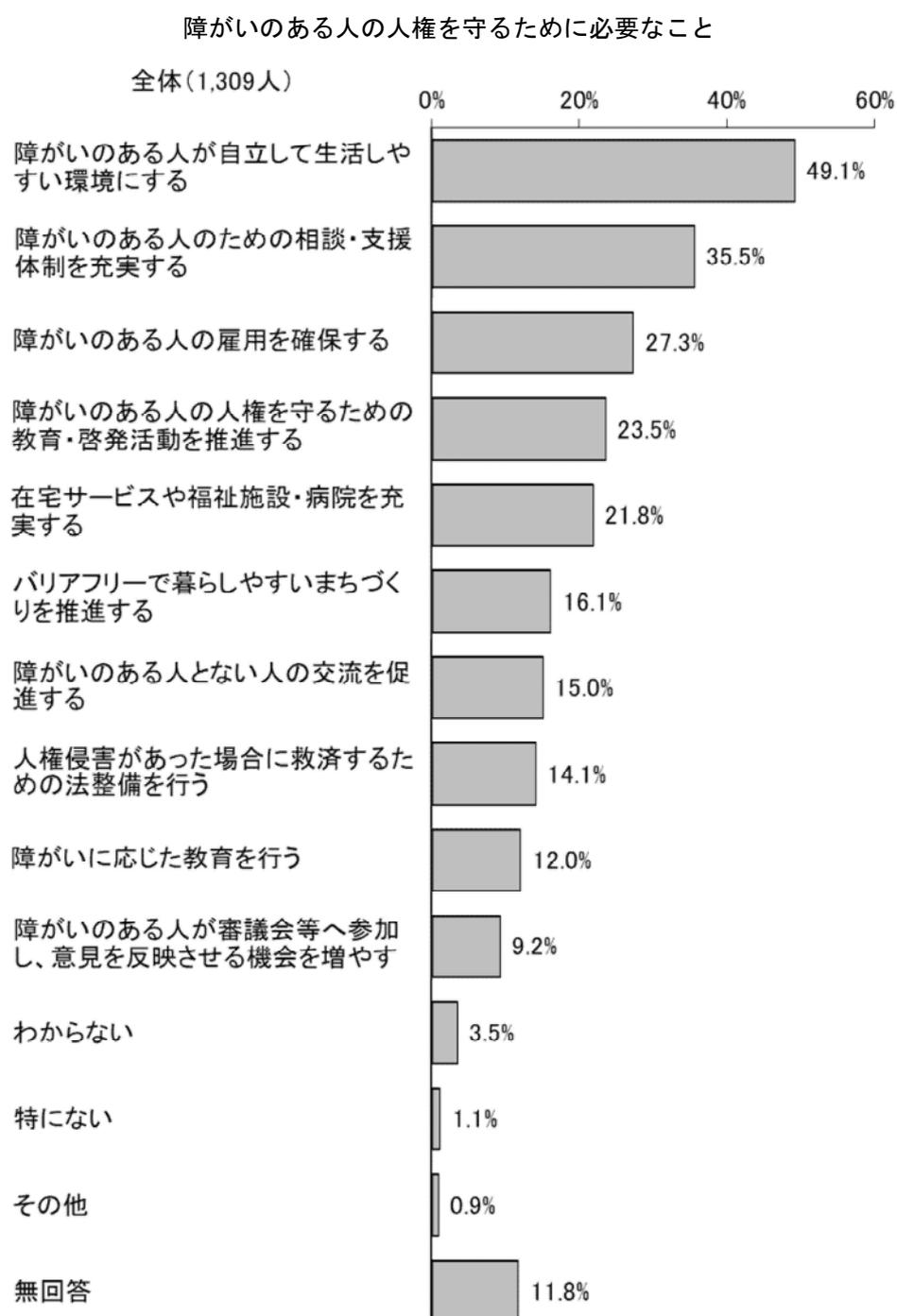


【問 15】 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

障がいのある人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

「障がいのある人が自立して生活しやすい環境にする」(49.1%)が最も高く、「障がいのある人のための相談・支援体制を充実する」(35.5%)、「障がいのある人の雇用を確保する」(27.3%)が続きます。

「その他」としては、「障がいのある人の家族・親族の相談・支援」「障がいのある人の減税」などの回答がありました。



障がいのある人の人権を守るために必要なこと【属性別】

属性		回答内容													
		障がいのある人のための相談・支援体制を充実する	障がいのある人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	在宅サービスや福祉施設・病院を充実する	障がいのある人が自立して生活しやすい環境にする	障がいに応じた教育を行う	障がいのある人の雇用を確保する	障がいのある人となし人の交流を促進する	障がいのある人が審議会等へ参加し、意見を反映させる機会を増やす	障がいのある人のための法整備を行う	人権侵害があった場合に救済する	まちづくりを推進する	バリアフリーで暮らしやすい	その他	特になし
全体(1,309人)		35.5%	23.5%	21.8%	49.1%	12.0%	27.3%	15.0%	9.2%	14.1%	16.1%	0.9%	1.1%	3.5%	11.8%
性別	男性(589人)	38.4%	25.8%	19.5%	47.2%	9.7%	27.8%	15.6%	9.3%	15.3%	13.2%	1.0%	1.7%	2.9%	11.0%
	女性(695人)	33.2%	21.6%	23.6%	51.1%	13.5%	26.9%	14.8%	9.2%	13.2%	18.7%	0.9%	0.7%	4.2%	11.9%
	その他(4人)	50.0%	25.0%	—	50.0%	25.0%	—	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	—	—	—	—
	無回答(21人)	28.6%	23.8%	33.3%	38.1%	23.8%	28.6%	—	4.8%	4.8%	4.8%	—	—	—	28.6%
年代別	29歳以下(127人)	26.8%	23.6%	23.6%	44.9%	15.0%	25.2%	17.3%	4.7%	12.6%	17.3%	0.8%	3.1%	5.5%	12.6%
	30歳代(123人)	21.1%	22.8%	18.7%	52.0%	20.3%	24.4%	21.1%	11.4%	18.7%	22.8%	2.4%	0.8%	3.3%	5.7%
	40歳代(217人)	30.9%	24.9%	18.4%	47.5%	16.6%	33.6%	19.8%	12.4%	12.0%	16.1%	0.5%	0.9%	3.7%	6.5%
	50歳代(213人)	36.2%	23.5%	21.1%	48.4%	11.3%	23.0%	12.2%	8.5%	13.1%	13.6%	0.5%	0.5%	2.8%	16.9%
	60歳代(247人)	39.7%	25.9%	23.1%	53.0%	7.7%	25.1%	15.8%	8.5%	15.8%	16.6%	2.0%	2.0%	4.9%	9.7%
	70歳以上(364人)	43.1%	21.2%	23.6%	49.2%	8.5%	28.6%	11.3%	9.3%	14.0%	15.4%	0.3%	0.5%	2.2%	14.3%
	無回答(18人)	33.3%	27.8%	27.8%	33.3%	16.7%	38.9%	—	5.6%	5.6%	—	—	—	—	5.6%
職業別	会社員・公務員など(405人)	32.6%	24.9%	18.5%	49.6%	12.3%	26.4%	17.3%	9.9%	13.6%	16.8%	1.2%	2.2%	3.5%	10.1%
	契約・派遣社員など(224人)	33.0%	26.3%	22.3%	49.1%	12.5%	30.8%	14.3%	10.3%	14.7%	12.1%	1.3%	0.9%	6.3%	9.4%
	自営業等(78人)	19.2%	19.2%	25.6%	37.2%	17.9%	21.8%	23.1%	3.8%	12.8%	15.4%	1.3%	—	3.8%	20.5%
	家事に従事(222人)	43.2%	22.5%	26.6%	55.0%	10.8%	28.4%	14.0%	8.1%	16.7%	22.1%	0.5%	0.9%	0.5%	8.6%
	学生(42人)	21.4%	26.2%	16.7%	47.6%	16.7%	21.4%	21.4%	7.1%	14.3%	16.7%	—	—	2.4%	16.7%
	その他の職業(23人)	52.2%	26.1%	4.3%	43.5%	13.0%	26.1%	13.0%	17.4%	13.0%	8.7%	—	—	—	21.7%
	仕事はしていない(294人)	41.2%	20.4%	23.5%	49.3%	9.2%	27.2%	11.2%	9.9%	12.9%	15.3%	0.7%	0.7%	4.4%	12.9%
	無回答(21人)	28.6%	28.6%	23.8%	28.6%	19.0%	28.6%	4.8%	4.8%	9.5%	4.8%	—	—	—	—
問3(「障がいのある人」差別や人権侵害の存在の有無)の回答内容別	多く存在する(647人)	34.6%	23.3%	23.3%	52.1%	12.1%	29.4%	17.5%	10.2%	15.0%	17.6%	0.6%	1.1%	1.7%	12.1%
	ある程度存在する(565人)	36.6%	25.7%	20.2%	47.3%	13.1%	26.2%	12.7%	8.1%	13.6%	14.5%	1.2%	1.1%	4.8%	10.6%
	存在しない(61人)	44.3%	14.8%	26.2%	45.9%	6.6%	21.3%	16.4%	8.2%	9.8%	18.0%	1.6%	1.6%	4.9%	9.8%
	無回答(36人)	19.4%	8.3%	13.9%	30.6%	2.8%	16.7%	5.6%	11.1%	11.1%	11.1%	—	2.8%	13.9%	27.8%

性別

7つの回答内容で男性が女性を上回っており、特に「障がいのある人のための相談・支援体制を充実する」では男性（38.4%）が女性（33.2%）を5ポイント上回っています。

年代別

5つの回答内容で30歳代が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

5つの回答内容で《家事に従事》が他の職業に比べて最も高くなっています。

問3（エ：障がいのある人）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

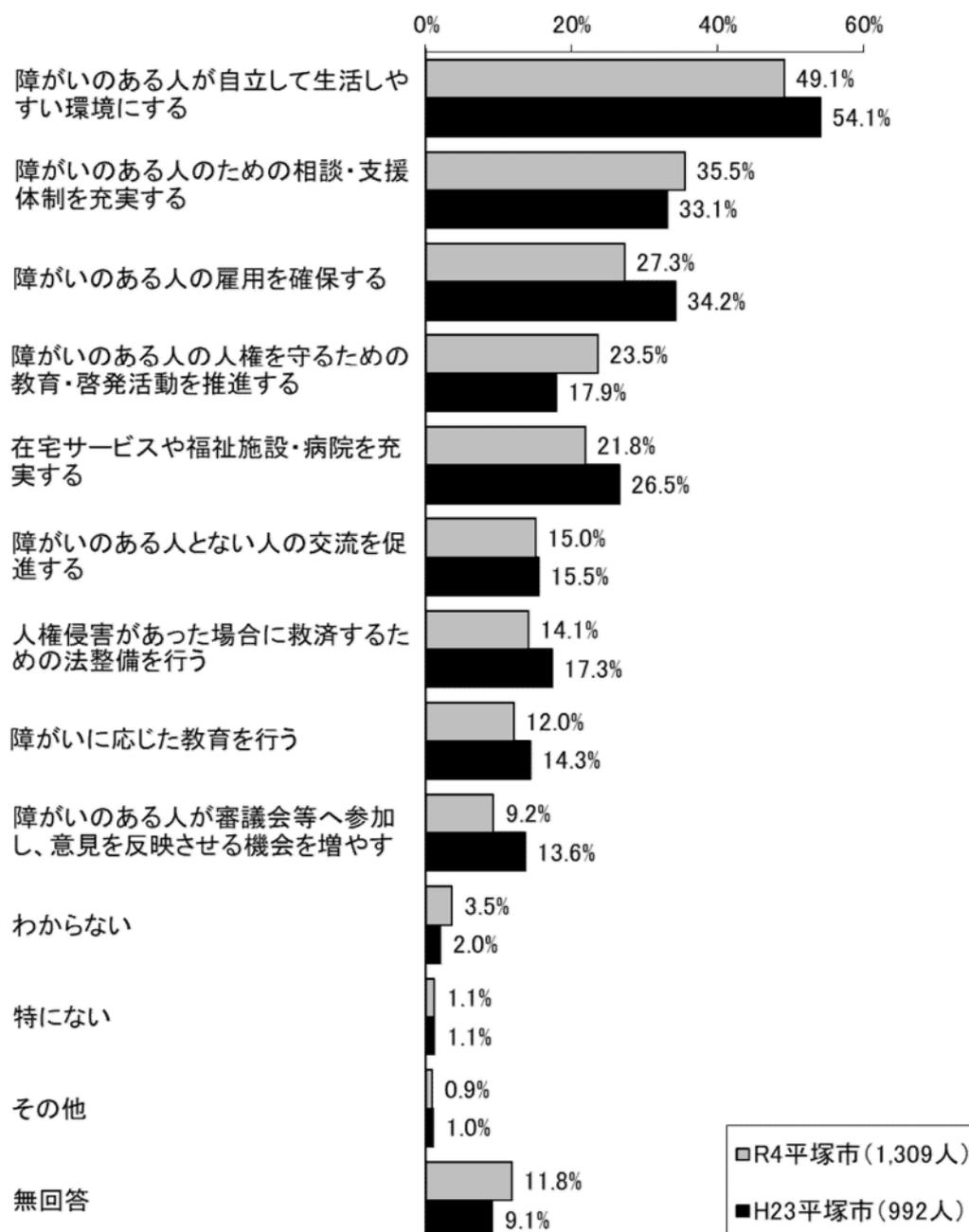
「障がいのある人のための相談・支援体制を充実する」「在宅サービスや福祉施設・病院を充実する」「バリアフリーで暮らしやすいまちづくりを推進する」では、人権侵害が《存在しない》の割合が最も高くなっています。



❖ 前回調査との比較 ❖

障がいのある人の人権を守るために必要なことについて、8つの回答内容で前回から下がっており、特に「障がいのある人の雇用を確保する」では前回から6ポイント下がっています。

障がいのある人の人権を守るために必要なこと【比較】



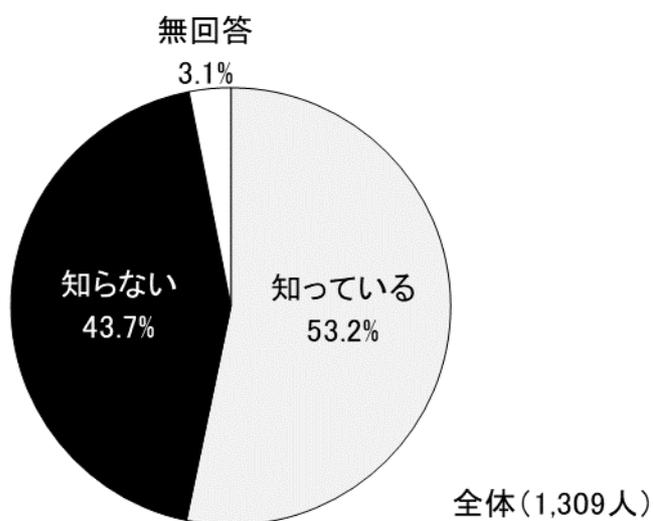
(6) 同和問題について

【問 16】 同和問題についての認知度

あなたは、同和問題を知っていますか。(〇は1つ)

同和問題を「知っている」という人が 53.2%、「知らない」という人が 43.7%となっています。

同和問題についての認知度



同和問題についての認知度【属性別】

属性		回答内容	回答内容		
			知っている	知らない	無回答
全体(1,309人)			53.2%	43.7%	3.1%
性別	男性(589人)		59.6%	37.4%	3.1%
	女性(695人)		47.3%	49.9%	2.7%
	その他(4人)		75.0%	25.0%	0.0%
	無回答(21人)		66.7%	19.0%	14.3%
年代別	29歳以下(127人)		28.3%	70.9%	0.8%
	30歳代(123人)		39.0%	58.5%	2.4%
	40歳代(217人)		46.1%	53.0%	0.9%
	50歳代(213人)		58.2%	40.4%	1.4%
	60歳代(247人)		64.0%	33.6%	2.4%
	70歳以上(364人)		60.4%	33.2%	6.3%
	無回答(18人)		61.1%	27.8%	11.1%
職業別	会社員・公務員など(405人)		53.8%	45.4%	0.7%
	契約・派遣社員など(224人)		49.1%	49.6%	1.3%
	自営業等(78人)		50.0%	44.9%	5.1%
	家事に従事(222人)		55.9%	41.4%	2.7%
	学生(42人)		33.3%	66.7%	0.0%
	その他の職業(23人)		60.9%	30.4%	8.7%
	仕事はしていない(294人)		56.1%	37.4%	6.5%
	無回答(21人)		61.9%	23.8%	14.3%

性別

同和問題についての認知度は、男性（59.6%）が女性（47.3%）を12ポイント上回っています。

年代別

「知っている」では年代が上がるとともに増加しており、60歳代（64.0%）が他の年代に比べて最も高くなっています。

職業別

「知っている」では「仕事はしていない」（56.1%）が他の職業に比べて最も高くなっています。

❖ 前回調査との比較 ❖

同和問題を「知っている」という人は、前回から 20 ポイント下がっています。

同和問題についての認知度【比較】

単位：%

	知っている	知らない	無回答
R4平塚市(1,309人)	53.2	43.7	3.1
H23平塚市(992人)	73.4	19.9	6.7

※前回調査では、「同和問題について知ったきっかけ」を問う設問であった。そのため前回調査の「知っている」は、「同和問題を知らない」「無回答」を除いた割合を指す。



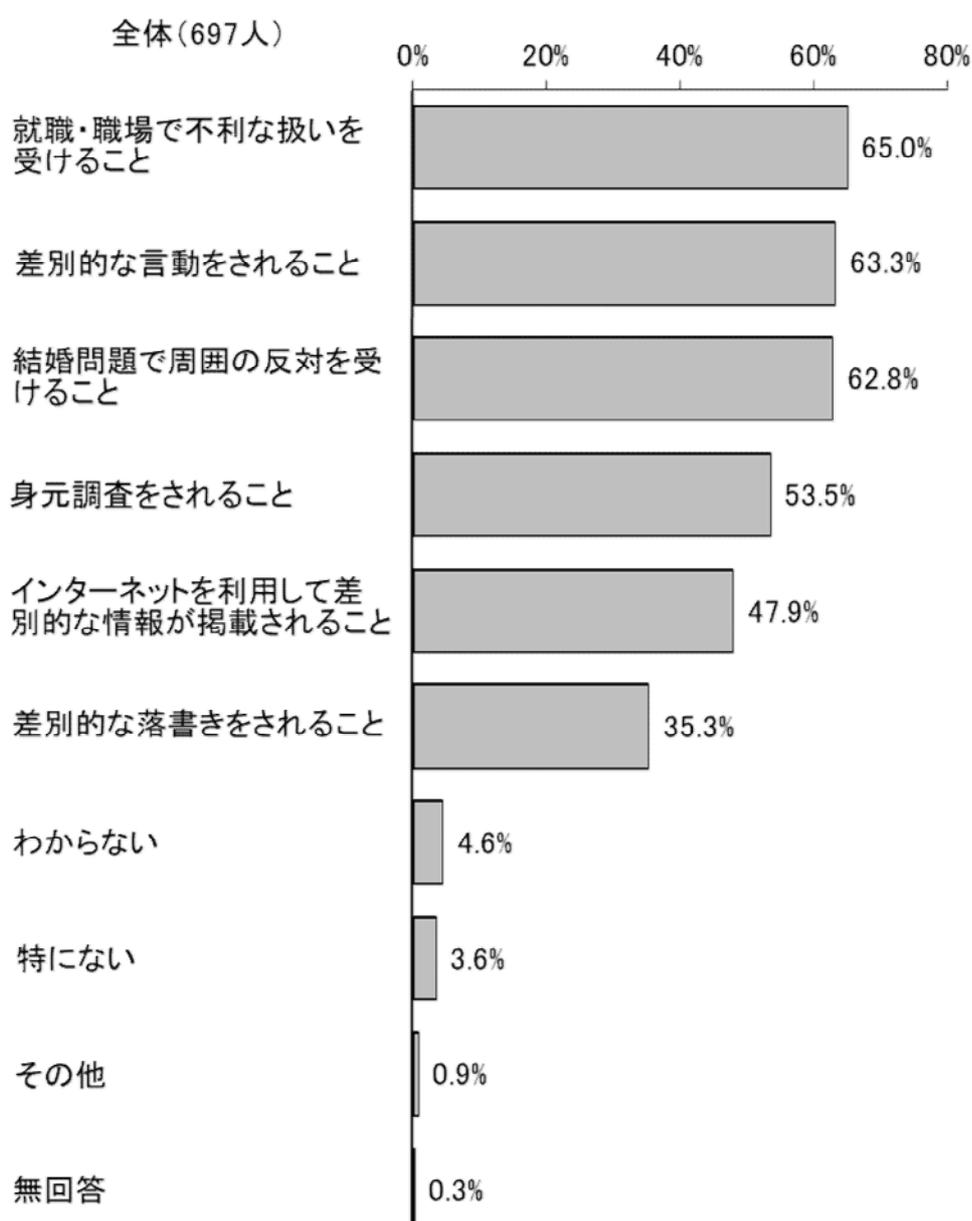
【問 16-1】同和問題に関する人権上の問題点

問 16 で「1. 知っている」と回答した方のみにかがいます。同和問題に関する事柄で、あなたが人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

同和問題を知っている人に対して、人権上問題があると思われることを聞いたところ、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(65.0%)が最も高く、「差別的な言動をされること」(63.3%)、「結婚問題で周囲の反対を受けること」(62.8%)が続きます。

「その他」としては、「踏切等のインフラが公平に用意されていないこと」「企業の理解不足」などの回答がありました。

同和問題に関する人権上の問題点



同和問題に関する人権上の問題点【属性別】

属性		回答内容	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	差別的な落書きをされること	身元調査をされること	インターネットを利用した差別的な情報掲載されること	その他	特になし	わからない	無回答
全体(697人)			62.8%	65.0%	63.3%	35.3%	53.5%	47.9%	0.9%	3.6%	4.6%	0.3%
性別	男性(351人)		59.8%	63.8%	62.4%	35.0%	49.3%	49.0%	1.4%	4.6%	3.7%	0.3%
	女性(329人)		66.6%	66.0%	65.0%	35.0%	58.7%	47.1%	0.3%	2.7%	4.9%	0.3%
	その他(3人)		66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	—	—	—	—
	無回答(14人)		50.0%	71.4%	42.9%	42.9%	35.7%	35.7%	—	—	21.4%	—
年代別	29歳以下(36人)		72.2%	75.0%	77.8%	55.6%	66.7%	58.3%	—	—	2.8%	—
	30歳代(48人)		68.8%	70.8%	68.8%	45.8%	47.9%	60.4%	—	—	2.1%	—
	40歳代(100人)		65.0%	68.0%	63.0%	39.0%	55.0%	58.0%	—	4.0%	4.0%	—
	50歳代(124人)		64.5%	68.5%	68.5%	39.5%	54.8%	49.2%	1.6%	2.4%	4.8%	0.8%
	60歳代(158人)		63.3%	66.5%	63.9%	30.4%	50.6%	43.0%	—	3.8%	5.1%	0.6%
	70歳以上(220人)		57.7%	56.8%	56.8%	28.6%	53.6%	41.8%	1.8%	5.5%	4.5%	—
	無回答(11人)		63.6%	81.8%	54.5%	45.5%	45.5%	45.5%	—	—	18.2%	—
職業別	会社員・公務員など(218人)		64.7%	68.8%	65.1%	41.3%	54.6%	51.4%	0.9%	3.2%	3.7%	—
	契約・派遣社員など(110人)		65.5%	64.5%	66.4%	28.2%	51.8%	43.6%	—	1.8%	3.6%	0.9%
	自営業等(39人)		56.4%	61.5%	56.4%	30.8%	46.2%	43.6%	5.1%	2.6%	5.1%	2.6%
	家事に従事(124人)		65.3%	66.9%	64.5%	34.7%	49.2%	48.4%	—	4.8%	3.2%	—
	学生(14人)		85.7%	85.7%	85.7%	64.3%	85.7%	78.6%	—	—	—	—
	その他の職業(14人)		42.9%	78.6%	64.3%	35.7%	64.3%	42.9%	—	—	7.1%	—
	仕事はしていない(165人)		57.6%	55.8%	57.6%	30.3%	54.5%	44.8%	0.6%	5.5%	6.7%	—
	無回答(13人)		69.2%	76.9%	61.5%	46.2%	53.8%	46.2%	7.7%	—	15.4%	—
問3(オ:同和問題)「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別	多く存在する(143人)		69.2%	79.0%	72.7%	43.4%	66.4%	58.7%	0.7%	—	2.1%	—
	ある程度存在する(433人)		64.2%	65.4%	64.4%	34.2%	52.0%	47.8%	0.5%	3.2%	3.2%	0.5%
	存在しない(99人)		53.5%	44.4%	47.5%	26.3%	42.4%	35.4%	3.0%	9.1%	10.1%	—
	無回答(22人)		36.4%	59.1%	50.0%	45.5%	50.0%	36.4%	0.0%	9.1%	22.7%	—

性別

4つの回答内容で女性が男性を上回っており、特に「身元調査をされること」では女性（58.7%）が男性（49.3%）を9ポイント上回っています。

年代別

5つの回答内容で30歳代が他の年代と比べて最も高くなっています。

また、「結婚問題で周囲の反対を受けること」「インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること」では30歳代が他の年代に比べて最も高く、年代が上がるとともに減少しています。

職業別

5つの回答内容で《会社員・公務員・団体職員》が他の職業に比べて最も高くなっています。

問3（オ：同和問題）「差別や人権侵害の存在の有無」の回答内容別

「就職・職場で不利な扱いを受けること」では人権侵害が《多く存在する》（79.0%）が《存在しない》（44.4%）を34ポイント上回っています。



❖ 前回調査・全国調査との比較 ❖

同和問題に関する人権上の問題点について、前回調査と比較すると、「特にない」「その他」を除く全ての回答内容で前回から上がっており、特に「差別的な言動をされること」では前回から38ポイント上がっています。

全国調査と比較すると、「特にない」を除く全ての回答内容で平塚市が全国を上回っており、特に「就職・職場で不利な扱いを受けること」では平塚市が全国を41ポイント上回っています。

同和問題に関する人権上の問題点【比較】

